このたびはLANCER EVOLUTION Xをお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200100800

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

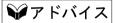
● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチコミュニケーションシステムの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

ハンドルまわり

J00100800773

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
*別冊の取扱説明書をご覧ください。

AGF001313

計器盤まわり

J00100101555

センターパネル

J00100200748

＜RS＞

非常点滅灯スイッチ
P. 6-58

リヤウインドウデフォッガー
(曇り取り)スイッチP. 6-64

ヒーターP. 9-5
エアコンP. 9-15

灰皿P. 8-3

シガレットライター
P. 8-3

＜除く, RS＞

三菱マルチコミュニケーションシステム*

非常点滅灯スイッチ
P. 6-58

リヤウインドウデフォッガー
(曇り取り)スイッチP. 6-64

エアコンP. 9-15

音声･映像入力RCA端子*

フロントコンソール
ボックスP. 8-8

アクセサリーソケットP. 8-4

･装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
*別冊の取扱説明書をご覧ください。

AAF004329

室内

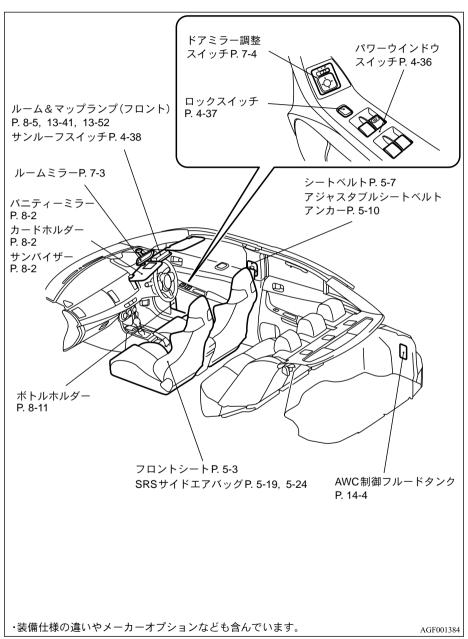
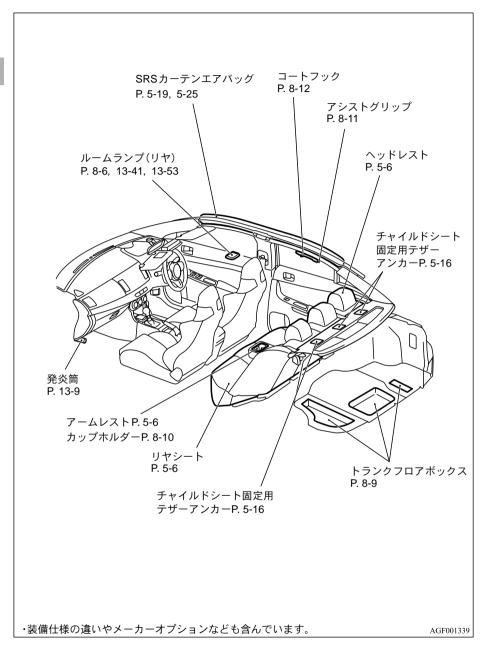
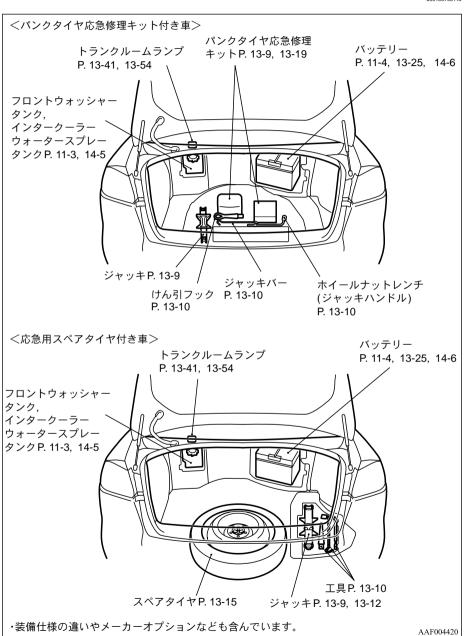
J00100301209

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001339

トランクルーム

J00100700118

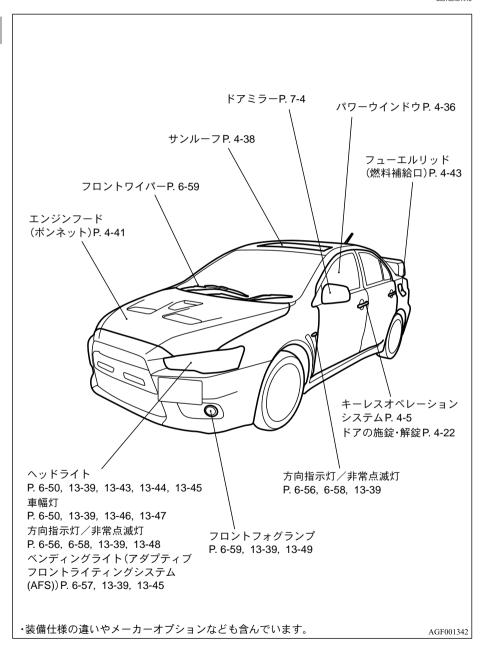
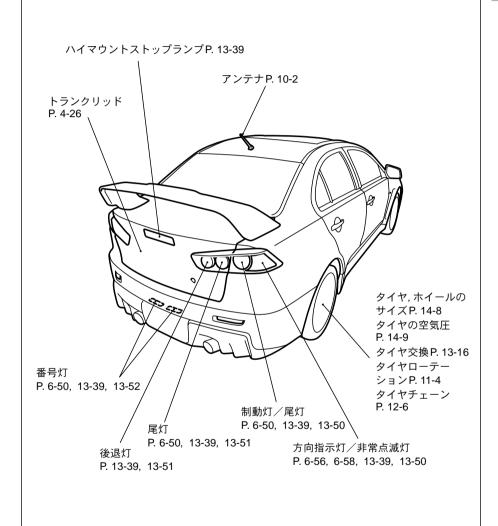
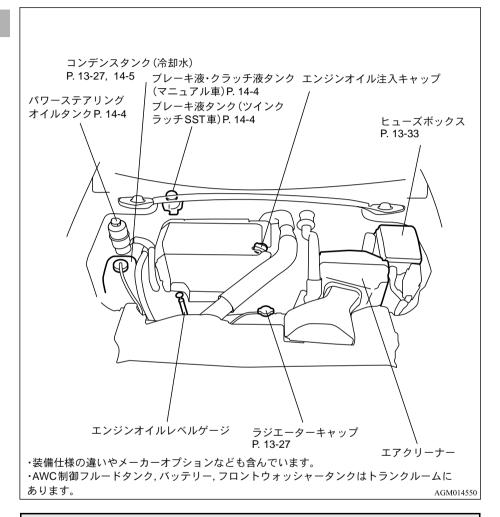
外まわり

J00100401415

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

エンジンルーム

J00100501302

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
・AWC制御フルードタンク, バッテリー, フロントウォッシャータンクはトランクルームにあります。

AGM014550

⚠注意

● 点検や交換した後は, 工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。

安全なドライブのために

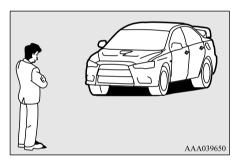
お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検

J00200100849

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

AAA039650

- サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

- 次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
  定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
  →「サービスリマインダーについて」P. 6-24

エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高ければ冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  冷却ファンが作動中にやむを得ず，エンジンルームを点検するときは，冷却ファンに手や衣服などを巻き込まれたり，やけどをするおそれがありますので注意してください。
  一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。

- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000507

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
  排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100133

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200201153

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-7
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

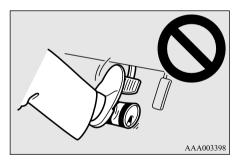
AAA003385

窓越しにエンジンをかけない

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-9
  →「キーレスオペレーションシステム：エンジンのかけ方」P. 4-11，4-15

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。

AAA003398

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
- ずれないようフックなどで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。

荷物を積むときは

● 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

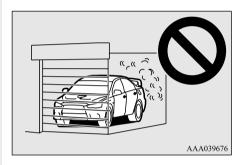
● SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRSカーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

● 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。

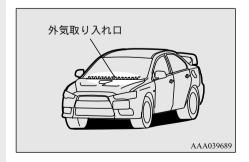
● 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

AAA039676

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

AAA039689

お子さまを乗せるときは

J00200301268

お子さまはリヤシートに座らせる

● 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。

● やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
- 必ずシートベルトを着用する
- シートをできるだけ後方に下げる
- シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

● お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003226

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

● ひざの上にお子さまを抱かないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003239

● リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

2

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-13
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，乳児用シート（ベビーシート）を助手席に取り付けないでください。
  助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO[*1] FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー タイプ別装備

[*1] ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

- ISO　FIX 規格に対応したチャイルドシート[*2]を取り付けるための固定専用バーおよびテザーアンカーです。
  この固定専用バーおよびテザーアンカーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
  →「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方」P. 5-16

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

◆ セーフティー機構付サンルーフ タイプ別装備

- 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンルーフが少し開きます。
  →「セーフティー機構」P. 4-39

◆ ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
  →「ロックスイッチ」P. 4-37

◆ チャイルドプロテクション

- ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
  →「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-25

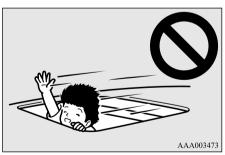
ドア，ウインドウ，サンルーフ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓やサンルーフから手や顔を出させない

- 窓やサンルーフから手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003415

AAA003473

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AGA002982

車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
- 車内にキーを残したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

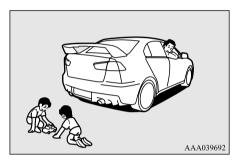
AAA003428

走行するときは

J00200400451

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。

AAA039692

同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003431

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

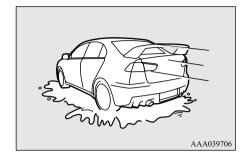
AAA003444

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

● 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200495

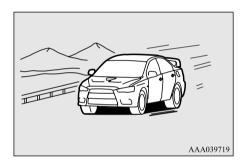
● 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
● 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
● わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
● タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは…

● 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300672

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

AAA039719

エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400110

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

J00202500081

- クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間半クラッチ状態を続けないでください。
  クラッチが早く摩耗したり，過熱して，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600125

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P. 13-4

2

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700171

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800303

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
  • 駐車場の出入口
  • 路肩や車止めのある場所
  • 勾配の急な場所
  • わだちのある道路
● 一般の車に比べて地面との距離が近くなっていますので十分注意してください。

走行中に異常に気づいたら

J00200500915

万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

● 警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「インフォメーション画面表示一覧」P. 6-40
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

ツインクラッチSST車の取り扱い

J00200600596

ツインクラッチSST車の特性

ツインクラッチSSTはエンジンとトランスミッションを統合的に制御することにより，オートマチックトランスミッションのような滑らかな変速およびマニュアルトランスミッションに近い燃費性能と加速性能を同時に実現したトランスミッションです。
また，3種類の制御モードの中から走行条件に合ったモードを選択することができます。
マニュアルシフトの操作と合わせてさまざまな走行状況に対応できます。
→「ツインクラッチSST制御モード」P. 7-20
→「マニュアルシフト」P. 7-22

クリープ現象とは…

- シフトレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れ，ブレーキペダルを放すと動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すツインクラッチSST車特有の現象。

キックダウンとは…

- シフトレバーをⒹに入れて走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

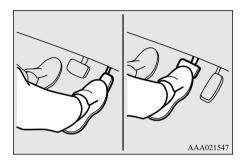
ブレーキペダルは右足で

- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

エンジンをかける前に

J00201100497

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA021547

- シフトレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

AAA007237

エンジンをかけるときは

J00201200456

- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-9
  →「キーレスオペレーションシステム：エンジンのかけ方」P. 4-11，4-15

エンジン始動後

J00201300170

- エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。

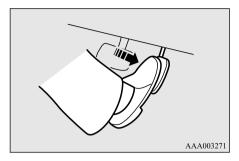
発進するときは

J00201500215

- ブレーキペダルを右足で踏んだままシフトレバーを操作します。

AAA007279

- アクセルペダルを踏み込みながらシフトレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。
- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

AAA003271

走行中は

J00201600405

- ツインクラッチSST制御モードの「S-Sport」モードは「Sport」モードよりも高いエンジン回転で，さらに素早い変速が可能です。このため，変速時にショックを伴いますので，一般道路を快適に走行する場合の使用には適しません。クローズドサーキットなどで安全を確保し使用することをおすすめします。
  なお，クローズドサーキットでの走行については，別冊の「メンテナンスノート：保証書」に記載されているような場合，保証の対象外となることがあります。
  詳しくは「メンテナンスノート：保証書」をお読みください。
- スポーティな走行を連続して行いツインクラッチ SST オイルの温度が上昇すると，シフトレバーまたはパドルシフトを操作してからシフトチェンジするまでの時間が長くなることがあります。
- 完全に車を止めてからシフトレバーを操作してください。
  車が動いているうちにシフトレバーを操作するとトランスミッションの故障の原因になります。

停車中は

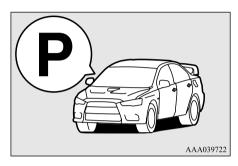
J00201700190

- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，シフトレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800537

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，シフトレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，シフトレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

AAA039722

- エンジンスイッチをLOCKにしてからエンジンが止まり車両の電源が切れるまでに，約1秒かかります。

  約1秒かかる理由は…
  エンジンスイッチをLOCKにしてからエンジンが止まるまでの間にツインクラッチ SST 内部のギヤの結合を解除し，つぎのエンジン始動をスムーズに行うためです。
  ツインクラッチSST は内部に備えた2個のクラッチを交互につなぎ換えることでスムーズな変速を行います。また，つながっていないクラッチ側のギヤを結合した状態にすることで素早い変速を行います。
  このようにギヤが結合したままの状態でエンジンが止まると，つぎのエンジン始動時に抵抗となるため，エンジン停止までの約1秒間にギヤの結合を解除します。

2

その他に気をつけること

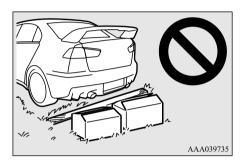
J00201900189

- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，シフトレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700816

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
- 駐車ブレーキをかける。
- マニュアル車はシフトレバーを❶またはⓇに，ツインクラッチSST 車はシフトレバーをⓅに入れる。
- エンジンを止める。
- キーを携帯し，ドアを施錠する。

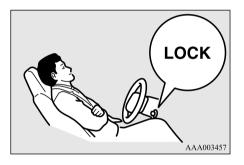
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にシフトレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

AAA003457

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを🅟に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200901235

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しない

● 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

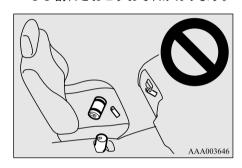
オーディオまたはカーナビゲーションの操作は停車してから

● 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

● 喫煙しながらの運転は控えてください。
注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

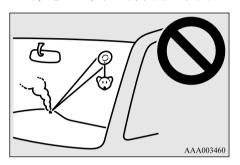
車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

● 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

● 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
万一の場合，火災になるおそれがあります。

2

アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
  運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
  →「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 14-8
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
  お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップをしない

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

AGA003501

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000366

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
  燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

3

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00300700019

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

J00300900011

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00301000019

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200011

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00301300012

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300158

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00301400013

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

ブレーキの慣らし運転について

J00301700016

高性能なブレーキパッドを使用しているため，新車お買い上げ後，走行距離が約 500km になるまでは，できるだけ急ブレーキを避けた慣らし運転をしてください。慣らし運転なしで，ブレーキを過酷に使用すると，ブレーキからの異音や振動の原因となる場合があります。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500014

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

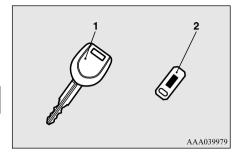
J00301600015

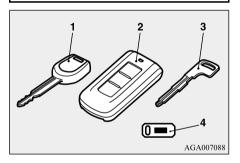
- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

キー

J00400101356

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

1: エンジンイモビライザー用キー
2: キーナンバープレート

キーレスオペレーションシステム付き車

1: エンジンイモビライザー用キー
タイプ別装備
2: キーレスオペレーションキー
(エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー機能付き)
3: エマージェンシーキー
4: キーナンバープレート

4

警告

● 航空機内にキーレスオペレーションキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運行に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

● キー（除く，エマージェンシーキー）は信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
- 分解，改造をしない
- キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
- 水にぬらさない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
- オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 携帯電話や無線機，高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
- 超音波洗浄器などで洗浄しない

● 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
また，必ず日本国内で使用してください。
● 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
● あらかじめ登録されたキー（除く，エマージェンシーキー）以外ではエンジンがかかりません。
→「エンジンイモビライザー」P. 4-4

アドバイス

- セキュリティーアラーム付き車は，セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P. 4-28
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

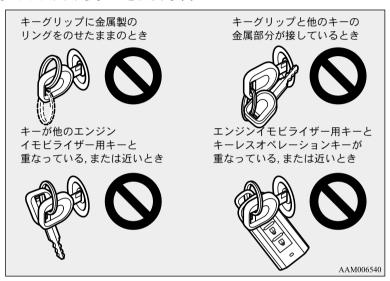
4

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200318

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。

  このようなときは，キーに接している金属や他のキーを取り除いてからエンジンスイッチをACCまたはLOCKに戻し，再度エンジンをかけます。
  エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，同じ車両で最大8本までキーを登録できます。また，キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーションキーを最大4個まで，エンジンイモビライザー用キーを最大4本まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスオペレーションシステム

タイプ別装備

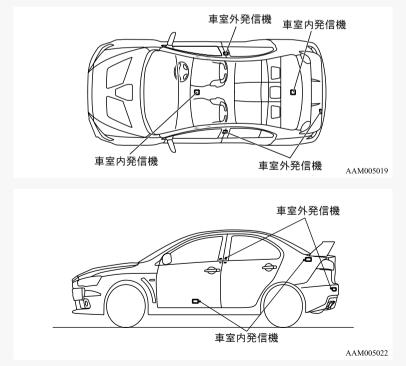
J00407400452

キーレスオペレーションシステムは，キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアの施錠・解錠操作やトランクを開ける操作，およびエンジンの始動操作ができるシステムです。
また，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-19

キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアの施錠･解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので, 車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

● **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は, 車室外発信機・車室内発信機から約 22 cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**

⚠警告

● **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は，キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。（キーレスエントリーとしての操作は可能です）
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアの施錠・解錠操作およびトランクを開ける操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアの施錠・解錠操作およびトランクを開ける操作のみ：車室外発信機および車室内発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くにTV塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

このようなときはエマージェンシーキーを使用してください。
→「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P. 4-15

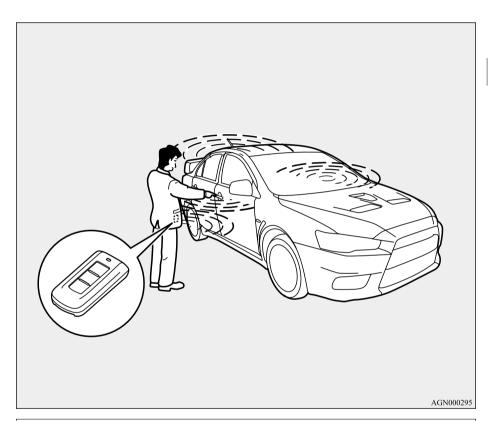
● キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約1年～3年です。電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。→「電池交換のしかた」P. 4-21

● キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

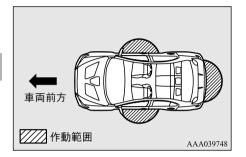
J00407500453

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り, ドアまたはトランクリッドのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ，ドアの施錠・解錠操作やトランクを開ける操作，およびエンジンの始動操作が可能になります。

AGN000295

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや, 強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

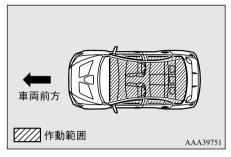
◆ ドアを施錠・解錠するときやトランクリッドを開けるときの作動範囲

作動範囲は運転席ドア，助手席ドアのハンドルおよびトランクリッドの中心から周囲約70 cm以内です。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドアや助手席ドアのスイッチおよびトランクオープンスイッチの操作でドアの施錠・解錠およびトランクリッドを開けることができます。
  ただし，キーレスオペレーションキーを検知しているドアおよびトランクリッド以外では，ドアの施錠・解錠およびトランクリッドを開けることができません。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，トランクリッドに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドアや助手席ドアのハンドルおよびトランクリッドの中心から周囲約 70 cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。

◆ エンジンを始動するときの作動範囲

J00407600177

作動範囲は車室内です。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル上部またはドアポケットなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスに近づきすぎているときは，エンジン始動ができることがあります。

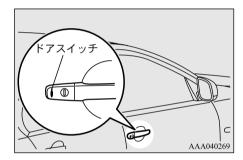
キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

J00407700295

◆ ドアの施錠

J00412500129

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアまたは助手席ドアのドアスイッチを押すとすべてのドアが施錠します。

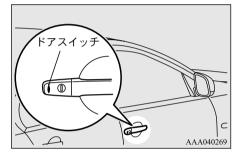
「各部の開閉:ドア，センタードアロック」も合わせてお読みください。
→P. 4-22，4-24

アドバイス

- ドアスイッチですべてのドアを施錠すると，ドアミラーは自動格納します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 7-4
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
  - ドアが開いている，または半ドアのとき
  - エンジンスイッチがLOCK以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-28

◆ ドアの解錠

J00412600133

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドア，助手席ドアのドアスイッチを押すとすべてのドアが解錠します。
解錠しても約30秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。

「各部の開閉:ドア，センタードアロック」も合わせてお読みください。
→P. 4-22，4-24

アドバイス

- ドアスイッチですべてのドアを解錠するとドアミラーは自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 7-4
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - ドアが開いている，または半ドアのとき
  - エンジンスイッチがLOCK以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置，またリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時: 非常点滅灯が 1 回点滅し，ブザーが1回鳴る

解錠時: ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，ブザーが2回鳴る

アドバイス

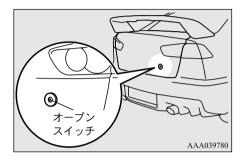
- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ トランクリッドを開けるには

J00414500022

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内でオープンスイッチを押し続けるとトランクリッドが開きます。

「各部の開閉 : トランクリッド」も合わせてお読みください。→P. 4-26

アドバイス

- トランクリッドが開いているときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。

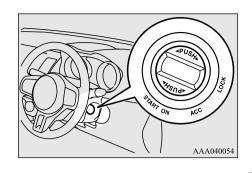
◆ エンジンの始動

J00432300338

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。(エンジンイモビライザー機能)

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，エンジンスイッチを回すとエンジンの始動ができます。

「運転装置：エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。
→P. 7-10

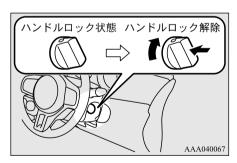
エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるときの操作については「運転装置：エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるとき」をお読みください。→P. 7-10

エンジンスイッチの位置と働き

位置	働き
LOCK (PUSH OFF)	ハンドルがロックされる位置
LOCK (PUSH ON)	車室内での ID コードの照合が一致したとき，ハンドルロックが解除されてエンジンスイッチを回すことができます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF) にしてください。エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，エンジンスイッチを長時間ONまたはACC のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
→「ACC電源オートカット機能」P. 7-9
- キーレスオペレーションキーを一旦車外に持ち出した後は，エンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。このようなときは，エンジンスイッチを確実に LOCK (PUSH OFF) に戻し，再度エンジンをかけます。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

LOCK (PUSH OFF) から ACC に回すときは

エンジンスイッチを押しながらゆっくり回します。

アドバイス

- エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) からACCに回らないときは，再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かした後，エンジンスイッチを回します。

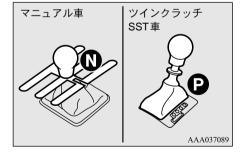
アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車室内にないとエンジンスイッチを回すことはできません。
→「エンジンを始動するときの作動範囲」P. 4-8

ACCからLOCKに回すときは

LOCKまでゆっくり押しながら回します。ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅでないとエンジンスイッチを LOCK まで回すことはできません。

エンジンのかけ方

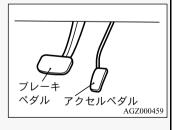
1. 正しい運転姿勢をとります。
ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
→「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。
3. マニュアル車は，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込み，シフトレバーをⓃに入れます。ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- ツインクラッチSST車は，シフトレバーがⓅのときまたはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)からLOCK (PUSH ON) に押しながらSTART にゆっくり回してエンジンをかけます。

⚠警告

- **ツインクラッチ SST 車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

警告作動について

J00407800427

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面の表示およびブザーで注意を促します。
警告作動をしたときは，必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また，キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示します。

つぎのような警告作動の場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

	● キーレスオペレーションシステムに異常があるとき
	● キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき

つぎのようなときにも警告作動しますが，正しい使い方をすれば表示は消えます。

● キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき

キーが 見つかりません	IDコードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している, またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
	→「キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構」P. 4-14

● ドアスイッチを押しても施錠できないとき

キーが 車室内にあります	→「キー閉じ込め防止機構」P. 4-14
いずれかの ドアが開いています	→「半ドア防止機構」P. 4-15
LOCK	→「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」P. 4-15

◆ キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

J00410600256

駐車中，かつエンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると, 警告表示と4回鳴るブザーで警告します。

アドバイス

- ● ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。
- ● ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ● エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても，周囲の環境または電波状態などにより，キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったときは，警告が作動することがあります。

◆ キー閉じ込め防止機構

J00410700374

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアを閉め，ドアスイッチを押して施錠し

ようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアの施錠ができません。

アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。
  車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも，周囲の環境または電波状態などにより，施錠されることがあります。

◆ 半ドア防止機構

J00410800317

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，いずれかのドアを完全に閉めずにドアスイッチを押して施錠しようとすると, 警告表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアの施錠ができません。

◆ エンジンスイッチ切り忘れ防止機構

J00410900291

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，すべてのドアを閉め，ドアスイッチを押して施錠しようとすると, 警告表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアの施錠ができません。

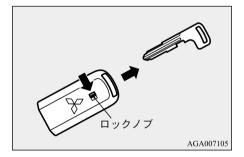
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900314

◆ エマージェンシーキー

J00412000078

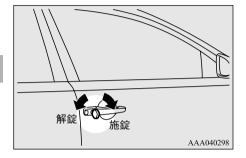
エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作をすることができます。

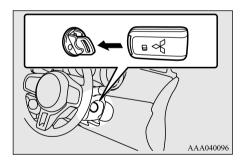
ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。

アドバイス

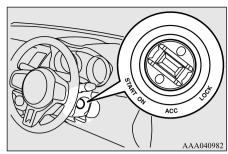
- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-21
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「各部の開閉：ドア」も合わせてお読みください。→P. 4-22

エンジンの始動

車両盗難防止のため，エマージェンシーキーにあらかじめ登録されたキーレスオペレーションキーを取り付けたときだけエンジンをかけることができます。（エンジンイモビライザー機能）

「運転装置：エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。→P. 7-10

エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるときの操作については「運転装置：エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるとき」をお読みください。→P. 7-10

● エンジンスイッチの位置と働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 エマージェンシーキーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

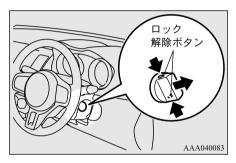
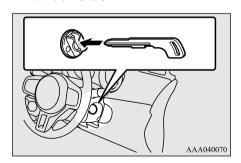
アドバイス

- ● エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，エンジンスイッチを長時間ONまたは ACC のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- ● エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACCの位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
→「ACC電源オートカット機能」P. 7-9

アドバイス

- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

LOCKからACCに回すときは

1. キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り出します。
   →「エマージェンシーキー」P. 4-15
2. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。

3. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込み，押しながらゆっくり回します。

アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回します。

ACCからLOCKに回すときは

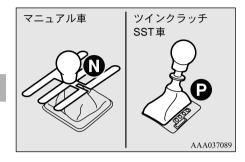
1. LOCKまでゆっくり押しながら回してエマージェンシーキーを抜きます。
   ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅでないとエンジンスイッチをLOCK まで回すことはできません。
2. エンジンスイッチのカバーを取り付けます。
3. エマージェンシーキーをキーレスオペレーションキーに戻します。

アドバイス

- エマージェンシーキーを使用しないときは必ずエンジンスイッチのカバーを取り付けておいてください。エンジンスイッチのキー穴にほこりなどが入り故障の原因になるおそれがあります。

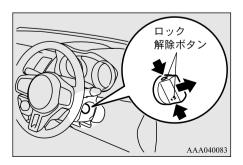
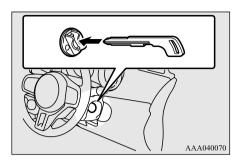
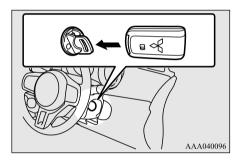
エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。

3. マニュアル車は，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込み，シフトレバーをⓃに入れます。ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- ツインクラッチSST車は，シフトレバーがⓅのときまたはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

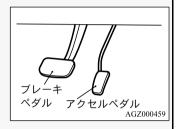
  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。

5. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込みます。

6. エマージェンシーキーにキーレスオペレーションキーを差し込みます。

7. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを押しながら START に回してエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーから取り外します。

⚠警告

- エンジンがかかった後は，必ずエマージェンシーキーからキーレスオペレーションキーを取り外してください。
  取り付けたままにしておくと，キーレスオペレーションキーが足元に落ち，ペダル操作を妨げるおそれがあります。
  また，運転席SRSニーエアバッグが膨らむ際，正常に膨らむのを妨げたり，キーレスオペレーションキーが飛ばされて重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- ツインクラッチ SST 車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- エマージェンシーキーにキーホルダーなどを取り付けていると，キーレスオペレーションキーをエマジェンシーキーに差し込めなくなり，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
  エマージェンシーキーを使用してエンジンをかけるときは，キーホルダーなどを取り外してから使用してください。

◆ キーレスエントリー

J00408900395

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアの施錠・解錠，およびドアミラーを操作することができます。
また，トランクリッドを開くこともできます。

ドアの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- UNLOCK　スイッチを押すと車幅灯が約30秒点灯します。
  詳しくは「ウェルカムライト」をお読みください。→P. 6-53
- キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 7-4
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-28

アドバイス

- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置に，またリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が1回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
  - キーレスエントリー操作時にブザーを鳴らす。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

トランクリッドの開け方

TRUNKスイッチを5秒以内に続けて2回押すと，トランクリッドが開きます。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

工場出荷時は上記の操作をしても作動しません。
作動させたいときは，ドアミラーの設定を「キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムに連動（LOCKで格納，UNLOCKで復帰）」以外に変更する必要があります。
→「ドアミラー」P. 7-4
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。
詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチによる操作は車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはキーレスオペレーションキーは作動しません。
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
  - ドアが開いている，または半ドアのとき
- キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき
  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-21

電池交換のしかた

J00408000064

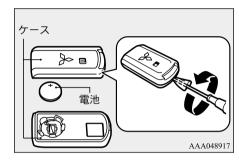
⚠警告

- **電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。**

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部に水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. エマージェンシーキーを取り外します。
   →「エマージェンシーキー」P. 4-15
2. 三菱マークを上にして，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。

3. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400525

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に半ドア警告が表示されます。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

4

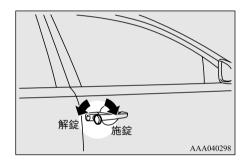
車外から施錠・解錠するときは

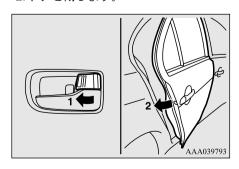
J00404400637

◆ キーを使って施錠・解錠するときは（フロントドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーを使って施錠・解錠をすることができます。
  →「エマージェンシーキー」P. 4-15

◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500494

キーを使ってエンジンをかけているとき

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

◆ エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構

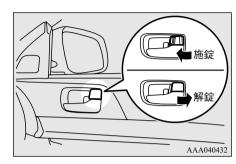
J00408700377

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

エンジンを止めた後，エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，運転席ドアを開くとエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600639

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。

◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
また，同時にすべてのドアが解錠されます。

センタードアロック

J00400501060

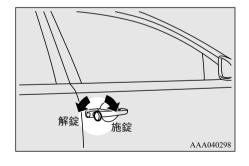
つぎの操作ですべてのドアの施錠・解錠ができます。

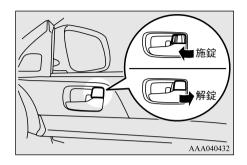
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

施錠・解錠するときは

◆ キーを使って

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアが解錠します。

◆ ロックノブを使って

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアが解錠します。

解錠するときは

エンジンスイッチを使って解錠する機能と，シフトレバー（ツインクラッチSST車）を使って解錠する機能のいずれかを設定することができます。
これらの機能は工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

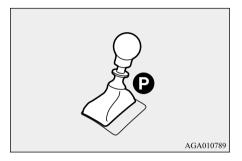
◆ エンジンスイッチを使って

エンジンスイッチを LOCK にするとすべてのドアが解錠します。

◆ シフトレバーを使って

ツインクラッチSST車

エンジンスイッチが ON のときにシフトレバーを🅟に入れるとすべてのドアが解錠します。

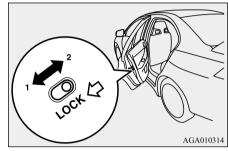
AGA010789

アドバイス

- 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600497

レバーを施錠側 (1) にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。

AGA010314

1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

トランクリッド

J00400900142

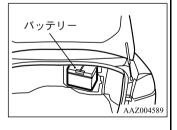
⚠警告

- トランクは中から開けることはできません。
  お子さまが入らないように注意してください。閉じ込められると重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずトランクリッドが確実に閉じていることを確認してください。開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

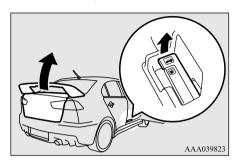
⚠注意

- トランクルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- トランク内にあるバッテリー取り付け位置に工具など物を置かないでください。
  走行中バッテリーにあたり，バッテリーが破損するおそれがあります。

AAZ004589

4

車内から開けるときは

運転席右下のレバーを引き上げるとトランクリッドが開きます。
トランクリッドを開くとトランクルームランプが点灯し，閉じると消灯します。

AAA039823

アドバイス

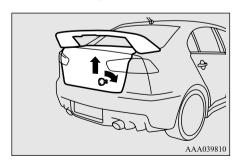
- トランクルームランプを点灯したまま長く放置するとトランクルームランプは自動消灯します。
  →「インテリアランプオートカット機能（自動消灯）」P. 8-7

車外から開けるときは

◆キーを使って開けるときは

タイプ別装備

キーを差し込み右に回します。

AAA039810

◆ キーレスオペレーションシステムを使って開けるときは

タイプ別装備

キーレスオペレーションキーの TRUNK スイッチを押す，またはトランクリッドのオープンスイッチを押してトランクリッドを開けます。
「各部の開閉：キーレスオペレーションシステム」も合わせてお読みください。
→P. 4-5

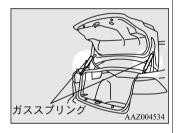
閉めるときは

トランクリッドをおろして少し勢いをつけて押しつけると閉まります。

⚠注意

● トランクリッドを閉じた後は必ずトランクリッドが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちることがあります。

アドバイス

● トランクリッドを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてトランクリッドを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

セキュリティーアラーム

タイプ別装備 J00401201019

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーまたは，キーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやトランクリッドを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。
さらに室内センサー付き車は，つぎのときも警報作動します。

- 車体を不正に動かそうとしたとき（車体傾斜検知機能）
- 室内で動くものを検知したとき（室内侵入検知機能）
- バッテリー端子を外したとき

工場出荷時は，セキュリティーアラームが，除く室内センサー付き車は「作動しない」に，室内センサー付き車は「作動する」に設定されています。
設定を変更するときは「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-30
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

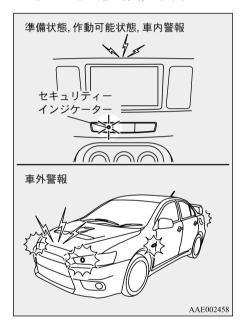
- キーレスエントリーまたは，キーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドアを施錠したときは，このシステムは働きません。
- 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。
- 室内センサー付き車は，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠・解錠操作をしても非常点滅灯が点滅しないときは，セキュリティーアラームの異常が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 室内センサー付き車は，以下のときは正常作動しない場合があります。
  - 洗車機を使用したとき
  - 車両をフェリーに乗せたとき
  - 車両を立体駐車場に乗せたとき
  - 車内に人や動物を乗せたままのとき
  - 窓やサンルーフを開けたままのとき
  - マスコットやアクセサリーなど動きやすい物が車内にあるとき
  - ひょうや落雷など，連続的な衝撃や振動を車両に受けたとき

  状況に応じて車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止してください。
  →「車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止させるときは」P. 4-34
- 室内侵入検知機能の感度を変更する事ができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

システムの基本状態

セキュリティーアラームにはシステム準備状態，システム作動可能状態，警報作動, システム作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて, ブザー, セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーン（室内センサー付き車はサイレン）がつぎの通り作動します。

◆ システム準備状態：約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）
つぎのいずれかの操作ですべてのドアを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。

- キーレスオペレーションキーのLOCKスイッチを押す
- 運転席ドアまたは助手席ドアのドアスイッチを押す

車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ システム作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターの点灯時間が短くなり，点滅し続ける）
システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
作動可能状態のとき，不正にドアなどが開けられると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。
さらに室内センサー付き車は，車体を不正に動かそうとしたり，室内への侵入を検知しても警報が作動します。

◆ 警報作動

車内警報（約10秒間）：

ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。（除く室内センサー付き車）

車外警報（約30秒間）：

非常点滅灯が点滅し，ホーン（室内センサー付き車はサイレン）が鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-35

アドバイス

● 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

◆ システム作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。

また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。

→「システム作動の解除のしかた」P. 4-34
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-36

アドバイス

● 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

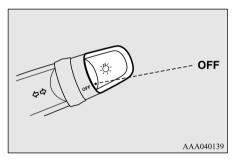
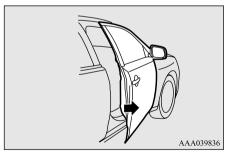
セキュリティーアラームの設定変更のしかた

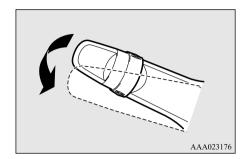
J00402701008

セキュリティーアラームの設定を「作動する」または「作動しない」のいずれかに変更することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

1. エンジンスイッチを LOCK にします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

AAA040139

AAA039836

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。）

AAA023176

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

AAA040025

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
2回	警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約 30 秒経過する
   - エンジンスイッチを LOCK (PUSH ON) 位置に押す

4

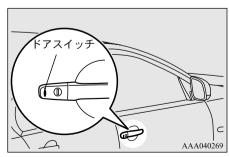
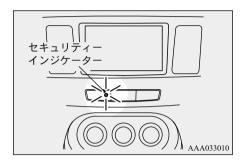
アドバイス

- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

J00402800914

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

1. エンジンスイッチを LOCK にします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア，トランクリッドおよびエンジンフードを閉じます。
3. つぎのいずれかの操作ですべてのドアを施錠します。
   - キーレスオペレーションキーの LOCK スイッチを押す
   - 運転席ドアまたは助手席ドアのドアスイッチを押す

キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，オーディオパネル内のセキュリティーインジケーターが点滅します。

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドアを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードまたはトランクリッドが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードまたはトランクリッドを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

4

◆ 車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止させるときは

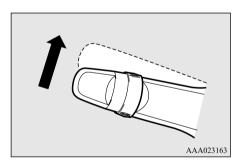
J00433200060

室内センサー付き車

機械式の立体駐車場に駐車するときや車内にペットを残したときなどに，一時的に車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止することができます。

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを約 3 秒間 MIST 位置に引き上げます。
   ブ ザーが1回鳴り, 機能が停止します。

また, 再び機能を作動させたいときは, フロントワイパー・ウォッシャースイッチを約3秒間MIST位置に引き上げます。
ブザーが2 回鳴り機能が作動します。

AAA023163

アドバイス

- 機能を停止した後，つぎの操作で機能が再び作動します。
  - キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押す
  - 運転席ドアまたは助手席ドアのドアスイッチを押す
  - エンジンスイッチをONまたはACCにする

システム作動の解除のしかた

J00402900739

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドアを開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む
- キーレスオペレーションキーを携帯し，キーレスオペレーション機能で解錠する

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードやトランクリッドを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードやトランクリッドを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスオペレーションキーは 4 個まで登録できます。
  登録済みのキーであれば，セットしたキーと別のキーを使ってもシステムを解除することができます。
  キーの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「キーレスオペレーションシステム：電池交換のしかた」P. 4-21

アドバイス

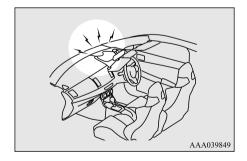
- UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警報作動

J00403000968

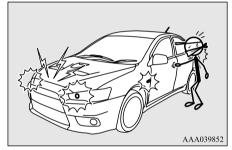
システム作動可能状態のときに，キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押す，または運転席ドア、助手席ドアのドアスイッチを押す以外の操作で解錠し，いずれかのドア，トランクリッドまたはエンジンフードを開けると警報作動します。

1. 車内警報が約10秒間作動します。
   （除く室内センサー付き車）

AAA039849

アドバイス

- システム作動可能状態のときにエンジンフードやトランクリッドを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。
- 車内警報の時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

2. 車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーン（室内センサー付き車はサイレン）が断続的に鳴ります。

AAA039852

3. 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に表示されます。

警報作動の解除のしかた

J00403100624

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

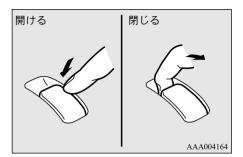
- キーレスオペレーションキーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
  〔LOCK スイッチを押したとき, すべてのドアが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチを ON にする
- キーレスオペレーションキーを携帯し，キーレスオペレーション機能でドアを施錠または解錠する

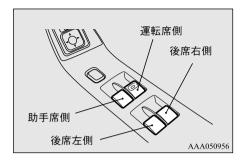
アドバイス

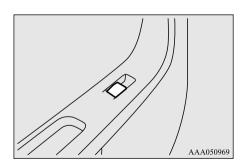
- 車内警報中にドアを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが 4 回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

J00401500897

警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

運転席スイッチ

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席,後席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

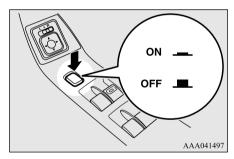
タイマー機構

J00405200762

エンジンスイッチをACCもしくはLOCKにした後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。ただし，この時間内に運転席ドアまたは助手席ドアを開けるとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300753

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

アドバイス

- ロックスイッチがONのときは, 運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403200612

運転席ドアガラス

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

4

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- パワーウインドウスイッチを引き上げている間は，セーフティー機構は働きません。
  手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

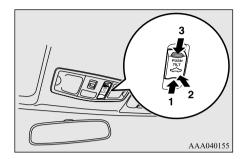
アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，いったんスイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800483

AAA040155

開けるときは

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(1)の方向に押すと自動的に開きます。
途中で止めたいときは，スイッチを(2)の方向に押すか，または(3)の方向に押します。

アドバイス

- サンルーフは全開の手前で一時停止します。
  再度スイッチを押すと完全に開きます。

閉めるときは

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(3)の方向に押すと全閉します。
途中で止めたいときは，スイッチを(2)の方向に押すか，または(1)の方向に押します。

チルトアップするときは（サンルーフの後端を上げる）

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(2)の方向に押すとサンルーフの後端が上がります。（チルトアップ）
スイッチを(3)の方向に押すとサンルーフが閉じます。（チルトダウン）

タイマー機構

J00408600158

エンジンスイッチをACCもしくはLOCKにした後でも約30秒間はサンルーフを開閉することができます。
この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約 30 秒間サンルーフを開閉できます。ただし，いったん運転席ドアを閉めるとサンルーフの開閉はできなくなります。

セーフティー機構

J00403500338

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。
5 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に閉まらなくなります。つぎの方法でサンルーフを処置してください。

1. スイッチを (2) の方向に繰り返し押してサンルーフをチルトアップにします。
2. チルトアップでスイッチを (2) の方向に約3秒以上押し続けます。
3. スイッチを(3)の方向に押し, サンルーフを全閉にします。
4. スイッチを (1) の方向に押して全開にした後，スイッチを (3) の方向に押してサンルーフを全閉にします。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 全開，全閉の操作の途中でサンルーフを止めないでください。
  途中で止めた場合，もう一度“1”からの手順で操作をしてください。

5. これにより，元通りにサンルーフの開閉操作ができるようになります。

4

⚠警告

- サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。
- 安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首などをはさむおそれがあります。
- 走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。

⚠注意

- サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

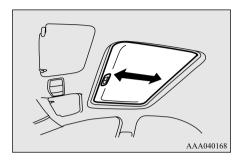
アドバイス

- サンルーフを自動で開けると，全開前にいったん作動を停止します。
この位置で走行すると全開状態に比べて風切音が小さくなります。
- 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
- エンジンをかけずに何度もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

サンシェードを開閉するときは

J00403600153

手動で開閉することができます。

AAA040168

⚠注意

- 開閉するときは，指をはさまれないように注意してください。

アドバイス

- サンシェードはサンルーフを開けるとき連動して開きます。
- サンシェードは必ずチルトダウンしてから閉めてください。
- サンルーフが開いているときに無理にサンシェードを閉めないでください。
破損するおそれがあります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402101031

⚠注意

- やけどのおそれがあるため，エンジン回転中や走行直後にエンジンフードのエアーアウトレットやエアスクープに触らないでください。

AGZ001414

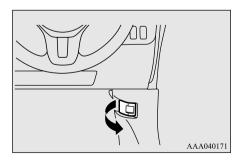
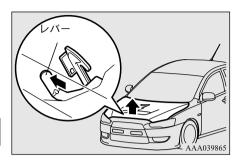
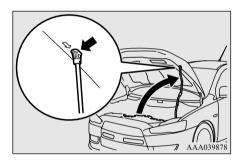
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

アドバイス

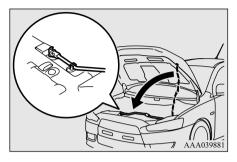
- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

AAA040171

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

- エンジンフードが開いたまま走行するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300515

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

アドバイス

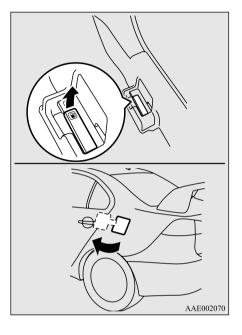
- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

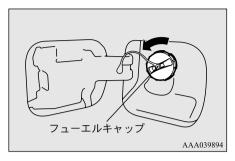
4

開けるときは

J00405000454

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

AAE002070

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

AAA039894

アドバイス

- フューエルキャップをリッドの裏側に置くことができます。

AAZ004521

⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100149

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

シート

J00509901039

フロントシート

- 前後調整P. 5-4
- 背もたれの角度調整P. 5-4
- フロントシートヒーター タイプ別装備 P. 5-5

リヤシート

- アームレスト（ひじ掛け） タイプ別装備 P. 5-6

シート調整

J00500200393

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

フロントシート

J00500300567

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

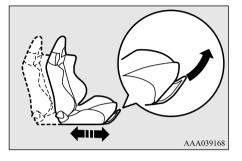
⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

J00500400337

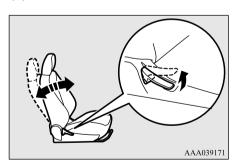
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

AAA039168

背もたれの角度調整

J00500500370

◆ 除く，レカロシート

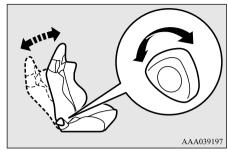
レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

AAA039171

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

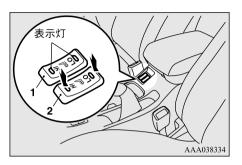
◆ レカロシート

ノブを回して調整します。

AAA039197

フロントシートヒーター

タイプ別装備　J00501300304

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを LO または HI にするとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。

AAA038334

1　- 運転席用スイッチ
2　- 助手席用スイッチ
HI　- 急速暖房
LO　- 通常暖房
OFF（中立）- 暖房停止

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF（中立）にしてください。
- スイッチのHI 側は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら LO または OFF にしてください。

5

リヤシート

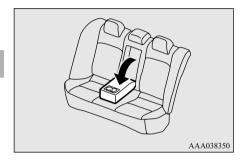
J00501400190

アームレスト（ひじ掛け）

タイプ別装備

J00501800149

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに引き上げます。

AAA038350

アドバイス

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。
- アームレストを倒すとカップホルダー（後席用）があります。
→「カップホルダー」P. 8-10

ヘッドレスト

J00503400471

除く，レカロシート

警告

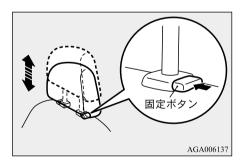
- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

J00532400125

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

AGA006137

取り外すときは

J00508900019

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000235

固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

● ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

● シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なります。前後の向きを確認して間違えないように取り付けてください。

シートベルト

J00505100632

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

● 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
● 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
● ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200284

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

● ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

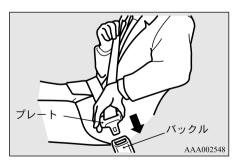
◆ 着用するときは

J00507800138

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

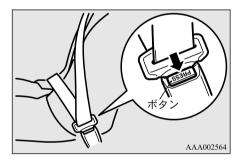
アドバイス

● シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

J00507900458

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

⚠警告

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

◆ シートベルト警告

J00509700607

警告灯

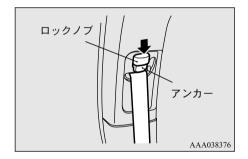
警告表示

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると, 警告灯が点灯し, 約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき, エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。また，同時にマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
警告灯／警告表示とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯／警告表示とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

◆ ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000368

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。

⚠警告

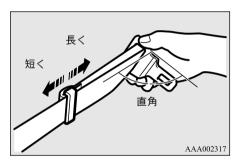
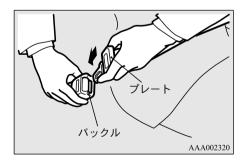
- アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

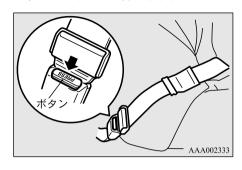
2点式シートベルト

タイプ別装備 J00505300272

体格に合わせてベルトの長さを調整します。

◆ 着用するときは

1. シートベルトがねじれていないか確認した後，ベルトをプレートと直角にして，ベルトを着けたときに腰部とベルトの間に手のひらが入る程度の長さに調整します。

2. プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。
   ベルトは腰部のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

バックルのボタンを押します。

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505701026

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

J00512800019

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-3
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-7
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

J00510100021

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00510000365

警告灯

警告表示

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なとき警告灯はエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。
警告灯／警告表示は SRS エアバッグ警告とプリテンショナー機構警告を兼用しています。

⚠警告

- 警告灯および警告表示がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する
  - 走行中に警告表示される

チャイルドシート

J00506000726

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
  お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ISO FIX[*1]対応チャイルドシート

J00506100554

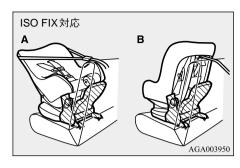
チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシート[*2]です。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

[*1] ISO（国際標準化機構）規格のチャイルドシート固定方式。

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

⚠警告

- お客様のお車用として認可を受けていないチャイルドシート（三菱自動車純正指定以外のものなど）を使用すると，チャイルドシートが適切に固定されずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお客様のお車専用のチャイルドシートを使用してください。

5

A- 乳児用として使うとき（後ろ向き取り付け）

B- 幼児用として使うとき（前向き取り付け）

ベース部（斜線部分）は，シートと別体となります。

<使用の目安>

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用として使うとき	9未満	70未満	新生児~9ヶ月
幼児用として使うとき	9~18未満	70~100	9ヶ月~4才

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200601

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。

＜選択の目安＞

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	13未満	80以下	新生児 ~18ヶ月
幼児用（チャイルドシート）	18未満	105以下	4才以下
学童用（ジュニアシート）	15~36	95~150	3才~12才

アドバイス

- 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

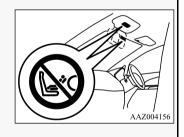
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

5

⚠警告

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

AAZ000943

5

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

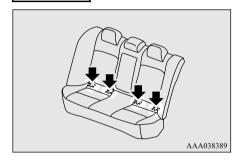
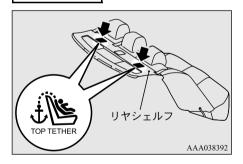
タイプ別装備　J00506300569

固定専用バーはリヤシートクッションのスリットの奥に，テザーアンカーはリヤシート後方のリヤシェルフに，それぞれ装備されています。

固定専用バー

AAA038389

テザーアンカー

AAA038392

⚠警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

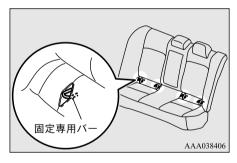
アドバイス

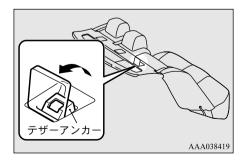
- リヤシート中央のテザーアンカーは使用しないでください。

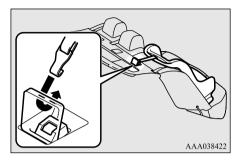
◆ 取り付けるときは

> ⚠警告
>
> ● チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-7
2. リヤシートクッションのスリットを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

AAA038406

3. リヤシート後方のテザーアンカーの位置を確認します。

AAA038419

4. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。
   テザーアンカーへの取り付けは，図の要領で行います。

AAA038422

5. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

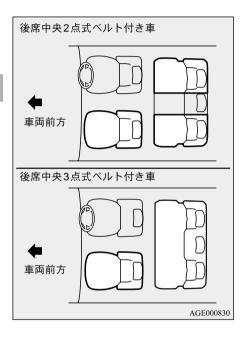
◆ 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

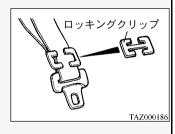
シートベルトでの取り付け方

J00506500864

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能な席

◆ 取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって，正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRSエアバッグ

J00506601136

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチがONのとき，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。
運転席，助手席SRSエアバッグはデュアルステージエアバッグシステムを採用しており，衝撃センサー（車両前方および車両中央床部）で制御しています。

運転席SRSニーエアバッグ

エンジンスイッチがONのとき，運転者に重大な危害が及ぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し，身体全体の保護効果を高める装置です。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

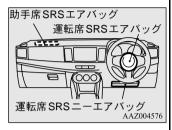
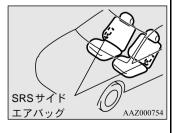
エンジンスイッチがONのとき，運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRSエアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

5

⚠注意

● SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

● SRS サイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどに SRS サイドエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

アドバイス

● SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
● SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。
ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
● 膨らんだSRSエアバッグ（運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグ）は，すぐにしぼむので視界を妨げません。
● SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
● 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

J00506700635

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。
衝撃の大きさにより SRS エアバッグの膨らみ具合は2段階に調整されます。

AAA014037

⚠警告

● ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000679

● ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

タイプ別装備

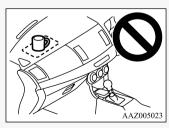
J00506800870

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動し, 膨らみ具合は衝撃の大きさにより2段階に調整されます。

AAA002463

⚠警告

● インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

AAZ005023

⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAZ000085

TAZ000098

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転席SRSニーエアバッグ

J00512900081

運転席SRSニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。

AAA033241

⚠警告

- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり，アクセサリーを取り付けたりしないでください。また，キーに重い物やとがった物，かたい物を取り付けないでください。SRS ニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ004316

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備　　J00507000390

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AAA012873

⚠警告

- フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ収納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
  SRS サイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000233

AAZ000060

AAZ000305

5

⚠警告

- フロントシートにシートカバーは使用しないでください。
また，シートのSRSサイドエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000262

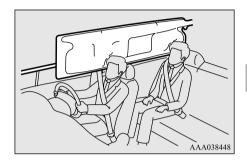
SRSカーテンエアバッグ

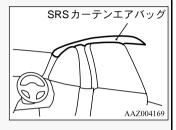
タイプ別装備

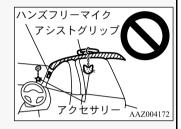
J00507500395

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AAA038448

5

⚠警告

● フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。

⚠警告

● 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどの SRS カーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 車内に荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00507301013

警告灯

警告表示

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なとき警告灯はエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。
警告灯／警告表示は SRS エアバッグ警告とプリテンショナー機構警告を兼用しています。

⚠警告

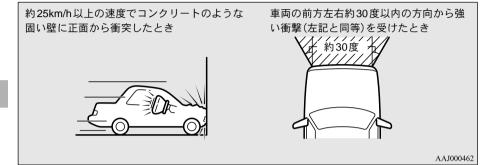
- 警告灯および警告表示がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する
  - 走行中に警告表示される

5

運転席，助手席SRSエアバッグおよび運転席SRSニーエアバッグの作動条件

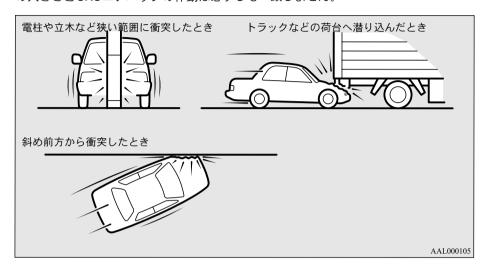
J00506900552

◆ 作動するとき

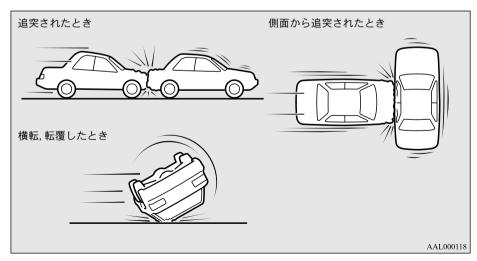
乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

アドバイス

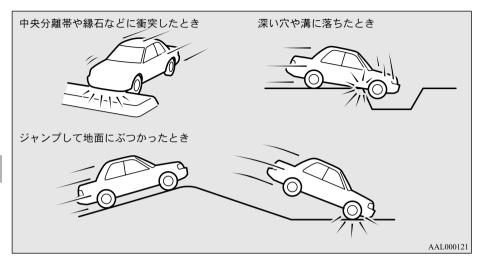
- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

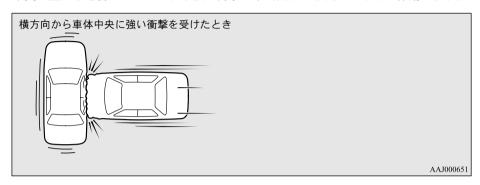
SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

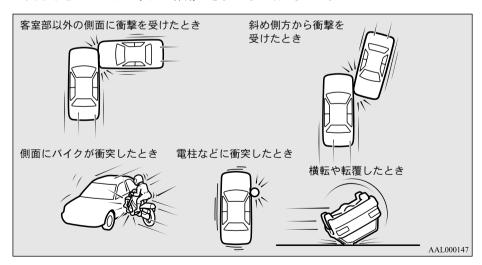
5

◆ 作動することがあるとき

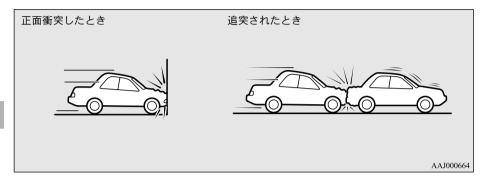
走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

SRSサイドエアバッグ，SRSカーテンエアバッグの作動条件

J00513000089

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

SRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

取り扱い上の注意

J00507400684

⚠警告

● つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 運転席SRSエアバッグ，助手席SRSエアバッグ（タイプ別装備）：
ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理
- 運転席SRSニーエアバッグ：
ハンドル下インストルメントパネル，およびその付近の修理
- SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
前席シートの表皮の張り替え
- SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
フロントピラー, センターピラー, リヤピラー, ルーフサイド部, およびその付近の修理

● サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

● つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ステアリングパッド
- インストルメントパネル上部
- ハンドル下インストルメントパネル
- フロントシート側面
- フロントピラー
- センターピラー
- リヤピラー
- ルーフサイド部

⚠注意

● 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

● 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

● 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

● お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

イベントデータレコーダー(EDR) について

J00512600059

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，強い衝撃を車両前方から受けてエアバッグが展開したときの車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する EDR を備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

メーター・スイッチ

メーター

スイッチ

メーター

J00600100784

1- タコメーター →P. 6-3
2- マルチインフォメーションディスプレイ→ P. 6-4
インフォメーション画面表示一覧→ P. 6-40
3- スピードメーター →P. 6-3
4- メーター照度調整ボタン→P. 6-3

スピードメーター

J00600200091

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300236

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）にはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

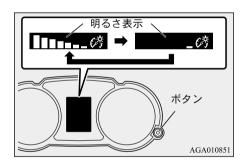
メーター照度調整ボタン

J00606600505

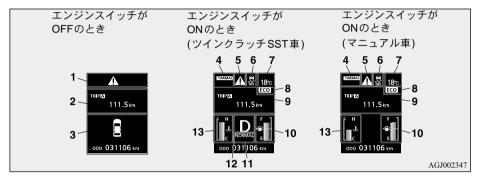
ボタンを押すたびに音が鳴り，メーターの明るさを変えることができます。

アドバイス

- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ8段階ずつ調整することができます。
- オートライト付き車は，ライトスイッチがOFF以外の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- エンジンスイッチを切っても，メーターの明るさの状態を記憶しています。
- 車幅灯点灯時にボタンを約1秒以上押すと，照明の明るさが一番明るい状態に変わります。
  もう一度ボタンを約1秒以上押すと，元の明るさに戻ります。

6

マルチインフォメーションディスプレイ

J00607100376

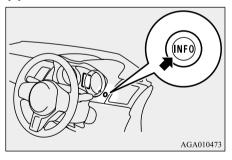
マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター，トリップメーター，サービスリマインダー，エンジン冷却水温，燃料残量，外気温，ツインクラッチ SST 制御モード，S-AWC または ACD 制御モード，シフトレバー位置，平均・瞬間燃費，航続可能距離，平均車速，S-AWC 作動表示，メーター照度などを表示します。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，単位などを変更することができます。

1- 「!」マーク表示画面
(エンジンスイッチOFFのとき)
→ P. 6-6
2- インフォメーション画面
（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-6
割り込み表示画面
（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-8
3- 半ドア警告表示画面
（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-10
4- S-AWC制御モード表示画面
（S-AWC付き車）→ P. 6-11，7-36
ACD制御モード表示画面
（ACD付き車）→ P. 6-11，7-32
5- 「!」マーク表示画面
(エンジンスイッチONのとき)
→ P. 6-12
6- ASC OFF表示画面 タイプ別装備 → P. 6-12
7- 外気温表示画面 → P. 6-21
8- ECO（エコ）ランプ タイプ別装備
→ P. 6-13
9- インフォメーション画面
（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-13
割り込み表示画面
（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-20
10- 燃料残量表示画面 → P. 6-22
11- ツインクラッチSST制御モード表示画面 タイプ別装備 → P. 6-21
12- シフトレバー位置表示画面 タイプ別装備
→ P. 6-21
13- エンジン冷却水温表示 → P. 6-13

アドバイス

- トリップコンピュータ機能の燃料単位, 温度単位や表示言語などの設定を変更することができます。
  「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」→ P. 6-27
- エンジンスイッチがOFFのときとONのときで表示画面が異なります。
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」
  → P. 6-6
  「警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）」
  → P. 6-40
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFからONにしたとき）」
  → P. 6-10
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」
  → P. 6-13
  「警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）」
  → P. 6-42

マルチインフォメーション メータースイッチ

J00607200306

マルチインフォメーション メータースイッチを操作するたびに音がなり，マルチインフォメーションディスプレイの各種警告，サービスリマインダー，平均・瞬間燃費，平均車速などの表示を切り換えることができます。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，及び単位をマルチインフォメーション メータースイッチで操作することにより変更することができます。

「!」マーク表示画面　（エンジンスイッチOFFのとき）

J00609500071

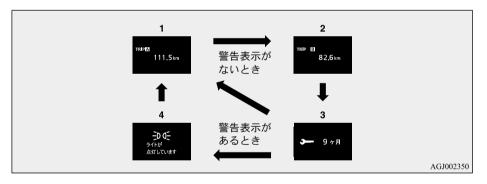
マルチインフォメーション メータースイッチを押して，警告表示画面を警告表示する前の画面に戻したときに「!」マークを表示します。
→「警告表示する前の画面表示に戻すときは」P. 6-9
もしくは，表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると，「!」マークは自動的に消えます。

アドバイス

- 「!」マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
→「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-6
→「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-13

インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607400281

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。

1- トリップメーター A
2- トリップメーター B
3- サービスリマインダー
4- 警告表示画面の再表示

◆オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00609600232

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すたびに表示画面が切り換わります。

オドメーター／トリップメーター[A] → オドメーター／トリップメーター[B] → サービスリマインダー →警告表示画面の再表示 →オドメーター／トリップメーター[A]

オドメーター

走行した総距離を表示します。

トリップメーター

2地点間の走行距離を表示します。

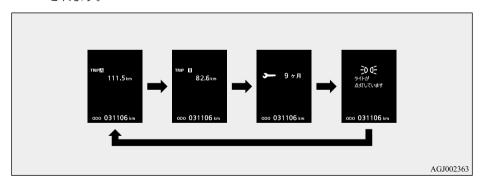
<トリップメーター[A]，トリップメーター[B]の使用例>

トリップメーター[A]で自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーター[B]で途中の経由地からの距離を測ることができます。

● リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーション メータースイッチを約 2 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

<例>

トリップメーター[A]が表示されていれば，トリップメーター[A]だけリセットされます。

アドバイス

- 警告表示がない場合はオドメーター／トリップメーター[A] → オドメーター／トリップメーター[B] → サービスリマインダー → オドメーター／トリップメーター[A] と切り換わります。
- トリップメーター[A]，[B]共に9999.9kmまで計測する事ができます。
  9999.9kmをこえると0.0kmに戻ります。

アドバイス

- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が0.0kmに戻ります。

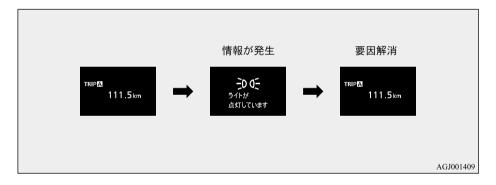
◆ サービスリマインダー

J00609700086

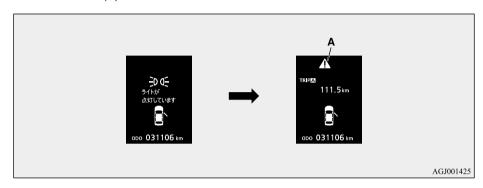
次回定期点検までの距離数と月数を表示します。
→「サービスリマインダーについて」P. 6-24

割り込み表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607600137

キー抜き忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，ブザーが鳴って警告表示画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-40

◆ 警告表示する前の画面表示に戻すときは

J00614300107

警告表示の要因が解消されなくても警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり「!」マーク(A)を表示します。

アドバイス

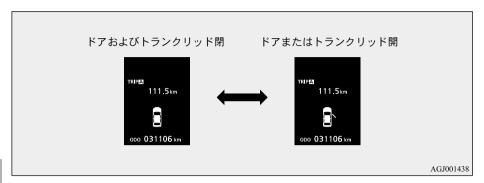
● 画面右上に▣または▣マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。
　▣ :軽く押します。
　▣ :約2秒以上押します。

警告表示画面の再表示

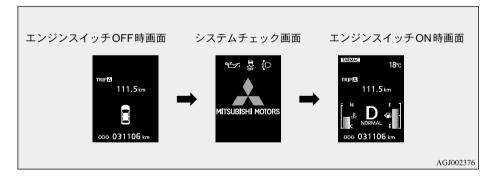
「!」マーク(A)が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。
→「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-6

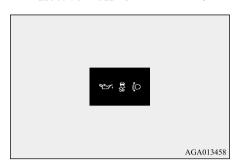
半ドア警告表示（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607800197

いずれかのドアおよびトランクリッドが完全に閉められていないときに開いているドアまたはトランクリッドを表示します。

インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFからONにしたとき）

J00607300323

エンジンスイッチをONにすると，つぎの順で表示画面が切り換わります。

◆ システムチェック画面

エンジンスイッチをONにすると約4秒間システムチェック画面を表示します。異常がなければエンジンスイッチON時画面を表示します。
異常があるときは警告表示画面に切り換わります。
→「警告表示一覧」(エンジンスイッチONのとき) P. 6-42

アドバイス
● お客様の装備によりシステムチェック画面表示は異なります。

◆ サービスリマインダー

定期点検時期がきている場合，エンジンスイッチON時画面の後，数秒間警告表示が表示されます。
→「サービスリマインダーについて」P. 6-24

S-AWC制御モード表示画面（S-AWC付き車）／ACD制御モード表示画面（ACD付き車）

J00616400014

S-AWCまたはACDの作動状態を表示します。
→「S-AWC制御モード」P. 7-36
→「ACD制御モード」P. 7-32

「!」マーク表示画面　(エンジンスイッチONのとき)

J00608000125

マルチインフォメーション メータースイッチを押して警告表示画面を切り換えると表示されます。
もしくは表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると,「!」マークは自動的に消えます。

アドバイス

● 「!」マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
→ 「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき)」P. 6-6
→ 「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき)」P. 6-13

ASC OFF表示画面

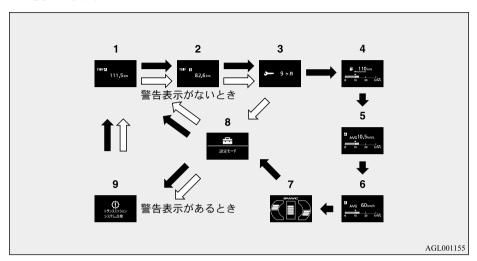
タイプ別装備

J00608100214

ASC OFFスイッチでアクティブスタビリティコントロール(ASC)をOFFにすると表示されます。
もしくは ASCに異常があるときにも表示します。
→ 「ASCのON/OFF作動切り換え」P. 7-44

インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）

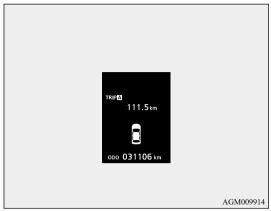
J00608200358

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。

⇨ RS
➡ 除く，RS

1- トリップメーター A
2- トリップメーター B
3- サービスリマインダー
4- 航続可能距離表示・瞬間燃費表示
5- 平均燃費表示・瞬間燃費表示
6- 平均車速表示・瞬間燃費表示
7- S-AWC作動表示
8- 機能設定画面
9- 警告表示画面の再表示

アドバイス

- 機能設定画面は運転中にマルチインフォメーション メータースイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止めてから操作してください。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
- 各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴って表示画面が切り換わります。
  →「割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-20

◆ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

操作方法はエンジンスイッチがOFFのときと同じです。

詳しくは「オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）」をお読みください。→ P. 6-7

◆ サービスリマインダー

次回定期点検までの距離数と月数を表示します。

→ 「サービスリマインダーについて」P. 6-24

◆ エンジン冷却水温表示

エンジン冷却水の温度を示します。

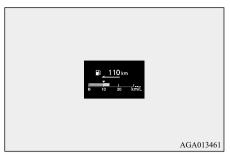
冷却水の温度が高くなるとが点滅します。

水温表示に注意して走行してください。

⚠注意

- オーバーヒートしたときにはが点滅表示します。この場合，バーグラフはレッドゾーンにかかっています。
  ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
  → 「オーバーヒートしたときは！」P. 13-27

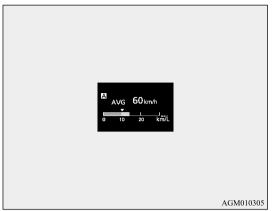
◆ 航続可能距離表示

AGA013461

おおよその航続可能距離（あと何kmまたは何miles走行できるか）を表示します。航続可能距離が約50km (30miles)未満になると“---”を表示します。
早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 航続可能な距離は，燃費データをもとに割り出しますが，道路状況，運転のしかたなどにより変動しますので表示された値はあくまでも参考としてご利用ください。
  また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去され，それまでとは異なった値が表示されることがあります。
- 燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。
  ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（kmまたはmiles）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27

◆ 平均車速表示

AGM010305

リセットしてから現在までの平均車速を表示します。
モード設定にはつぎの2種類の方法があります。
平均車速表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」をお読みください。→ P. 6-27

マニュアルリセットモード

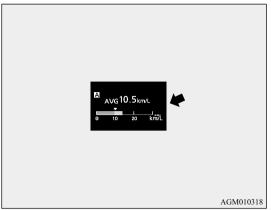
- 平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に，平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均車速が測定できないときは“---”を表示します。
- 単位表示をお好みの設定（km/hまたはmph）に変更することができます。
→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示の記憶は消去されます。

◆ 平均燃費表示

リセットしてから現在までの平均燃費を表示します。
モード設定にはつぎの2種類の方法があります。
平均燃費表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」をお読みください。→ P. 6-27
瞬間燃費計にある▼印は，平均燃費を表します。

マニュアルリセットモード

● 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。

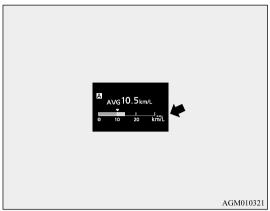
オートリセットモード

● 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
● エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に，平均燃費表示を自動でリセットします。

アドバイス

● バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。
● 平均燃費が測定できないときは“---”を表示します。
● 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
● オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
● 単位表示をお好みの設定｛L/100km，mpg (US)，mpg (UK)またはkm/L｝に変更することができます。
→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27

◆ 瞬間燃費表示

AGM010321

走行中，バーグラフで瞬間燃費を表示します。
平均燃費より瞬間燃費が上回わると瞬間燃費のバーグラフは緑色で表示されます。
瞬間燃費が平均燃費を上回るように意識することで燃費の良い運転をこころがけることができます。

アドバイス

- 瞬間燃費が測定できないときはバーグラフは表示されません。
- 単位表示をお好みの設定｛L/100km，mpg (US)，mpg (UK)またはkm/L｝に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
- バーグラフの緑表示をやめることができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27

◆ S-AWC作動表示

S-AWCの作動状態を表示します。
→「S-AWC作動表示」P. 7-38

⚠注意

- 運転中にS-AWC作動画面を見るときは必要最小限にとどめてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ ECO（エコ）ランプ タイプ別装備

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

◆ 機能設定画面

「表示言語」,「温度単位」,「燃費単位」,「平均燃費・車速リセット方法」などをお好みの設定に変更することができます。
詳しくは,「機能設定するときは（エンジンスイッチONのとき）」をお読みください。→ P. 6-27

割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）

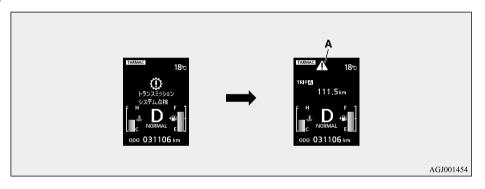
J00608300290

◆ 警告表示

各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってインフォメーション画面が警告表示画面に切り換わります。
警告一覧を参照して必要な処置を行ってください。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-42
警告表示の要因が解除されると，警告表示は自動的に消えます。

警告表示する前の画面表示に戻すときは

警告表示の要因が解消されなくても，警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり，「!」マーク(A)を表示します。

AGJ001454

アドバイス

- 画面右上にまたはマークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。
  ：軽く押します。
  ：約2秒以上押します。

◆ 警告表示画面の再表示

「!」マーク(A)が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。

◆ その他の割り込み表示

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは警告一覧表示の該当ページをお読みください。
→「その他の割り込み表示（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-45

シフトレバー位置表示画面

タイプ別装備

J00616500015

シフトレバーの位置を表示します。
→「シフトレバーの動かし方」P. 7-14

外気温表示画面

J00608500191

車外温度を表示します。

アドバイス

- 表示単位をお好みの設定（°Cまたは°F）に変更することができます。
  → 「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
- 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。

ツインクラッチSST 制御モード表示画面

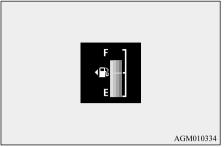
タイプ別装備

J00616600032

ツインクラッチSST制御モードの作動状態を表示します。
→「ツインクラッチSST 制御モード」P. 7-20

燃料残量表示画面

J00608600206

AGM010334

燃料の残量を表示します。

F- 満タンです（RS : 約50L，除く，RS : 約55L）

E- 燃料を補給してください。

⚠警告

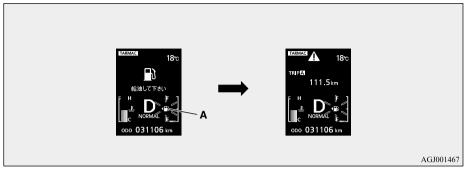
- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチがONのまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

◆ 燃料残量警告表示

燃料が約8L以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り換わり，燃料残量表示の（ ）マーク(A)がゆっくり（1秒間に約1回）点滅します。インフォメーション画面の燃料残量警告表示は数秒後にもとの画面に戻ります。
さらに燃料が約 5L以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示に切り換わり，燃料残量表示の（ ）マーク(A)が早く点滅（1秒間に約2 回）します。

警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-43
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス

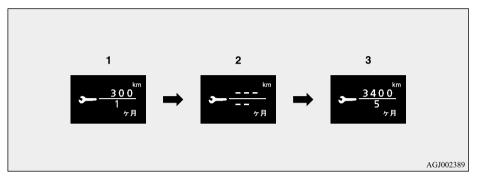
- 坂道やカーブなどでは, タンク内の燃料が移動するため, 正しく表示しないことがあります。

◆ フューエルリッド位置表示

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-43

サービスリマインダーについて

J00609800306

新車1ヶ月点検，新車6ヶ月点検とその後の12ヶ月ごとの定期点検までの時期を表示します。
点検時期が近づいたときは，“---”を表示して知らせます。

1. つぎの定期点検までの時期を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

このときエンジンスイッチを OFF から ON にするとインフォメーション画面に警告表示が数秒間表示されます。

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，つぎの定期点検までの時期を表示します。

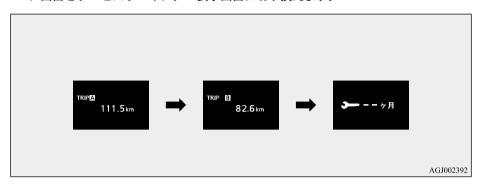
アドバイス

- 距離は100km単位，期間は1ヶ月単位で減少します。
- 新車6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

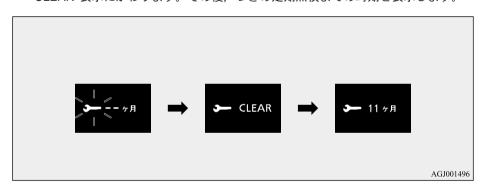
◆ リセットするときは

エンジンスイッチが OFF のときに，“---” 表示をリセットすることができます。リセットするとつぎの定期点検までの時期を表示し，エンジンスイッチが OFF から ON にしたときに表示されていた「定期点検」は表示されなくなります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押して, インフォメーション画面をサービスリマインダー表示画面に切り換えます。

AGJ002392

2. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して🔧を点滅表示させます。（点滅中，約10秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）

3. 点滅中にマルチインフォメーション　メータースイッチを軽く押すと“---”が“CLEAR”表示にかわります。その後，つぎの定期点検までの時期を表示します。

AGJ001496

⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は, お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “---”表示はエンジンスイッチがONのときはリセットできません。
- “---”表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

半ドア警告表示（エンジンスイッチONのとき）

J00614200148

いずれかのドアおよびトランクリッドが完全に閉められていないときに開いているドアまたはトランクリッドを表示します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になるとブザーが4回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

● 走行する前に，警告表示が消灯していることを確認してください。

機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）

J00608700223

1. 安全な場所に停車します。
   駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを🅝に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを🅟に入れます。
2. マルチインフォメーション　メータースイッチを軽く数回押してインフォメーション画面を機能設定画面に切り換えます。
   →「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-13

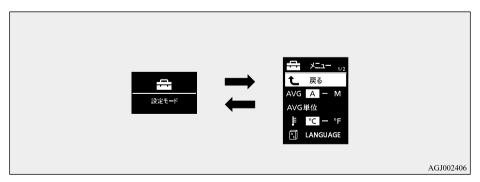
AGA010499

アドバイス

● 安全のため停車してから操作してください。
  走行中にマルチインフォメーション メータースイッチを押しても機能設定画面は表示されません。

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。

AGJ002406

アドバイス

- メニュー画面を機能設定画面に戻すときは再度マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押します。
- メニュー画面を表示した後，何も操作をしないで約15秒以上放置すると機能設定画面に戻ります。

4. メニュー画面で変更したい項目を選択し，お好みの設定に変更します。
   詳しい操作方法についてはつぎの項をお読みください。

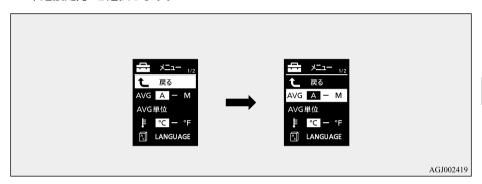
→「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P. 6-29
→「燃費表示単位の変更」P. 6-30
→「温度単位の変更」P. 6-32
→「表示言語の変更」P. 6-33
→「操作音の設定」P. 6-34
→ {｢休憩して下さい｣ 表示が出るまでの時間の変更} P. 6-35
→「出荷時の設定に戻す」P. 6-38
→「ターンシグナル音の変更」P. 6-36
→「瞬間燃費表示の変更」P. 6-37

◆ 平均燃費・平均車速のリセットモードの変更

J00610600261

平均燃費・平均車速表示のモード条件を「オートリセット」または「マニュアルリセット」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG（平均燃費・平均車速設定）」を選択します。

AGJ002419

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すごとに，A（オートリセットモード）→M（マニュアルリセットモード）→A（オートリセットモード）と切り換わります。
   選択したモード条件に設定が変更されます。

マニュアルリセットモード

- 平均燃費及び平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション　メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費及び平均車速表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均燃費及び平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション　メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示及び平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に, 平均燃費表示及び平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

● オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。

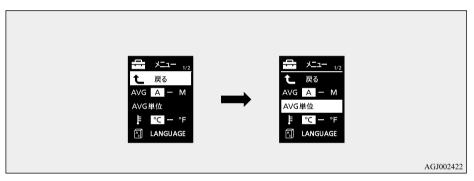
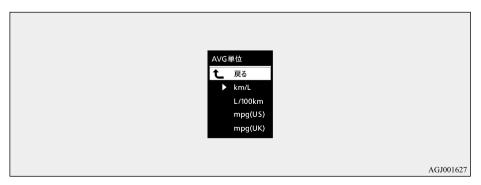
アドバイス

● バッテリーを外すと, オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示，平均燃費表示の記憶は消去されます。

◆ 燃費表示単位の変更

J00610700305

燃費の表示単位を切り換えることができます。選択した燃費単位に合わせて，距離，速度，量の単位も合わせて切り換わります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG 単位（燃料表示単位設定)」を選択します。

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「AVG 単位（燃料表示単位設定)」を表示します。
4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとに，km/L →L/100km →mpg (US) →mpg (UK) →戻る →km/L と切り換わり希望の表示を選択します。

5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した単位に設定が変更されます。

アドバイス

- 航続可能距離，平均燃費，平均車速，瞬間燃費の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）の単位は切り換わりません。
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にｋｍ／Lに設定されます。

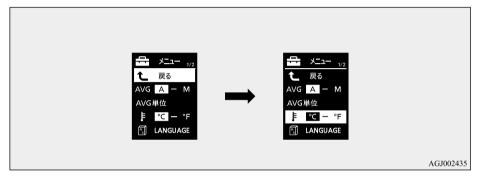
選択した燃費単位に合わせて，つぎの組み合わせで距離・速度の単位も切り換わります。

燃費	距離（航続可能距離）	速度（平均速度）
km/L	km	km/h
L/100km	km	km/h
mpg (US)	mile (s)	mph
mpg (UK)	mile (s)	mph

◆ 温度単位の変更

J00610800218

温度の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(温度単位設定)」を選択します。

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すごとに, °C→°F→ °Cと切り換わります。
   選択した温度単位に設定が変更されます。

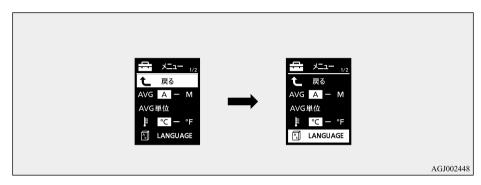
アドバイス

● バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に°Cに設定されます。

◆ 表示言語の変更

J00610900251

マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「LANGUAGE（言語設定)」を選択します。

3. マルチインフォメーション　メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「LANGUAGE（言語設定)」を表示します。
4. マルチインフォメーション　メータースイッチを軽く押すごとに，日本語→英語→ドイツ語→フランス語→スペイン語→イタリア語→“---”（警告メッセージ非表示）→戻る→日本語と切り換わります。
5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した言語に設定が変更されます。

アドバイス

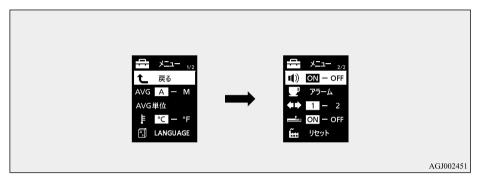
- バッテリーを外すと言語設定の記憶は消去され，自動的に日本語に設定されます。
- 言語設定で“---”を選択すると警告表示や割り込み表示のときに警告メッセージを表示しません。

6

◆ 操作音の設定

J00611000259

マルチインフォメーション メータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を鳴らなくすることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(操作音の設定)」を選択します。

3. マルチインフォメーション　メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに，ON（操作音あり）→OFF（操作音なし）→ON（操作音あり）と切り換わります。選択した条件に設定が変更されます。

アドバイス

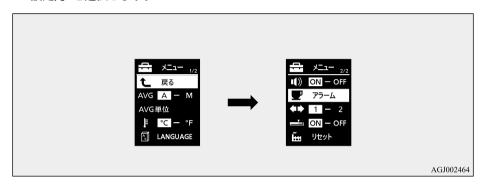
- ● バッテリーを外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的にON（操作音あり）に設定されます。
- ● 操作音の設定はマルチインフォメーション メータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を消すだけのもので警告表示等の音を消すことはできません。

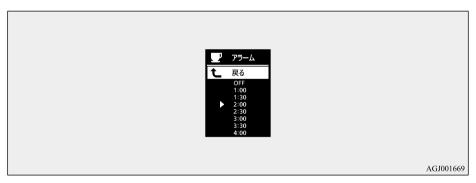
◆「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更

J00611100250

表示が出るまでの時間を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「アラーム（休憩時間の設定）」を選択します。

AGJ002464

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して「アラーム（休憩時間の設定）」を表示します。

AGJ001669

4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して, 表示が出るまでの時間を選択します。
5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した時間に設定が変更されます。

アドバイス

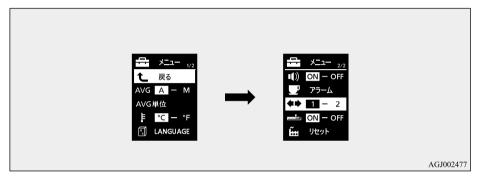
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にOFFに設定されます。
- エンジンスイッチを止めると運転時間はリセットされます。

◆ ターンシグナル音の変更

J00619000141

ターンシグナルの音色を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「⇔（ターンシグナル音の変更）」を選択します。

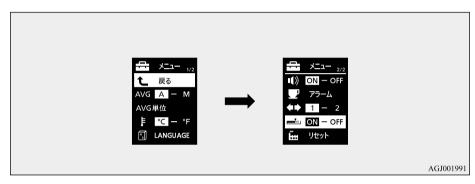
AGJ002477

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに 1（ターンシグナル音1）→ 2（ターンシグナル音2）→ 1（ターンシグナル音1）と選択したターンシグナル音に設定が変更されます。

◆ 瞬間燃費表示の変更

J00619100113

瞬間燃費のバーグラフ表示を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「 (瞬間燃費表示の変更)」を選択します。

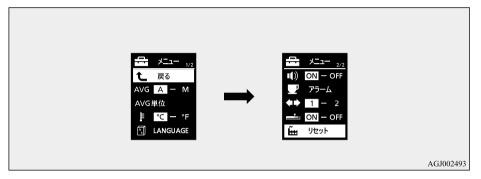
AGJ001991

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すたびにON（バーグラフ緑表示 有り）→ OFF（バーグラフ緑表示 無し）→ ON（バーグラフ緑表示 有り）と選択したバーグラフ緑表示に設定が変更されます。

◆ 出荷時の設定に戻す

J00611200293

各種機能設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-27
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「リセット（工場出荷時の設定に戻す）」を選択します。

AGJ002493

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約5秒以上）押すと，ブザーが鳴りすべての機能設定が工場出荷時の設定に戻ります。

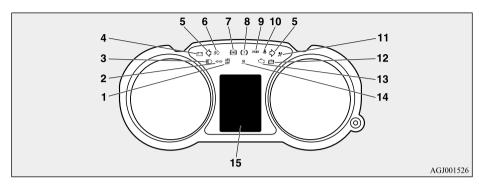
アドバイス

● 工場出荷時の設定はつぎのとおりです
- 平均燃費・平均車速のリセットモード：A（AUTOリセット）
- 燃費表示単位：km/L
- 温度単位：°C（摂氏）
- 表示言語：日本語
- 操作音：ON（操作音あり）
- 「休憩して下さい」表示：OFF
- 「ターン音」：ターンシグナル音1
- 「瞬間燃費色替え」：ON

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J00601500411

表示灯・警告灯一覧

J00609900352

1- アダプティブフロントライティングシステム(AFS)OFF表示灯 タイプ別装備 →P. 6-47, 6-58
2- 車幅灯表示灯→ P. 6-47
3- ヘッドライト上向き表示灯→ P. 6-47
4- 充電警告灯 → P. 6-48
5- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯→ P. 6-47
6- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P. 6-47
7- ABS警告灯 タイプ別装備 → P. 7-41
8- ブレーキ警告灯→ P. 6-47
9- クルーズコントロール表示灯 タイプ別装備 → P. 7-48
10- シートベルト警告灯→ P. 5-10
11- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯→ P. 5-27
12- ウォータースプレー作動表示灯 タイプ別装備 → P. 7-47
13- エンジン警告灯 → P. 6-48
14- アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯 タイプ別装備 →P. 7-45
15- インフォメーション画面表示一覧→ P. 6-40

6

インフォメーション画面表示一覧

J00609400041

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってつぎの画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→警告表示一覧「エンジンスイッチOFFのとき」P. 6-40
→警告表示一覧「エンジンスイッチONのとき」P. 6-42
→その他の割り込み表示「エンジンスイッチONのとき」P. 6-45

アドバイス

- つぎのようなとき，まれに数秒間，警告ブザーとともにインフォメーション画面に警告を表示することがあります。
  これは，強い電磁波，ノイズ等を受けたことによって起こるもので，機能上の問題はありません。
  • 違法無線や電線の火花，レーダー施設等の非常に強い電磁波を受けたとき
  • 車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき
  ただし，何回も警告表示したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）

J00610000164

画面	要因	処置（参照先）
キーが 差し込まれています	● エンジンスイッチからキーを抜き忘れています。	● キーを抜いてください。「キー抜き忘れ防止機構」 →P. 4-23
ライトが 点灯しています	● ライト類を消し忘れています。	「ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）」 →P. 6-51
セキュリティーアラーム 警報作動中	● セキュリティーアラームが警報作動しています。	「セキュリティーアラーム」 →P. 4-28

画面	要因	処置(参照先)
LOCK	● エンジンを止めた後, エンジンスイッチがLOCK (PUSH OFF)以外の位置にあるとき, 運転席ドアを開けようとしています。	● エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)位置にしてください。「エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構」→P. 4-23
	● エンジンスイッチがLOCK (PUSH OFF)以外の位置にあるとき, すべてのドアおよびトランクリッドを施錠しようとしています。	● エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)位置にしてください。「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」→P. 4-15
キーの電池残量が低下しています キーが見つかりません キーが車室内にあります いずれかのドアが開いています キーレスオペレーションシステム点検	● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」→P. 4-5

6

◆ 警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）

J00610100338

画面	要因	処置（参照先）
キーの電池残量が低下しています キーが見つかりません キーが車室内にあります いずれかのドアが開いています キーレスオペレーションシステム点検	● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」→P. 4-5
ブレーキシステム異常 安全な場所に停車して下さい	● ブレーキ液が不足しています。 ● ブレーキ装置に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し, 最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。 「ブレーキ警告表示」→P. 6-48
アンチロックブレーキシステム点検	● ABSに何らかの異常が発生しています。	● 急ブレーキや高速走行を避け, 車を安全な場所に停車して処置してください。 「ABS警告」→P. 7-41

6

画面	要因	処置（参照先）
	● いずれかのドアおよびトランクリッドが完全に閉められていません。開いているドアが表示されています。	● ドアおよびトランクリッドを閉めてください。「半ドア警告表示」(エンジンスイッチONのとき)→P. 6-26
エンジンフードが 開いています	● エンジンフード（ボンネット）が開いています。	● エンジンフード（ボンネット）を閉めてください。 「エンジンフード（ボンネット）」→P. 4-41
オーバーヒート警告 安全な場所に停車して下さい	● オーバーヒートしています。	● 安全な場所に停車し, 処置を行ってください。 「オーバーヒートしたときは！」→P. 13-27
トランスミッション油温警告 減速して下さい	● ツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。	「ツインクラッチSST」 →P. 7-14
シートベルトを 着用して下さい	● 運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにしています。	● シートベルトを着用してください。 「シートベルト警告灯」 →P. 5-10
燃料システム点検	● 燃料系統に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
駐車ブレーキを 解除して下さい	● 駐車ブレーキをかけたまま走行しています。	● 駐車ブレーキを解除してください。 「ブレーキ警告表示」 →P. 6-48
エンジン油圧異常 安全な場所に停車して下さい	● エンジンオイルの循環系統に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し, 三菱自動車販売会社へご連絡ください。 「油圧警告表示」 →P. 6-49

6

画面	要因	処置（参照先）
充電システム異常 安全な場所に停車して下さい	● 充電系統に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。 「充電警告表示」 →P. 6-49
エアバッグシステム点検	● SRSエアバックまたはプリテンショナー機構に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「SRSエアバック／プリテンショナー機構警告」 →P. 5-12，5-27
ヘッドライトレベリング システム点検	● ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ヘッドライトオートレベリング」→P. 6-56
AFS! アダプティブ　フロント ライティングシステム点検	● アダプティブフロントライティングシステム(AFS)に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「アダプティブフロントライティングシステム(AFS)」 →P. 6-58
ASCシステム点検	● アクティブスタビリティコントロール(ASC)に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」→P. 7-42
4WDシステム点検 車輪速センサー ECUシステム点検	● S-AWCまたはACDに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「S-AWC警告表示」 P. 7-39 →「ACD警告表示」 P. 7-34
トランスミッション システム点検	● ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し，ツインクラッチSSTの安全装置が働いています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「ツインクラッチ SST」 →P. 7-14

画面	要因	処置(参照先)
給油して下さい	● 燃料の残量が少なくなっています。	● 早めに燃料を補給してください。 「燃料残量警告表示」 →P. 6-22
路面の凍結に 注意して下さい	● 車外温度が0 °C (32 °F)以下になっています。	● 路面の凍結に注意して走行してください。 ● 警告表示が出ていなくても路面が凍結している場合がありますので,走行には気をつけてください。
エンジンシステム点検	● タイミングチェーンが磨耗している可能性があります。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ その他の割り込み表示(エンジンスイッチONのとき)

J00610200300

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面	システムの作動状態	参照先
AYC BRAKE OFF	● ASCおよびAYCによるブレーキ制御を停止したとき	「ASCのON/OFF作動切り換え」→P. 7-44
	● アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき	「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」 →P. 7-42

6

定期点検の時期をお知らせします。

画面	処置
定期点検を 受けて下さい	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。詳しくは「サービスリマインダーについて」P. 6-24をお読みください。

休憩時間を設定することができます。

画面	処置
休憩して下さい	安全な場所に停車し, エンジンを止めて休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための, 目安としてご使用ください。 運転を開始してから表示がでるまでの時間を設定することができます。 →「機能設定を変更するときは(エンジンスイッチONのとき)」P. 6-27 設定した時間が経過すると, 表示とブザーで知らせます。その後休憩しないまま運転を続けると, 約5分ごとにブザーが鳴り, 休憩をとるように促します。 ● つぎの場合は, 運転した時間がリセットされ, もとの表示画面に戻ります。その後, 再び設定した時間が経過すると表示とブザーで休憩をとるように促します。 •3回目のブザーが鳴る •エンジンスイッチをOFFにする •マルチインフォメーション メータースイッチを長く(約2秒以上)押し続ける

6

表示灯

J00601600119

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700383

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

● 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800081

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100267

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900239

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

アダプティブフロントライティングシステム (AFS)OFF 表示灯

タイプ別装備

J00615800053

AFS を OFF にすると表示灯が点灯します。

警告灯

J00602500115

ブレーキ警告灯

J00602600871

エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

● 駐車ブレーキをかけたままのとき
● ブレーキ液が不足しているとき
● ブレーキ力配分機能の異常のとき（ABS付き車）

⚠注意

● つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
- 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき。（ABS付き車）
→「ABS警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは」P. 7-41

● ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
- ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

アドバイス

- スポーティな走行を行った場合など，ブレーキ液タンク内のブレーキ液が移動して一時的に警告灯が点灯することがあります。
しばらくして警告灯が消灯すればそのまま走行いただいて問題ありません。

エンジン警告灯

J00602700814

エンジン制御システム，またはツインクラッチ SST 制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800134

充電系統に異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

インフォメーション画面表示

J00608900010

ブレーキ警告表示

J00609000265

駐車ブレーキをかけたまま走行すると警告表示します。警告表示がでたときは駐車ブレーキを解除してください。また，メーター内の警告灯は駐車ブレーキをかけているだけで点灯します。

注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

エンジンスイッチが ON のときにブレーキ液が不足していると警告表示します。またメーター内の警告灯も点灯します。

注意

- 走行中，警告表示したまま消灯しないときはブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- ブレーキ警告表示がブレーキ警告灯，ABS 警告灯と同時に警告表示したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

アドバイス

- スポーティな走行を行った場合など，ブレーキ液タンク内のブレーキ液が移動して一時的に警告表示することがあります。
  しばらくして警告表示が消灯すればそのまま走行いただいて問題ありません。

充電警告表示

J00609200209

充電系統に異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。また，メーター内の警告灯も点灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告表示

J00609300213

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジンの回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイルの量を点検してください。
  (点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。)
- エンジンオイル量が正常で警告表示したときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

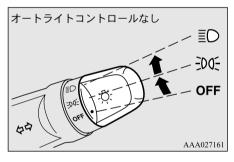
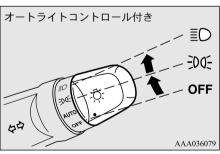
- 油圧警告表示はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

ライトスイッチ

J00604000938

手動で使うときは

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≡D（ヘッドライト）	≡D0≡（車幅灯）
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

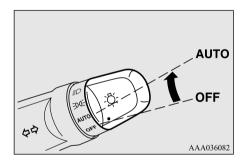
アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

6

自動で使うときは（オートライトコントロール）

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチをOFFにすると自動的に消灯します。

アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- フロントフォグランプ付き車は, AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，エンジンスイッチをOFF にすると，フロントフォグランプも自動消灯します。
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動点灯・消灯しなくなるおそれがあります。

  フロントガラスの交換・センサー付近のガラスの補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000831

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≣D≣の位置でも, エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  [キーを使ってエンジンをかけているとき]
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
  [キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき]
  - エンジンスイッチを LOCK にして運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF)以外で運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは≣D≣の位置でも, エンジンスイッチを LOCKにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF，エンジンスイッチをLOCKにします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≡DO≡位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- キーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときエンジンスイッチが LOCK 位置ではライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，LOCK 位置以外ではエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - ライトスイッチが≡DO≡位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ライト消し忘れブザー

J00606100177

キーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≣Dまたは≡DO≡の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

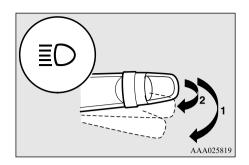
キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≣Dまたは≡DO≡の位置のままでエンジンスイッチを LOCK にして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチを OFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200468

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

アドバイス

● ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
● ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを☰Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ウェルカムライト

J00618800171

キーレスオペレーションシステム付き車

ライトスイッチがOFFまたはAUTOの位置のとき，キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押すと，車幅灯が約30秒間点灯します。車外が暗いときのみ点灯します。

アドバイス

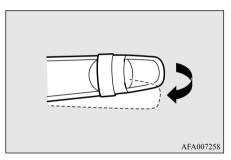
● ウェルカムライトが作動中に，つぎの操作を行うとウェルカムライトが停止します。
• キーレスオペレーションキーのLOCKスイッチを押したとき

• ライトスイッチを ≡D0≡または☰Dの位置にしたとき
• エンジンスイッチをONの位置にしたとき
● つぎのとおり機能を変更することができます。
• ヘッドライト（ロービーム）の点灯を追加する。
• ウェルカムライトを働かなくする。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

カミングホームライト

J00618900172

エンジンスイッチを LOCK にした後，約 30 秒間ヘッドライト（ロービーム）を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF または AUTO（オートライト付き車）の位置にします。
2. エンジンスイッチを LOCK にします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
3. エンジンスイッチをLOCKにしてから約60秒以内に, 方向指示レバーを手前に引きます。

4. ヘッドライト（ロービーム）が約30秒間点灯します。消灯した後，再度約30秒間点灯させたい場合は，エンジンスイッチをLOCKにしてから約60秒以内のときは，レバーを手前に引いてください。また，約60秒以上のときは，手順 1 から操作してください。

アドバイス

- カミングホームライトが作動中に，つぎの操作を行うとカミングホームライトが停止します。
  - レバーを手前に引いたとき
  - ライトスイッチを またはの位置にしたとき
  - エンジンスイッチをONの位置にしたとき
- つぎの機能を変更することができます。
  - ヘッドライトの点灯時間を調整する。
  - カミングホームライトを働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

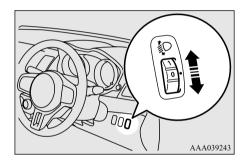
ヘッドライトレベリング

J00604100388

ヘッドライトレベリングダイヤル

タイプ別装備

J00610300040

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“０”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員やトランクルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	0
	全席乗車時	1
	全席乗車時＋トランクルーム最大積載時	2
	運転席乗車時＋トランクルーム最大積載時	2

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを“０”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

6

ヘッドライトオートレベリング

タイプ別装備　J00610400184

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

◆ ヘッドライトレベリング警告表示

J00616300039

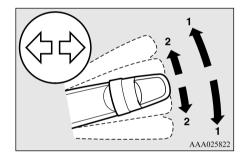
ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

⚠注意

- 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200871

エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを (2) まで軽く操作し，すぐ離すと3回, 方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

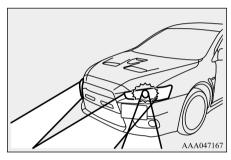
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

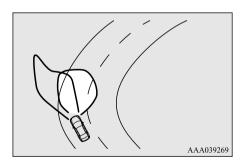
アダプティブフロントライティングシステム(AFS)

タイプ別装備

J00616000065

アダプティブフロントライティング(AFS)とは，ライトスイッチが☰Dまたは AUTO（ライト点灯時）の位置のとき，ハンドルの操作に応じて，ベンディングライトが自動的に点灯し，進行方向のランプが照らす範囲を拡大します。夜間での進行方向の確認をしやすくします。

AAA047167

カーブなどでハンドルを切ると，進行方向内側の路面を照らします。

AAA039269

⚠注意

- ベンディングライトは約15分点灯させておくと消し忘れを防止するため自動的に消灯します。再び点灯させるにはハンドルを戻してください。

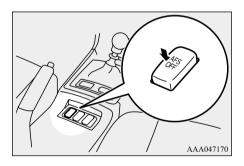
アドバイス

- ベンディングライト点灯に必要なハンドル操作量は車速に応じて変化します。（低速ほどハンドルの操作量が多くなります。）ただし，走行前の状態では少しのハンドル操作量で点灯するように設定しています。
- 次の場合，AFSは作動しません。
  - シフトレバーがⓇのとき
  - ライトスイッチを ≡D0≡または OFF の位置にしたとき
  - 車速が100km/h以上のとき
  - AFS OFFスイッチを押してAFS機能を停止したとき

アダプティブフロントライティングシステム (AFS)OFFスイッチ

J00616100053

AFSをOFFにしたい時はAFS OFFスイッチを押します。スイッチを押すとメーター内の表示灯が点灯します。もう一度押すと作動状態になります。

AAA047170

アドバイス

- エンジンスイッチを切ってもAFS OFFスイッチの状態を記憶しています。

6

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)表示

J00616200096

表示灯

警告表示

AFS!
アダプティブ　フロント
ライティングシステム点検

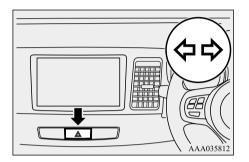
AFS になんらかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示し，メーター内の表示灯が点滅します。

> **⚠注意**
>
> ● 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

> **アドバイス**
>
> ● 運転中に AFS 表示灯が点滅したときは，安全な場所に停車しエンジンスイッチを ACC または OFF に回してから，エンジンを再始動してください。そのとき表示灯が消えれば正常です。
> ● 応急用スペアタイヤを装着したときは，AFS が正常に作動しなくなるおそれがありますので，AFS OFF スイッチを押して OFF にしてください。また，できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
> ● 雪の斜面などにヘッドライトが反射して運転の妨げになるときは，AFS OFF スイッチを押して OFF にしてください。

非常点滅灯スイッチ

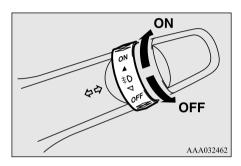
J00604300579

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

> **アドバイス**
>
> ● エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500438

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に回すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはノブを下に回します。

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度ノブを上に回します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800864

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

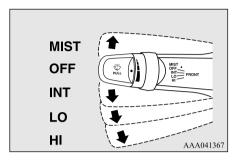
- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
→「ウォッシャー液，インタークーラーウォータースプレー液（ウォッシャー液）の点検・補給」P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチを OFF にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

J00615400248

◆ 除く，レインセンサー付き車

AAA041367

6

MIST 1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF 停止
INT 間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO 低速作動
HI 高速作動

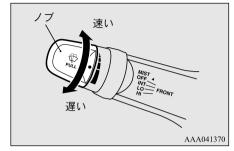
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 車速感応の機能を働かなくする。

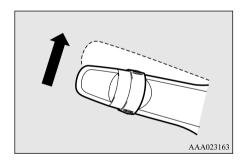
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

間けつ時間の調整のしかた

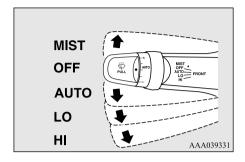
レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

AAA041370

ワイパーミスト機能

レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーをMIST位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

AAA023163

◆ レインセンサー付き車

エンジンスイッチがON またはACC のときに使用できます。

AAA039331

MIST	1回作動 （ワイパーミスト機能）
OFF	停止
AUTO	自動作動（雨滴感応） 雨の程度に応じて，自動的にワイパーが作動します。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（車速感応）に 変更する。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（除く車速感応）に変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

レインセンサー

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバーをAUTO の位置にすると，雨の程度（雪やその他の液体，ほこりなどを含む）をレインセンサーが感知し，ワイパーが自動作動します。
ただし，つぎのような場合，フロントガラスに傷がついたり，ワイパーブレードを傷めるおそれがありますので，レバーをOFFの位置にしてください。

- 晴れた日が続き，フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し，フロントガラスが汚れているとき

AAA039302

⚠注意

- エンジンスイッチが ON の位置で，レバーが AUTO の位置のとき，つぎのような場合，ワイパーが自動作動することがあります。
  手や指をはさむと，けがをしたり，ワイパーを損傷するおそれがありますのでエンジンスイッチを OFF にするか，レバーをOFF にして，レインセンサーを停止するよう注意してください。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに触れたとき。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに拭いたとき。
  - 自動洗車機を使用するとき。
  - フロントガラスに衝撃を与えたとき。
  - レインセンサーに衝撃を与えたとき。

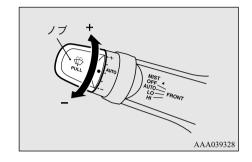
6

アドバイス

- ワイパーのゴム部分を保護するため，エンジン始動後，車両を止めた状態で，外気温が低いとき（約 0°C 以下のとき）ワイパーは作動しません。
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。また，フロントガラスにコーティングをしないでください。センサーが雨を検知できなくなり，ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- つぎのような場合は，レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず，ワイパーが一定間隔作動しているとき。
  - 雨が降っているにもかかわらず，ワイパーが 動 かないとき。
- レインセンサー上部のウインドウガラスに虫や異物などが付着したり，ウインドウガラスが凍結しているときは，ワイパーが自動的に作動することがあります。
  ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは，ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは, レバーをLOまたはHIの位置にしてください。
  また，強い直射日光や電磁波等の原因によってもワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーを停止させたいときは，レバーをOFFの位置にしてください。
- フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

6

雨滴感応の調整のしかた

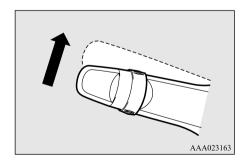
レバーが AUTO の位置のときに，ノブを回すとレインセンサーの感度を調整できます。

＋ 高感度（雨に反応しやすい）
- 低感度（雨に反応しにくい）

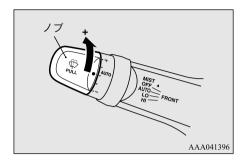
ワイパーミスト機能

つぎのようにレバーまたは，ノブを操作するとワイパーが 1 回だけ作動します。

霧雨のときなどにご使用ください。

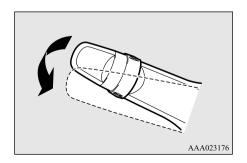
エンジンスイッチがON またはACC のときにレバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1 回だけ作動します。

レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

エンジンスイッチが ON のとき，レバーを AUTO の位置にして，ノブを＋側に回すとワイパーが1 回作動します。

AAA041396

フロントウォッシャースイッチ

J00604900777

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。さらに約6秒後にワイパーがもう1回作動します。また，レバーを手前に引いてすぐに離すと，自動的にウォッシャー液を数回に分けて噴射しながらワイパーが数回作動します。（インテリジェントウォッシャー）さらに約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。ワイパー作動中にレバー操作すると，インテリジェントウォッシャーは停止します。

AAA023176

アドバイス

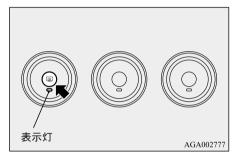
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチを ON またはACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。
  - •ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにする。
  - •インテリジェントウォッシャーを働かなくする。
  - •約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動する機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

6

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500507

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
スイッチを押すたびに音が鳴ります。

ヒーテッドドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-7

アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600465

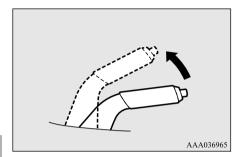
ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。

運転装置

駐車ブレーキ

J00700100961

かけるときは

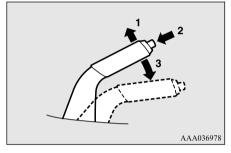
ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡，ツインクラッチSST 車はシフトレバーを🅟に入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

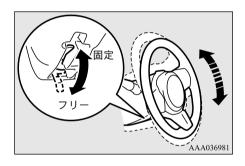
アドバイス

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。

チルトステアリング

J00700200382

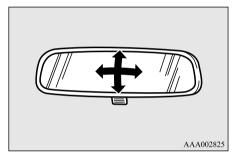
> **⚠注意**
> ● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

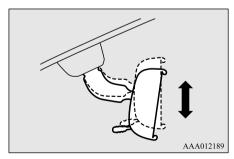
ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラー

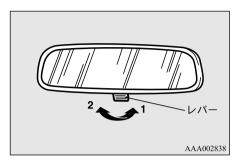
J00700300367

> **⚠注意**
> ● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。

ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。

防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。

1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500981

ミラーの角度調整

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

除く，ミラー格納スイッチ付き車

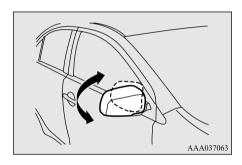
ミラー格納スイッチ付き車

ドアミラーの格納・復帰

⚠注意

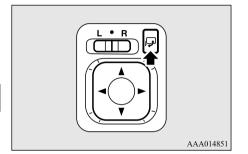
- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 除く，ミラー格納スイッチ付き車

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

◆ ミラー格納スイッチ付き車

格納スイッチによるミラーの格納・復帰

エンジンスイッチが ON または ACC のとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約 30 秒間はミラーを格納・復帰することができます。

AAA014851

⚠ 注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

7

格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-19

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチを ON にすると自動復帰，エンジンスイッチを OFF にした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 走行スピードが 30 km/h になると自動復帰する。
  - 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800234

エンジン回転中にリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。

ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。

→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-64

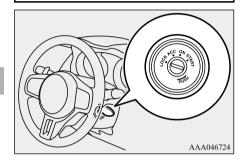
7

エンジンスイッチ

J00700800812

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のエンジンスイッチについては「キーレスオペレーションシステム：エンジンスイッチの位置と働き」をお読みください。
→P. 4-11，4-15

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

各位置の働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもシガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままラジオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。

ACC電源オートカット機能

J00713800050

エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，オーディオなどACCの位置で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。
ACCの位置からエンジンスイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約60分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

キーを抜くときは

J00706200469

ACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

エンジンのかけ方・止め方

J00717100077

⚠警告

- **車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**
- **排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。**

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P. 6-48

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，いったんキーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- ツインクラッチSST車は，エンジン始動直後につぎの現象が発生することがありますが異常ではありません。
  - ツインクラッチ SST から作動音が聞こえたり，車体が振動する。
  - シフトレバーをⓃに入れてアクセルペダルを踏み込むと，エンジン回転の上昇が制限される。

7

エンジンのかけ方

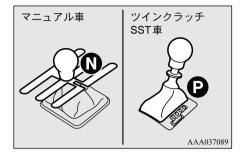
J00717200124

キーレスオペレーション機能またはエマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるとき

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-11
エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-15

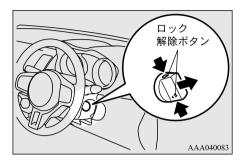
7

エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるとき

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅのときまたはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. キーレスオペレーションシステム付き車は，ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。

5. ブレーキペダルを右足で踏みます。
6. キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチにキーを差し込み，押しながら START に回してエンジンをかけます。
除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチにキーを差し込み，START に回してエンジンをかけます。

⚠警告

- **ツインクラッチ SST 車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

エンジンの止め方

J00717300066

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンスイッチを LOCK まで回してエンジンを止めてから，シフトレバーをⓇに入れます。ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れてから，エンジンスイッチを LOCK まで回してエンジンを止めます。

アドバイス

- ツインクラッチ SST 車は，エンジンスイッチを LOCK にしてからエンジンが止まり車両の電源が切れるまでに，約 1 秒かかります。

  約 1 秒かかる理由は…
  エンジンスイッチを LOCK にしてからエンジンが止まるまでの間にツインクラッチ SST 内部のギヤの結合を解除し，つぎのエンジンの始動をスムーズに行うためです。
  ツインクラッチ SST は内部に備えた 2 個のクラッチを交互につなぎ換えることでスムーズな変速を行っています。
  また，つながっていないクラッチ側のギヤを結合した状態にすることで素早い変速を行います。
  このようにギヤが結合したままの状態でエンジンが止まると，つぎのエンジン始動時に抵抗となるため，エンジン停止までの約 1 秒間にギヤの結合を解除します。
- ツインクラッチ SST 車は，エンジン停止までの約 1 秒間にシフトレバーなどの操作をしないでください。

7

アドバイス

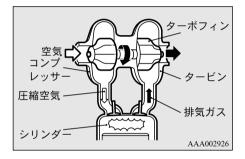
- エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高ければ，冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
そのため，エンジンを止めてからも冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。

ターボ車の取り扱い

J00701200161

注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

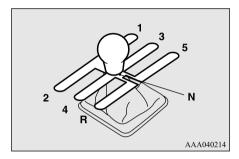
ターボとは…

正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

マニュアルトランスミッション

J00701300175

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。

⚠注意

- Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。

アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
  一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。

変速位置とスピード範囲

J00706900293

エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が下の表の数値を超えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

1速	60 km/h
2速	85 km/h
3速	120 km/h
4速	155 km/h

ツインクラッチSST

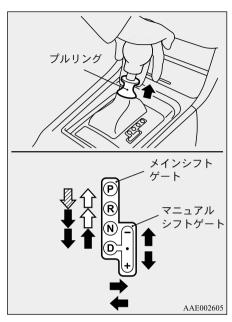
J00713900051

SST: Sport Shift Transmission

ツインクラッチSSTはエンジンとトランスミッションを統合的に制御することにより，オートマチックトランスミッションのような滑らかな変速およびマニュアルトランスミッションに近い燃費性能と加速性能を同時に実現したトランスミッションです。
また, 3種類の制御モードの中から走行条件などに合ったモードを選択することができます。
マニュアルシフトの操作と合わせてさまざまな走行状況に対応できます。
→「ツインクラッチSST制御モード」P. 7-20
→「マニュアルシフト」P. 7-22

「安全なドライブのために：ツインクラッチSST車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

シフトレバーの動かし方

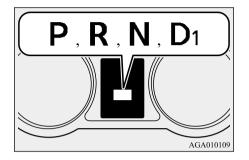
J00714000059

- ブレーキペダルを踏んだまま，プルリングを引き上げて操作します。
- プルリングを引き上げずに操作します。
- プルリングを引き上げながら操作します。

> **⚠警告**
>
> - ⬇の操作は必ずプルリングを引き上げずに行ってください。いつもプルリングを引き上げながら操作すると誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまい, 思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
> - シフトレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは, 安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し, 重大な事故につながるおそれがあります。

> **アドバイス**
>
> - ブレーキペダルを踏んでいないと, シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また, エンジンスイッチが LOCK または ACC 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
> - ⇩の操作は先にブレーキペダルを踏んでからプルリングを引き上げてください。ブレーキペダルを踏む前にプルリング操作すると, シフトレバーが動かなくなることがあります。
> - ⒹからⓇ, ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み, 完全に車を止めてからシフトレバーを操作してください。
>   車が動いているうちにシフトレバーを操作するとトランスミッションの故障の原因になります。
> - ツインクラッチ SST オイルの温度が低いときにシフトレバーを操作すると, 操作してから選択したギヤに切り換わるまでの時間が長くなることがあります。

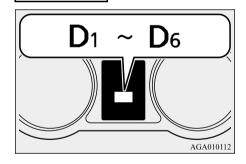
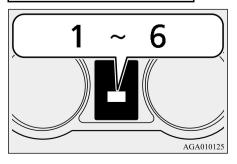
シフトレバー位置表示

J00714100050

シフトレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。

また, シフトレバーをⒹに入れて走行しているときまたはマニュアルシフトを選択したときは, 変速段を表示します。

Ⓓ走行中の表示

マニュアルシフトで走行中の表示

7

◆ シフトレバー位置表示が点滅およびブザーが通常と異なる音色で鳴ったときは

J00721400042

シフトレバーをⓇに入れてもトランスミッション内部のギヤが結合せず，発進できないことがあります。
このような場合は，マルチインフォメーションディスプレイ内のシフトレバー位置表示の点滅と通常と異なる音色のブザーで，ギアが結合していないことを運転者に知らせます。
発進できない場合は，つぎの方法で処置してください。

1. ブレーキペダルを右足で踏んで，シフトレバーをⓃに入れます。
2. 再度シフトレバーをⓇに入れて，シフトレバー位置表示の点滅が止まりブザーが通常の音色に戻るか確認します。

この操作を数回繰り返してシフトレバー位置表示の点滅が止まり，また，ブザーが通常の音色に戻り，発進できれば，異常ではありません。

⚠警告

- シフトレバー位置表示が点滅し，ブザーが通常と異なる音色で鳴っているときは，ブレーキペダルを右足で踏んだままにして，絶対にアクセルペダルを踏み込まないでください。アクセルペダルを踏み込んだ状態でギアが結合すると車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

◆ シフトレバー位置表示が消えたときは

J00721500014

ツインクラッチ SST に何らかの異常が発生していると考えられます。
このような場合は安全装置が働き発進できなくなりますので，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを止めます。
2. 再度エンジンをかけます。

この後，シフトレバー位置表示が表示され発進できれば異常ではありません。
シフトレバー位置表示が表示されず発進できないとき，またはたびたび同じ現象が起こるときは，お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

7

警告表示

J00714200093

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。

◆ 警告表示しているとき

ツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。
つぎのいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。
- 車を安全な場所に止めてシフトレバーをⓅに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしたら警告表示が消えるか確認します。
表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告表示しているときは，走行中にアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなるなど，通常通りの走行ができなくなることがあります。
  周囲の安全に十分注意して走行してください。

アドバイス

- 坂道走行やスポーティな走行を連続して行った場合などに，車体が振動することがあります。
  これはツインクラッチSSTオイルの温度上昇を知らせるための振動で故障ではありません。
  このような場合は，警告が表示されたときと同じ方法で処置してください。振動が止まればもとのように走行できます。

7

警告を表示したまま走行を続けると

警告表示が表示された後も走行を続け，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働き，シフトレバーをⓃに入れたときと同じ状態になることがあります。
（このとき一時的に走行できなくなります。）
このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. ブレーキペダルを踏んで安全な場所に車を止めます。
2. シフトレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。
3. しばらくしてから，警告表示が消えるか確認し，警告表示が消えた後，エンジンを停止します。
4. 再度エンジンをかければ，もとのように走行できます。

警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 警告表示しているとき

J00721700016

ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し，ツインクラッチSSTの安全装置が働いていると考えられます。
このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを止めます。
2. 再度エンジンをかけます。

警告表示が消えれば問題ありません。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは，お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告表示しているときは，走行中にアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなるなど，通常通りの走行ができなくなることがあります。
  周囲の安全に十分注意して走行してください。

7

シフトレバーの位置・働き（メインシフトゲート）

J00714300010

（パーキング）
駐車およびエンジンをかけるとき

車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。
ⓅでのみエンジンスイッチをLOCKまで回すことができます。

（リバース）
後退させるとき

Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

（ニュートラル）
中立

動力が伝達されません。
この位置でもブレーキペダルを踏めばエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。

（ドライブ）
通常走行

発進から高速走行まで自動的に変速されます。
道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。

アドバイス

● マニュアルシフトゲートの使い方は「マニュアルシフト」の項をご覧ください。→P. 7-22

7

ツインクラッチ SST 制御モード

J00714400079

走行条件などに合わせて，つぎの中から制御モードを選択することができます。

ツインクラッチSST制御モード	働き
Normal (エンジン始動時の制御モード)	一般道路，高速道路などを通常走行するときの制御モードです。乗りごこちがよく経済的な走行をするため，低いエンジン回転でスムーズに変速します。
Sport	山道や登降坂路，高速道路の長い下り坂でエンジンブレーキが必要なときなどの制御モードです。「Normal」モードに比べて高いエンジン回転で素早く変速します。また，アクセルペダルの操作に反応した素早い加速やブレーキをかけたときの素早い減速などが可能です。
S-Sport (Super Sport)	「S-Sport」モードは，「Sport」モードよりも高いエンジン回転で，さらに素早い変速が可能です。このため，変速時にショックを伴いますので，一般道路を快適に走行する場合の使用には適しません。クローズドサーキットなどで安全を確保し使用することをおすすめします。

アドバイス

- クローズドサーキットの走行については，別冊の「メンテナンスノート：保証書」に記載されているような場合，保証の対象外となることがあります。
  詳しくは「メンテナンスノート：保証書」をお読みください。
- クローズドサーキットなどで高回転高負荷の走行を連続して行うと，ツインクラッチ SST オイルの温度が上昇する傾向があります。
  この場合，一定温度まで上昇すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に(!)警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチ SST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
  (!)警告が表示されたら，必ず「警告表示」の項に従って処置してください。
  →P. 7-17
- ツインクラッチ SST 制御モードは，Ⓓ走行およびマニュアルシフトのいずれのときでも選択することができます。
- エンジンが冷えているときに「Sport」モードまたは「S-Sport」モードを選択すると，暖まっているときとは異なる車速でシフトアップする場合があります。
  これはエンジンを早く暖める制御が働いているためで，故障ではありません。
- 積雪路などすべりやすい路面では，低いエンジン回転でスムーズに変速する「Normal」モードの使用をおすすめします。

◆ ツインクラッチSST制御モードスイッチ

J00714500054

エンジンスイッチが ON のときスイッチの操作で制御モードが切り換わります。

エンジンをかけると制御モードは自動的に「Normal」モードになります。切り換えるときはつぎの方法で切り換えます。

NORMAL → SPORT

停車中または走行中にツインクラッチ SST 制御モードスイッチを車両前方へ押します。

SPORT → S-SPORT

停車中にツインクラッチ SST 制御モードスイッチを車両前方へ約 3 秒以上押しつづけます。

⚠注意

- 安全のため，SPORT → S-SPORT への切り換え操作は停車中に行ってください。

S-SPORT → SPORT → NORMAL

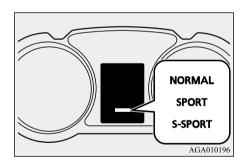
停車中または走行中にツインクラッチ SST 制御モードスイッチを車両後方へ押します。

アドバイス

- いずれかの制御モードを選択したあとも制御モードスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて自動的に「Normal」モードになります。
  再度いずれかの制御モードを選択したいときは，エンジンスイッチをACCまたはLOCK に戻してエンジンをかけ直し，制御モードスイッチを押してください。

◆ ツインクラッチSST制御モード表示

J00714600055

エンジンスイッチが ON のとき選択している制御モードをマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。

マニュアルシフト

J00714700043

シフトレバーまたはパドルシフトによるマニュアル操作で，シフトチェンジすることができます。

マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速と素早いコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

- マニュアルシフトで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因となります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。
- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

アドバイス

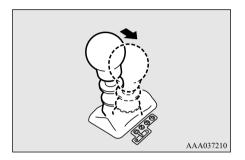
- 1速から6速の前進しか選択できません。後退, 駐車するときはシフトレバーをⓇ, Ⓟに入れてください。
- マニュアルシフトで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に1速に入ります。
- シフトレバーまたはパドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 走行性能を確保するため，車速によってはシフトレバーまたはパドルシフトを操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によってはシフトレバーまたはパドルシフトを操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。
- スポーティな走行を連続して行いツインクラッチ SST オイルの温度が上昇すると，シフトレバーまたはパドルシフトを操作してからシフトチェンジするまでの時間が長くなることがあります。

◆ シフトレバーを使って操作するとき

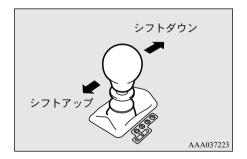
J00714800028

マニュアルシフトを選択するときは

停車中または走行中にシフトレバーを Ⓓから運転席側に動かすことで，マニュアルシフトが選択されます。

AAA037210

シフトアップ，シフトダウンするときは

シフトレバーを車両後方に引くごとに 1 段ずつシフトアップします。
また，シフトレバーを車両前方に押すごとに1段ずつシフトダウンします。

AAA037223

アドバイス

● シフトレバーの操作でマニュアルシフトを選択した後は，パドルシフトの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

シフトレバーを助手席側に動かすとⒹ走行に戻ります。

AAA037236

アドバイス

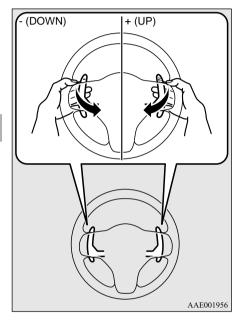
● マニュアルシフトからⒹ走行に戻したときの走行スピードや走行状況によっては，マニュアルシフトで選択していた変速段から自動的にシフトアップまたはシフトダウンすることがあります。

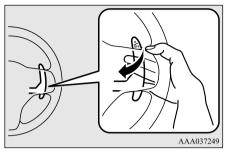
7

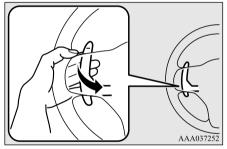
◆ パドルシフトを使って操作するとき

J00714900045

マニュアルシフトを選択するときは

シフトレバーを🅓に入れて停車しているときまたは走行中に，パドルシフトを手前に引くことで，マニュアルシフトが選択されます。

シフトアップするときは

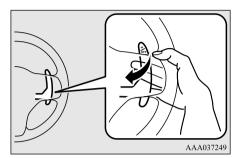
パドルシフトの＋ (UP) 側を引くごとに1段ずつシフトアップします。

シフトダウンするときは

パドルシフトの－ (DOWN) 側を引くごとに1段ずつシフトダウンします。

アドバイス

- パドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択した後は，シフトレバーの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

シフトレバーをⒹに入れているときに，パドルシフトの＋(UP)側を約2秒以上手前に引くと，Ⓓ走行に戻ります。

AAA037249

アドバイス

● シフトレバーをⒹの位置に入れてパドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択しているときは，停車前に自動的にⒹ走行へ戻ります。
● マニュアルシフトからⒹ走行に戻したときの走行スピードや走行状況によっては，マニュアルシフトで選択していた変速段から自動的にシフトアップまたはシフトダウンすることがあります。
● パドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択しているとき，シフトレバーをⒹから運転席側に動かし，その後助手席側に戻すと，マニュアルシフトが解除されⒹ走行に戻ります。

ツインクラッチ SST 車の運転のしかた

J00715000043

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAZ002224

⚠注意

● シフトレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
→「クリープ現象」P. 2-16

2. シフトレバーを前進はⒹ, 後退はⓇに入れます。

⚠警告

- シフトレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. シフトレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. マルチインフォメーションディスプレイ内のシフトレバー位置表示がD1またはⓇに切り換わっていることを確認します。
6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

アドバイス

- シフトレバーを操作した後，すぐに発進しないでください。選択したギヤに切り換わるまでに時間がかかることがあります。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

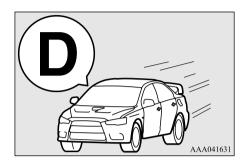
⚠警告

- 走行中はシフトレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- シフトレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓまたはマニュアルシフト）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  トランスミッションの故障の原因になります。
- 上り坂でクリープ現象を使って低速走行しないでください。
  つぎの現象により，トランスミッションの故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ツインクラッチ SST オイルの温度が上昇し，トランスミッションの故障の原因になります。
  - クリープ現象を使った低速走行を続けると，車体の振動またはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチ SST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
    その後，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働きます。
    この場合，シフトレバーをⓃに入れたときと同じ状態になるため不意に車が後退し思わぬ事故の原因になります。
    警告が表示された場合またはトランスミッションの保護制御が働いた場合の処置については「警告表示」をお読みください。→P. 7-17

◆ 通常走行

シフトレバーをⒹで走行します。
発進すると走行スピードや走行状況に応じて自動的に変速されます。

アドバイス

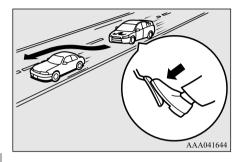
- エンジンが冷えているときは，暖まっているときに比べてシフトアップする車速が高くなります。
  これはエンジンを早く暖めるための制御で故障ではありません。しばらく走行すればもとに戻ります。
- シフトレバーをⒹから運転席側に動かすかパドルシフトを操作すると，マニュアルシフトが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
  →「マニュアルシフト」P. 7-22

7

◆ 急加速したいとき

シフトレバーをⒹに入れて走行中にアクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

7

停車

1. シフトレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。
  つぎの現象により，トランスミッションの故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ツインクラッチ SST オイルの温度が上昇し，トランスミッションの故障の原因になります。
  - ブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保ち続けると，車体の振動またはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチ SST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
    その後，ツインクラッチ SST オイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働きます。
    この場合，シフトレバーをⓃに入れたときと同じ状態になるため不意に車が後退し思わぬ事故の原因になります。
    警告が表示された場合またはトランスミッションの保護制御が働いた場合の処置については「警告表示」をお読みください。→P. 7-17

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはシフトレバーを🅝に入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，シフトレバーが🅟，🅝以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，シフトレバーが🅓位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. シフトレバーを🅟に入れます。

⚠注意

- 🅟では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずシフトレバーが🅟に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに🅟に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道で駐車ブレーキをかける前にシフトレバーを🅟に入れると，発進時のシフトレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，シフトレバーが🅟以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

7

フルタイム4WD

J00706700073

フルタイム4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル，ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - すべりやすい路面では無理な走行をしないでください。一般道路にくらべてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり，思いがけない故障の原因になります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - 極端な急ハンドルや急ブレーキは避け，車間距離は十分とって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600535

タイヤ，ホイールについて

4WD車は4輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

- 4輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-8
- タイヤ，ホイールを交換するときは4輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠注意

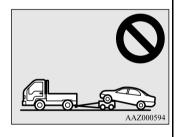
- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか, 4輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

● エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
● 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

● 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P. 13-29

アドバイス

● レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

● ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ACD

J00716300043

RS

ACD: Active Center Differential system

ACDは，センターデフの差動制限力を制御し，センターデフの駆動力配分をコントロールすることで，加速性能と直進安定性を向上させるシステムです。

⚠注意

- ACDを過信しないでください。ACDが作動した状態でも車両の安全確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。
  常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄，および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄，摩耗度合いの異なるタイヤを使用するとACDが正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- 走行中に駐車ブレーキレバーを引くと，強制的にセンターデフはフリーの状態になります。ただし，後輪がロックしやすくなり，車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，通常の走行では使用を避けてください。

ACD制御モード

J00716400015

走行条件に合わせて，つぎの中から制御モードを選択することができます。

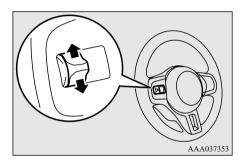
ACD制御モード	働き
TARMAC（ターマック）	通常はこの制御モードを使用します。舗装された道路で使用してください。
GRAVEL（グラベル）	ぬれた路面や砂利道など，やや滑りやすい路面を走行するときに使用します。
SNOW（スノー）	雪道など滑りやすい路面を走行するときに使用します。

7

◆ ACD制御モードスイッチ

J00716500016

エンジンスイッチがON のとき，AWCスイッチの操作で制御モードが切り換わります。

スイッチを下に押すと，「TARMAC」→「GRAVEL」 → 「SNOW」の順で，上に押すと「SNOW」 →「GRAVEL」 → 「TARMAC」の順で制御モードが切り換わります。

アドバイス

- 制御モードは走行中でも切り換えることができます。
- エンジンを停止しても選択した制御モードを記憶しています。ただし，バッテリー端子を外すと制御モードの記憶は消去され，「TARMAC」モードに設定されます。

◆ ACD制御モード表示

J00716600046

表示例：「TARMAC」モードを選択したとき

選択している制御モードをマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。
また，制御モードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，選択した制御モードが割り込み表示されます。
インフォメーション画面の制御モードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

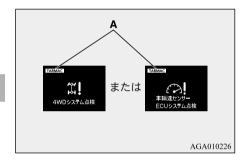
⚠注意

- スポーティな走行を連続して行った場合など，ACD 制御モード表示が点滅することがあります。
このとき，ACD 装置を保護するためにACD 制御を一時停止しますが，通常走行に問題はありません。
しばらく走行した後，ACD 制御モード表示が点灯状態に戻ればACD制御は再び作動します。

7

ACD警告表示

J00716700050

システムに異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
（異常の内容によっては，警告表示と警告表示が交互に表示される場合もあります。）
このような場合，同時にA部のACD制御モード表示が消灯します。

警告が表示された場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，警告表示または警告表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 車外の気温が低下してAWC制御フルードの粘度が高くなると，警告が表示されることがあります。
  この場合，ACD制御を一時停止しますが通常走行に問題はありません。
  しばらく走行してAWC制御フルードが暖まるか車外の気温が高くなった後に再度エンジンをかけ，警告表示が消えればACD制御は再び作動します。

S-AWC

J00715100015

除く，RS

S-AWC: Super-All Wheel Control

S-AWC は ACD，AYC，アンチロックブレーキシステム (ABS) およびアクティブスタビリティコントロール (ASC) を統合的に制御することにより，駆動性能，旋回性能および車両の安定性能を広範囲な走行条件で向上させる車両運動統合制御システムです。
つぎの項も合わせてお読みください。
→「ACD」P. 7-35
→「AYC」P. 7-36
→「アンチロックブレーキシステム (ABS)」P. 7-40
→「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」P. 7-42

⚠注意

- S-AWC を過信しないでください。S-AWCが作動した状態でも車両の安全確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄，および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄，摩耗度合いの異なるタイヤを使用するとS-AWCが正常に作動しなくなるおそれがあります。

ACD

J00715200045

ACD: Active Center Differential system

ACD は，センターデフの差動制限力を制御し，センターデフの駆動力配分をコントロールすることで，加速性能と直進安定性を向上させるシステムです。

アドバイス

- 走行中に駐車ブレーキレバーを引くと，強制的にセンターデフはフリーの状態になります。ただし，後輪がロックしやすくなり，車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，通常の走行では使用を避けてください。

7

AYC

J00715300033

AYC: Active Yaw Control system

AYC は，左右差動制限機能とヨーコントロール機能を持ち，後輪左右の駆動力差と4輪のブレーキ力を制御し,車両の旋回する力（ヨーモーメント）をコントロールすることで，旋回性能と旋回時の安定性を向上させます。

⚠注意

● ブレーキ力の制御は，車両の停止性能を向上させる制御ではありませんので，周囲の安全に十分注意して走行してください。

7

◆ 左右差動制限機能

左右差動制限機能は，滑りやすい路面や左右の状況が異なる路面での片輪の空転を防止して，駆動性能と車両の安定性を向上させる機能です。

◆ ヨーコントロール機能

ヨーコントロール機能は，素早くハンドルを操作したときまたは滑りやすい路面でハンドル操作に対して車両が曲がらないときなどに，左右輪の駆動力差やブレーキ力を制御し，車両の旋回性能を向上させる機能です。

S-AWC制御モード

J00715500019

走行条件に合わせて，つぎの中から制御モードを選択することができます。

S-AWC制御モード	働き
TARMAC（ターマック）	通常はこの制御モードを使用します。舗装された道路で使用してください。
GRAVEL（グラベル）	ぬれた路面や砂利道など, やや滑りやすい路面を走行するときに使用します。
SNOW（スノー）	雪道など滑りやすい路面を走行するときに使用します。

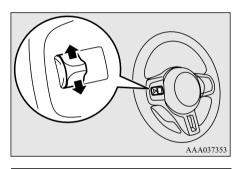
◆ S-AWC制御モードスイッチ

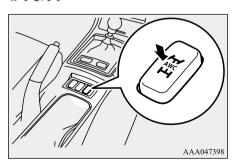
J00716800035

エンジンスイッチがON のとき，AWCスイッチの操作で制御モードが切り換わります。

除く，ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ付き車

スイッチを下に押すと，「TARMAC」 → 「GRAVEL」 → 「SNOW」の順で，上に押すと「SNOW」 → 「GRAVEL」 → 「TARMAC」の順で制御モードが切り換わります。

AAA037353

ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ付き車

スイッチを押すたびに，「TARMAC」 → 「GRAVEL」 → 「SNOW」 → 「TARMAC」の順で制御モードが切り換わります。

AAA047398

アドバイス

- 制御モードは走行中でも切り換えることができます。
- エンジンを停止しても選択した制御モードを記憶しています。ただし，バッテリー端子を外すと制御モードの記憶は消去され，「TARMAC」モードに設定されます。

◆ S-AWC制御モード表示

J00716900049

表示例：「TARMAC」モードを選択したとき

選択している制御モードをマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。
また，制御モードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，選択した制御モードが割り込み表示されます。
インフォメーション画面の制御モードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

⚠注意

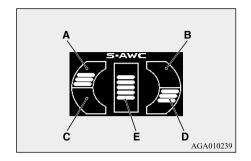
- スポーティな走行を連続して行った場合など，S-AWC制御モード表示が点滅することがあります。
  このとき，S-AWC 装置を保護するためにS-AWC 制御を一時停止しますが，通常走行に問題はありません。
  しばらく走行した後，S-AWC制御モード表示が点灯状態に戻ればS-AWC制御は再び作動します。

S-AWC作動表示

J00715600049

マルチインフォメーションメーター内のインフォメーション画面に S-AWC の作動状態を表示させることができます。
表示させるときはマルチインフォメーションメータースイッチを押してインフォメーション画面を切り換えます。
詳しくは「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」をお読みください。→P. 6-13

◆ 表示例

S-AWCの作動状態を表示します。

AYC作動表示

AYC によるヨーモーメントの強さをバーグラフで表示します。

A, D- 車両重心まわりの右回転のヨーモーメント
B, C- 車両重心まわりの左回転のヨーモーメント

ACD作動表示

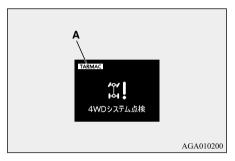
ACD によるセンターデフ差動制限力の強さをメーター内の E 部にバーグラフで表示します。

⚠注意

- 運転中にS-AWC作動画面を見るときは必要最小限にとどめてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

S-AWC警告表示

J00717000050

システムに異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
また，同時にA部のS-AWC制御モード表示が消灯します。

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，警告表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 車外の気温が低下して AWC 制御フルードの粘度が高くなると，警告が表示されることがあります。
  この場合，S-AWC制御を一時停止しますが通常走行に問題はありません。
  しばらく走行して AWC 制御フルードが暖まるか車外の気温が高くなった後に再度エンジンをかけ，警告表示が消えればS-AWC制御は再び作動します。

ブレーキアシスト

タイプ別装備

J00722200063

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。
ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- ブレーキペダルを素早く踏み込んだとき以外でも，いっぱいまで強く踏み込むとブレーキアシストが作動することがあります。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行中に限らず停車中であってもブレーキペダルを素早く踏み込んだり，いっぱいまで踏み込むと，ブレーキアシストの作動音が聞こえることがあります。
  これは，装置が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。

7

アンチロックブレーキシステム(ABS)

タイプ別装備

J00703000411

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。(車載の応急用スペアタイヤは使用できます。)
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS警告

J00704500905

警告灯　警告表示

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると警告灯のみ点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

● 警告灯が点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告を表示したときは

J00704600616

◆ ABS 警告のみ表示したときは

● 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。

● バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。
このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは

警告灯

警告表示

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 警告灯は同時に点灯し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面には，交互に表示します。

アクティブスタビリティコントロール(ASC)

タイプ別装備 J00710300298

アクティブスタビリティコントロール(ASC) はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。
→「アンチロックブレーキシステム(ABS)」P. 7-40
→「トラクションコントロール機能」P. 7-43
→「スタビリティコントロール機能」P. 7-44

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400130

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

7

スタビリティコントロール機能

J00710500157

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約15km/h以上で作動します。

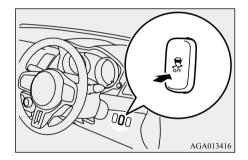
7

ASCのON/OFF作動切り換え

J00710800394

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもASCの働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチを ON にすると自動的に ASC は ON になります。ASC OFF スイッチを押すとASCがOFFになり，表示が表示されます。
もう一度押すとONになります。

⚠注意

- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ずASCをONにしてください。

アドバイス

- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。
- ASC OFFスイッチを約3秒以上押し続けるとASCおよびAYCによるブレーキ制御をOFFにすることができます。この場合，AYC BRAKE OFF表示が数秒間表示されます。

  AYC BRAKE
  OFF

  その後もとの画面に切り換わり，「!」マークが点灯します。
  もう一度 ASC OFF スイッチを押すとASCはONの状態に戻ります。
- ASC を OFF にした後または ASC および AYCによるブレーキ力制御をOFFにした後も ASC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてASC は ON に戻ります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600201

- ASC作動表示／ASC作動表示灯
  ASCが作動すると点滅します。
- ASC OFF表示
  ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると点灯します。

⚠注意

- 作動表示／作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（エンジン出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）
  この場合は表示が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，点滅が消えればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

アドバイス

- エンジンをかけると表示が点灯することがあります。これは，エンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため作動表示／作動表示灯が点滅しやすくなります。

7

ASC警告表示

J00715700183

システムに異常があると，つぎの表示／表示灯が点灯します。

 - ASC作動表示灯

 - ASC OFF表示

警告表示

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

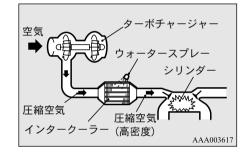
1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示／表示灯が消えるか確認します。

表示／表示灯が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

インタークーラーウォータースプレー

タイプ別装備

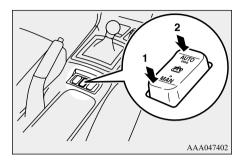
J00703800031

インタークーラーウォータースプレーはインタークーラーの前面に水を噴射し，インタークーラーを強制的に冷却することで，圧縮空気の冷却効果を高めます。
低・中車速で，エンジン回転が高回転となる登坂路走行時などでご使用ください。

インタークーラーとは…

インタークーラーはターボチャージャーによって圧縮された大量の空気を冷却し空気密度を高くしてシリンダー内へ供給し，大きなエンジン出力を引き出す装置です。

ウォータースプレースイッチ

ウォータースプレースイッチを操作することにより, 走行状況に合わせて2種類の噴射モードを選択することができます。

AAA047402

◆ マニュアルモード

エンジンスイッチが ON のときにスイッチの MAN (1) 側を押している間，ウォータースプレー液（ウォッシャー液）を噴射します。

◆ オートモード

エンジンスイッチが ON のときにスイッチのAUTO (2)側を押すと作動します。
オートモードではエンジンの状況に合わせ, ウォータースプレー液（ウォッシャー液）を間けつ噴射します。
作動を止めるときは, もう1度スイッチのAUTO (2)側を押します。

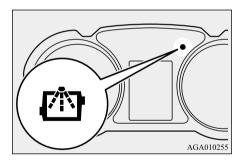
アドバイス

- マニュアルモードでは連続して60秒以上噴射しないでください。モーターが焼き付くおそれがあります。
- ウォータースプレー液（ウォッシャー液）が不足した状態で使用しないでください。モーターが焼き付くおそれがあります。
- ウォータースプレーを長時間使用したときは，ウォータースプレー用ウォッシャータンクの液量を点検してください。液量が不足しているときは，ウォッシャー液を補給してください。
→「ウォッシャー液，インタークーラーウォータースプレー液（ウォッシャー液）の点検・補給」P. 11-3

ウォータースプレー作動表示灯

J00705500045

オートモードが作動するとメーター内の表示灯が点灯します。

AGA010255

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000160

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，砂利路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂
- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。
- 定速走行中，マニュアル車はクラッチペダルを踏み込まずにシフトレバーを操作しないでください。
  定速走行状態のままシフトレバーがⓃに入ると，エンジン回転数が急激に上昇し，エンジンが損傷するおそれがあります。

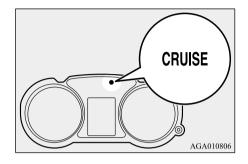
アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
  このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。
  ブレーキペダルを踏んで減速してください。
  この場合，定速走行は終了します。

7

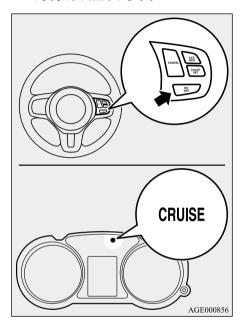
クルーズコントロール表示灯

J00705700148

エンジンスイッチがONのときに，ON OFFスイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。

希望車速をセットし，定速走行するときは

J00705800152

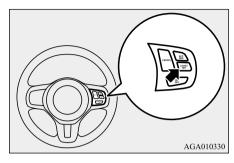
1. エンジンスイッチが ON のとき ON OFFスイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。

AGE000856

2. ツインクラッチ SST 車は，ツインクラッチ SST 制御モードが「Normal」モードに設定されていることを確認します。

アドバイス

- ツインクラッチ SST 制御モードが「Sport」モードまたは「S-Sport」モードに設定されていると，定速走行する車速をセットすることができません。

3. 希望する車速まで加速または減速し，COAST SET スイッチを押して手を離すと，定速走行が開始されます。

AGA010330

アドバイス

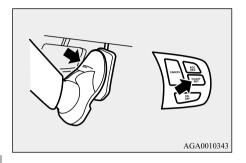
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- エンジンを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900166

◆ アクセルペダルを使って

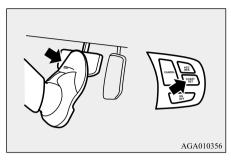
希望する車速まで加速し, COAST SETスイッチを押して手を離します。

AGA0010343

アドバイス

● スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

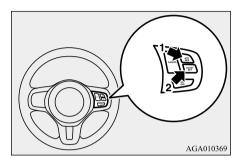
◆ ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し, COAST SETスイッチを押して手を離します。

AGA010356

アドバイス

● スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ クルーズコントロールスイッチを使って

ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押し続け，希望する車速になったら手を離します。

1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

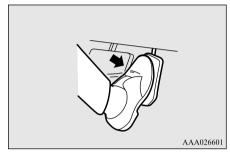
アドバイス

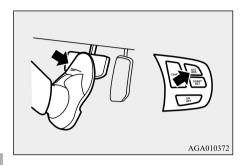
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押してすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

一時的に加速または減速したいときは

J00712900126

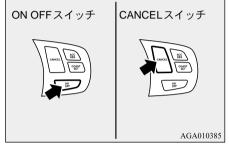
◆ 一時的に加速したいときは

アクセルペダルを踏んで加速します。
アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。

◆ 一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは，ACC RESスイッチを押します。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P. 7-53

定速走行を終了するときは

J00706000193

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- ON OFFスイッチを押す
- CANCELスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む

また，つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- クラッチペダルを踏み込んだとき（マニュアル車）
- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- ツインクラッチ　SST　制御モードを「SPORT」モードに設定したとき（ツインクラッチSST車）
→「ツインクラッチ SST 制御モード」P. 7-20
- アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき
→「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」P. 7-42

⚠警告

- **ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓃにすると定速走行を自動的に終了しますが，走行中はシフトレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

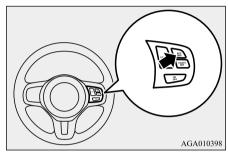
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
ON OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100181

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，ACC RES スイッチを押すことにより，元の設定車速に戻すことができます。

AGA010398

ただし，つぎの場合はACC RESスイッチを押しても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

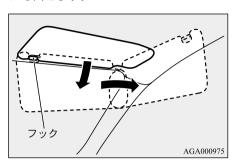
- エンジンを切ったとき
- ON OFFスイッチを押したとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

室内装備

8

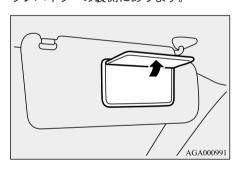
サンバイザー

J00900100295

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

バニティーミラー

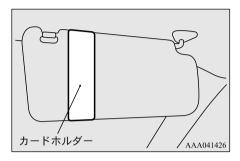
タイプ別装備

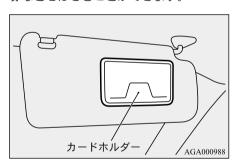
J00912700100

サンバイザーの裏側にあります。

カードホルダー

J00912800172

◆ Aタイプ

通行券などをはさむことができます。

◆ Bタイプ

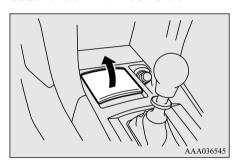
バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。

灰皿

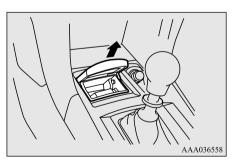
タイプ別装備 J00900300529

⚠注意

- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
  火災の原因となります。

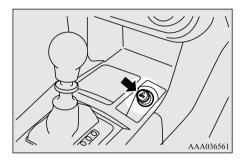
使用するときはフタを開けます。

AAA036545

掃除をするときは，フタを持って引き上げます。

AAA036558

シガレットライター

タイプ別装備 J00900400663

エンジンスイッチがONまたはACCのときにシガレットライターを押し込んで手を離します。
しばらくすると音がして戻ります。

AAA036561

⚠注意

- お子さまにシガレットライターを扱わせないでください。
- シガレットライターが過熱し，火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
  - 押さえつけたままにしないでください。
  - シガレットライターを改造したりしないでください。
  - 他車のシガレットライターを使用しないでください。
- 市販の電気製品を使用しないでください。ソケットが損傷する原因になります。
  ソケットが損傷した場合に使用すると，シガレットライターが飛び出したり，押し込まれたまま戻らなくなるおそれがあります。
- シガレットライターを扱うときは，熱している部分や，その近くはさわらずにノブのみをさわってください。
- シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

8

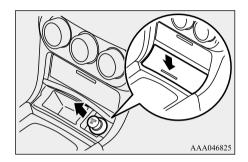
アドバイス

- シガレットライターをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- ソケットを使用するときは，必ず 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。
  また，エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

アクセサリーソケット

タイプ別装備

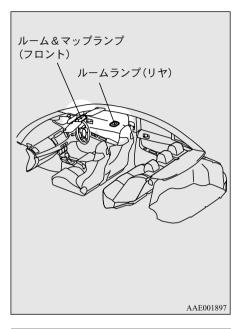
J00900500534

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
ノブを引き抜き，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

アドバイス

- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが過熱し，火災を招くおそれがあります。
- ノブをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

8

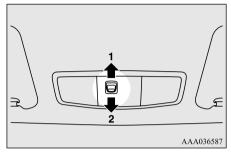
室内灯

J00900800494

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルーム＆マップランプ（フロント）

J00913500020

◆ ルームランプ

1. （DOOR）
いずれかのドアを開けると点灯，閉じると約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - ドアを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
   - ドアを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
   - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
   - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

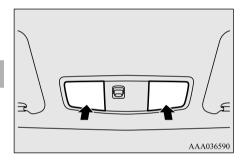
- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアが閉まっているときにエンジンスイッチをLOCKにしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアが閉まっているときエンジンスイッチをLOCKにすると点灯し，約15秒後に消灯します。

アドバイス

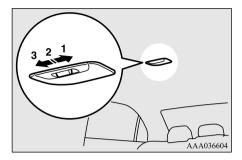
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

2. ドアの開閉に関係なく消灯します。

◆ マップランプ

ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。

ルームランプ（リヤ）

タイプ別装備

J00901300047

1. (ON)
   ドアの開閉に関係なく点灯します。
2. (●)
   いずれかのドアを開けると点灯，閉じると約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - ドアを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
   - ドアを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
   - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
   - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアが閉まっているときにエンジンスイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアが閉まっているときエンジンスイッチをLOCKにすると点灯し，約15秒後に消灯します。

アドバイス

● 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

3.（OFF）
ドアの開閉に関係なく消灯します。

インテリアランプ *1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700399

*1 ルーム＆マップランプなどの車内照明

● エンジンスイッチが LOCK の位置で，車内照明を点灯したままにすると，約30分後に照明が自動的に消灯します。
● エンジンスイッチをONまたはACCの位置にしたり，ドアまたはトランクリッドの開閉やキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

● インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。
また，自動消灯までの時間を調整することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

小物入れ

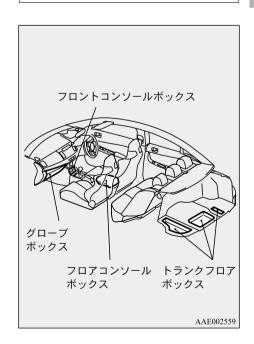
J00906700714

⚠注意

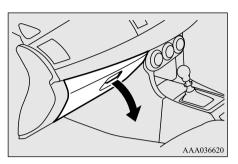
● 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
● 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

● 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。

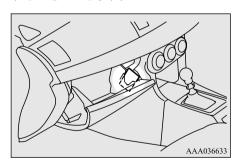
8

グローブボックス

J00907200598

レバーを引くと開きます。

アドバイス

● グローブボックスの中にUSB入力端子があります。タイプ別装備
詳しくは「USB入力端子」をお読みください。→P. 8-33

◆ カードホルダー

グローブボックスの内側にカードを収納することができます。

アドバイス

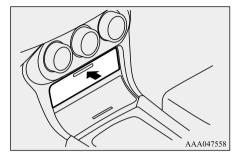
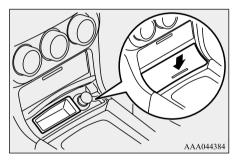
● 給油カードなどが2枚まで入ります。それ以上入れると破損するおそれがあります。

フロントコンソールボックス

タイプ別装備

J00911200036

使用するときは，フタを開けます。

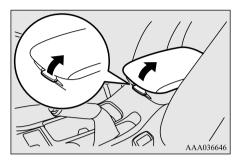
◆ 上段ボックス

◆ 下段ボックス

アドバイス

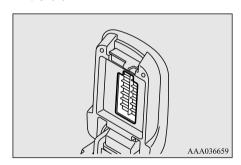
● フロントコンソールボックスを灰皿として使用しないでください。
火災の原因になったり，ボックスが変形するおそれがあります。

フロアコンソールボックス

タイプ別装備　J00908200090

レバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。

AAA036646

フロアコンソールボックスのフタの内側にポケットティッシュを収納することができます。

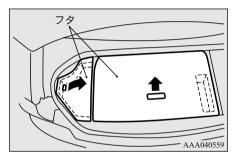
AAA036659

トランクフロアボックス

タイプ別装備　J00913400032

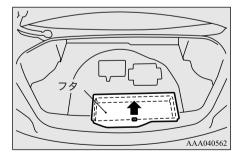
トランクフロアマットの下にトランクフロアボックスがあります。
使用するときはフロアマットをめくり，フタを開けます。

◆ 応急用スペアタイヤ付き車

トランクルームの中央および左側にあります。

AAA040559

◆ 除く，応急用スペアタイヤ付き車

トランクルームの中央にあります。

AAA040562

カップホルダー

J00903800655

⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

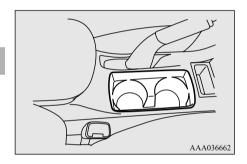
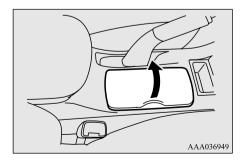
センターコンソールにカップホルダーがあります。

◆ Aタイプ

AAA036662

◆ Bタイプ

フタを開けて使用します。

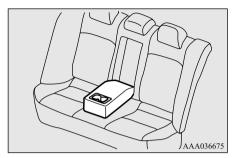
AAA036949

リヤシート用

タイプ別装備

J00908700167

アームレストを倒すとカップホルダーがあります。

→「アームレスト」P. 5-6

AAA036675

ボトルホルダー

J00905900230

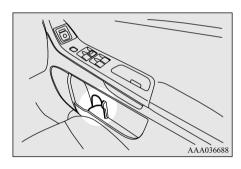
⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

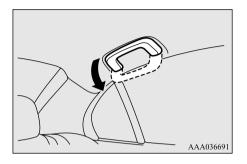
ペットボトルなどを入れることができます。

AAA036688

アシストグリップ

タイプ別装備

J00912900317

座ったときに，手で身体を支えるためのグリップです。

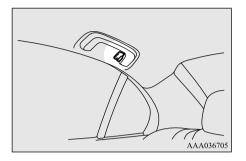
AAA036691

⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コートフック

タイプ別装備　J00909700122

運転席側のアシストグリップにコートフックがあります。

AAA036705

⚠警告

● コートフックには，アクセサリーなどを取り付けたりしないでください。服をかけるときは，ハンガーを使用せずに直接コートフックにかけてください。
SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

リンクシステム

タイプ別装備　J00964900071

リンクシステムとは，USB 入力端子や Bluetooth® 2.0 インターフェースで接続したデバイスを，車両に装備されているスイッチや音声コマンドを使って操作するシステムです。
操作方法についてはつぎの項をご覧ください。

→「Bluetooth® 2.0インターフェース」P. 8-13

→「USB 入力端子」P. 8-33

Bluetooth® は BLUETOOTH SIG, INC. の登録商標です。

エンドユーザー向け使用許諾契約

J00969000019

三菱自動車工業株式会社のソフトウェア使用許諾のある対応デバイスは，Johnson Controls, Inc.（オートモーティブシステムズ事業）およびその第三者供給業者から入手しています。第三者供給業者の製品リストおよびエンドユーザー向け使用許諾契約はつぎのウェブサイトをご確認ください。
www.mitsubishilinksystem.jp/faq/fulldisclosure.pdf

8

Bluetooth® 2.0　インターフェース

タイプ別装備　　J00965000095

ハンズフリー Bluetooth® 2.0　インターフェースシステムは，Bluetooth® 対応携帯電話を使って車内でのハンズフリー通話を可能にします。
このシステムは音声認識機能を備えており，音声コマンドによる操作と簡単なスイッチ操作でハンズフリー通話が可能です。また，Bluetooth® 対応音楽プレーヤー内に保存された楽曲を，車両スピーカーを使って再生することができます。

Bluetooth® 2.0 インターフェースは，エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。

Bluetooth® 2.0　インターフェースを使用する前に，必ず Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースのペアリングを行ってください。→「Bluetooth® 2.0　インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた」P. 8-18

Bluetooth® は BLUETOOTH SIG, INC. の登録商標です。

⚠警告

- Bluetooth® 2.0　インターフェースはハンズフリー通話を可能にしますが，運転中に携帯電話を使用するときは，注意がおろそかになり安全運転を怠ることのないようにしてください。携帯電話の使用やその他の「ながら運転」は，注意がおろそかになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

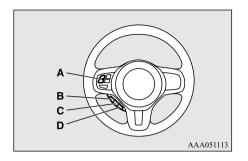
アドバイス

- エンジンスイッチが ON または ACC の状態のまま一定時間が過ぎると，アクセサリーの電源が自動的に切れ，Bluetooth® 2.0 インターフェースが使用できなくなります。自動的に電源が切れた後，エンジンスイッチを操作すると，再びアクセサリーの電源が入ります。→「ACC 電源オートカット機能」P. 7-9
- Bluetooth® 2.0 インターフェースは，Bluetooth® 対応デバイスの電池が切れていたり電源が入っていないと一部の機能が使用できません。
- 携帯電話が使用できないときは，ハンズフリー通話も使用できません。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースと互換性のない Bluetooth® 対応デバイスもあります。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースの詳細情報については，三菱自動車ホームページ内 (www.mitsubishi-motors.co.jp/support/accessory/bluetooth/) の，Johnson Controls, Inc.「リンクシステム」ページからご覧いただけます。三菱自動車以外のウェブサイトへ接続しますので，表示される注意事項にご同意の上ご覧ください。

ステアリングコントロールスイッチ→P. 8-14
音声認識機能→P. 8-15
便利な音声コマンド→P. 8-15
音声認識学習機能→P. 8-17
Bluetooth® 2.0 インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた→P. 8-18
ハンズフリー通話のしかた→P. 8-22
電話帳機能→P. 8-25

8

ステアリングコントロールスイッチ

J00969100065

A- 音量調整ボタン
B- 発話ボタン
C- オフフックボタン
D- オンフックボタン

◆ Volume upボタン

ボタンを押すと，音量が増加します。

◆ Volume downボタン

ボタンを押すと，音量が減少します。

◆ 発話ボタン

● ボタンを押すと音声認識モードになります。
● 音声認識モードのときにボタンを短く押すと，音声コマンド入力が可能になります。
長く押すと音声認識モードを終了します。
● 通話中にボタンを短く押すと音声認識モードになり，音声コマンド入力が可能になります。

8

アドバイス

● 三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，発話ボタンを押すと「ピッと鳴ったらお話しください。」と音声ガイドが流れます。
Bluetooth® 2.0 インターフェースを使用するときは「リンクシステム」または「Bluetooth」と言ってください。

◆ オフフックボタン

● 着信時にボタンを押すと電話を受けます。
● 通話中に別の着信が入ったときにボタンを押すと，最初に通話していた相手との通話を保留状態にし，新たな着信者との通話に切り換わります。
  • この状態でボタンを短く押すと，通話相手が切り換わります。最初に通話していた相手との通話になり，もう一方の相手は保留状態になります。
  • この状態から三者通話にするためには，発話ボタンを押して音声認識モードにし「三者通話」と言います。

◆ オンフックボタン

● 着信時にボタンを押すと着信を拒否します。
● 通話時にボタンを押すと現在の通話を切ります。他の電話が保留状態の場合，保留中の相手に切り換ります。
● 音声認識モードのときにこのボタンを押すと，音声認識モードが終了します。

アドバイス

- 携帯電話が Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続されていると，発話ボタンを押して音声認識モードにしたとき「携帯電話のバッテリー残量」,「電波の強さ」,「ローミングサービス中」といった携帯電話の現在の情報が車両側のディスプレイに表示されます。*
  *: 携帯電話によっては，この情報を Bluetooth® 2.0 インターフェースに送れないものがあります。
- 通話中着信や三者通話は，使用している携帯電話がそれらのサービスを利用できる場合にのみ，Bluetooth® 2.0 インターフェースで操作できます。

音声認識機能

J00969200011

Bluetooth® 2.0 インターフェースには音声認識機能が装備されています。
音声コマンドを入力することで，ハンズフリー操作やハンズフリー通話が可能になります。

Bluetooth® 2.0インターフェースは，日本語，英語，スペイン語，フランス語の音声認識が可能です。

アドバイス

- あなたが発声した音声コマンドがあらかじめ定義されたコマンドと異なっていたり，周囲の雑音などで認識できない場合は，Bluetooth® 2.0インターフェースは最大3回まで音声コマンドを聞き返します。
- 外部の騒音を減らして音声認識機能の性能をより良く発揮できるように，音声認識機能が作動している間は車両の窓を閉めてください。
- いくつかの音声コマンドには，別の音声コマンド（代替コマンド）があります。
  →「代替コマンド一覧表」P. 8-31

◆ 言語切り換え設定

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「言語」と言います。
4. 「英語，フランス語，スペイン語，日本語から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，選択したい言語を言ってください。（例：「日本語」）
5. 「日本語が選択されました。よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると，手順 4. に戻ります。

アドバイス

- 音声ガイドは同じアナウンスを 2 回言います。1度目は現在の言語で，2度目は選択した言語で言います。
- 電話帳の登録件数が多いときは，言語の切り換えに時間がかかります。
- 言語を切り換えると携帯電話帳に取り込んだ電話帳が利用できなくなります。新しく選択した言語で使用したい場合は，再度携帯電話から電話帳を取り込んでください。

6. 「日本語が選択されました。」と音声ガイドが流れたら言語切り換えは完了し，メインメニューに戻ります。

便利な音声コマンド

J00969300012

◆ Help機能

J00969400013

Bluetooth® 2.0 インターフェースにはヘルプ機能が装備されています。
音声コマンドの入力受付時に「ヘルプ」と言うと，その状況で利用できるコマンドを音声で教えてくれます。

◆ キャンセル

J00969500014

2つのキャンセル機能があります。

メインメニューのときに「キャンセル」と言うと，Bluetooth® 2.0インターフェースが終了します。
それ以外のときに「キャンセル」と言うと，メインメニューに戻ります。

◆ 確認機能の設定

J00969600015

Bluetooth® 2.0 インターフェースには確認機能が装備されています。
確認機能を有効にするとさまざまなBluetooth® 2.0 インターフェースの設定を行うときに，通常より多くの確認する機会が得られます。これによって誤って設定を変更する可能性を下げることができます。確認機能の有効/無効は以下の方法で行います。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「確認設定」と言います。
4. 「確認機能は，有効（無効）です。確認機能を無効（有効）にしますか？」と音声ガイドが流れます。
   切り換えたい場合は「はい」，現在の設定のままでよいのなら「いいえ」と答えてください。
5. 「確認機能は，無効（有効）です。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

◆ セキュリティー機能

J00969700061

Bluetooth® 2.0 インターフェースは，セキュリティー機能として任意の暗証番号を設定することができます。
セキュリティー機能を有効にすると，電話を受ける以外の Bluetooth® 2.0 インターフェースの各機能を使用するために任意の 4 桁の暗証番号の音声入力が必要になります。

暗証番号の設定

以下の方法で暗証番号を設定することによって，セキュリティー機能を有効にします。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「暗証番号」と言います。
4. 「暗証番号は無効です。有効にしますか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると，暗証番号の設定をやめてメインメニューに戻ります。
5. 音声ガイドが「4 桁の暗証番号を言ってください。」と言います。
   暗証番号に設定したい4桁の数字を言います。
6. 確認のため「暗証番号は〇〇〇〇です。よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると手順 5. の暗証番号の入力に戻ります。
7. 暗証番号の登録が終了すると「暗証番号は有効です。」と音声ガイドが流れて，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- 再度エンジンをかけシステムを立ち上げるときに，暗証番号が要求されます。
- 設定した暗証番号が実際にシステムに記録されるのは，エンジン停止後しばらくしてからです。
  エンジンを停止後，すぐにエンジンスイッチをONやACCにしたりエンジンをかけると，設定した暗証番号がシステムに記録されないときがあります。そのときは再度暗証番号を設定しなおしてください。

暗証番号の入力

暗証番号の設定を行ってセキュリティー機能を有効にしていると，発話ボタンを

押して音声認識モードにしたときに,「システムをロックしています。解除するには,暗証番号を言ってください。」と音声ガイドが流れますので,暗証番号の4桁の数字を言って暗証番号を入力してください。
入力した暗証番号が間違っていると「暗証番号が間違っています。もう一度暗証番号を言ってください。」と音声ガイドが流れますので,正しい暗証番号を入力してください。

アドバイス

- 暗証番号の再入力は何度でも可能です。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は,三菱自動車販売会社にご相談ください。

暗証番号の消去

以下の方法で暗証番号を消去することによって,セキュリティー機能を無効にします。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「暗証番号」と言います。
4. 「暗証番号は有効です。無効にしますか？」と音声ガイドが流れますので,「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると,暗証番号の消去をやめてメインメニューに戻ります。
5. 暗証番号の消去が終了すると「暗証番号は無効です。」と音声ガイドが流れて,メインメニューに戻ります。

音声認識学習機能

J00969800033

Bluetooth® 2.0 インターフェースは1言語につき 1 人まで音声認識学習機能によって音声モデルを作ることができます。
これにより,Bluetooth® 2.0 インターフェースがあなたの声を認識しやすくなります。
音声認識学習機能によって登録された音声モデルは任意に有効/無効にできます。

◆ 音声認識学習の方法

J00969900063

音声認識学習の一連の操作には2～3分ほどかかります。より良い成果を出すために,一連の操作を運転席に座りながら,周りはできるだけ静かな状態で行ってください。操作の妨げにならないように,音声認識学習の間は携帯電話の電源を切ってください。
音声認識学習は以下の方法で行います。

1. 車を安全な場所に止めてマニュアル車はシフトレバーをⓃ,ツインクラッチSST車はシフトレバーをⓅに入れ,パーキングレバーを引きます。

アドバイス

- 停車していないと音声認識学習をすることはできません。必ず安全な場所に車を止めてから,音声認識学習を行ってください。

2. 発話ボタンを押します。
3. 「音声認識学習」と言います。

4.「この操作は停車時のみ行えます。また，静かな環境で行ってください。操作に関しては取扱説明書にある学習用フレーズのリストを確認してください。準備ができましたら，発話ボタンを押してください。キャンセルするにはオンフックボタンを押してください。」と音声ガイドが流れます。
発話ボタンを押すと音声認識学習が始まります。

アドバイス

- 3 分 以内に音声認識学習を始めなかった場合は，一旦音声認識学習機能を停止します。「音声認識学習は時間切れになりました。」と音声ガイドが流れ，音声認識モードを終了します。

5.音声ガイドがフレーズ 1 を指示しますので，表「音声認識学習フレーズ」P. 8-32 の対応するフレーズを読んでください。
あなたの音声を登録してつぎの音声コマンドの登録に移ります。すべてのフレーズが登録されるまで操作を続けてください。

アドバイス

- 操作の間オンフックボタンを押すといつでも，音声認識学習を終了します。

6.音声コマンドを全て読みあげると「音声認識学習を完了しました。」と音声ガイドが流れた後，音声認識学習を終了し，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- 音声認識学習を行うと，自動的に音声モデルが有効になります。
- 音声認識学習中は「ヘルプ」および「キャンセル」コマンドは機能しません。

◆ 音声モデルの有効／無効と再登録

J00970000019

音声認識学習機能によって登録された音声モデルは有効／無効にすることができます。
また，再登録を行うこともできます。
これらは以下の方法で行います。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「音声認識学習」と言います。
3. すでに音声認識学習を 1 回でも行ったことがある場合，「音声認識学習は有効です。無効，または，やり直しを選択してください。」または「音声認識学習は無効です。有効，または，やり直しを選択してください。」と音声ガイドが流れます。
4. 音声認識学習が有効のときは音声モデルは有効，無効のときは音声モデルは無効になっています。お好みの状態になる様に選択してください。
また，「やり直し」を選択すると音声認識学習が開始され，音声モデルを新しく再登録できます。（「音声認識学習の方法」をお読みください。→P. 8-17）

Bluetooth® 2.0 インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた

J00970100081

Bluetooth® 2.0 インターフェース機能を使ってハンズフリー通話をしたり音楽を再生する前に，Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースのペアリングを行ってください。

アドバイス

● ペアリングの作業が必要なのは最初の1回のみです。1度ペアリングを済ませたBluetooth® 対応デバイスは，次回からは車内に持ち込むだけで Bluetooth® 2.0 インターフェースと自動的につながります。（対応デバイスのみ）

Bluetooth® 2.0 インターフェースには最大7台の Bluetooth® 対応デバイスをペアリングすることができます。車内に複数のペアリング済み Bluetooth® 対応デバイスがあるときは，一番最近接続された携帯電話または音楽プレーヤーが自動的に Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続されます。

接続する Bluetooth® 対応デバイスは変更することができます。

◆ ペアリングするときは

Bluetooth® 対応デバイスを Bluetooth® 2.0 インターフェースにペアリングするにはつぎの手順にしたがってください。

1. 車を安全な場所に止めてマニュアル車はシフトレバーをⓃ，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れ，パーキングレバーを引きます。

アドバイス

● Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースは停車時しかペアリングできません。両者をペアリングする前に，安全な場所に停車していることを確認してください。

2. 発話ボタンを押します。
3. 「設定」と言います。
4. 「ペアリング設定」と言います。
5. 「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「ペアリング」と答えてください。

アドバイス

● 既に7台のデバイスをペアリング済みのときは，音声ガイドが「デバイスの登録件数は最大です。」と言って，ペアリング作業が終了します。新しいデバイスを登録するときは，1台削除してからペアリングの作業をやり直してください。
（「デバイスの削除」をお読みください。→P. 8-20）

6. 「4桁のピンコードを言ってください。」と音声ガイドが流れたら，4桁の数字を言ってください。
確認機能が有効なときは，その数字でよいかを確認します。「はい」と言います。
「いいえ」と答えるとピンコード選択に戻ります。

アドバイス

● 特定のピンコードが必要な Bluetooth® 対応デバイスもあります。ピンコードについては，対応デバイスの取扱説明書を参照してください。
● ここで入力されたピンコードは Bluetooth® 接続認証としてのみ使用されます。このコードはユーザーが任意に選択した4桁の数字です。このピンコードは Bluetooth® 対応デバイスのペアリング作業の際に必要となりますので覚えておいてください。
Bluetooth® 対応デバイスの接続設定によっては，Bluetooth® 対応デバイスを Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続する度にこのコードを入力しなければならない場合があります。接続の初期設定についてはデバイスの取扱説明書を参照してください。

7.「デバイスでペアリングを開始してください。操作手順はデバイスの取扱説明書を確認してください。」と音声ガイドが流れますので，手順6.で登録した4桁のコードをBluetooth® 対応デバイスに入力してください。

アドバイス

- Bluetooth® 2.0 インターフェースがBluetooth® 対応デバイスを認識できないと，「ペアリングが時間切れになりました。」と音声ガイドが流れてペアリング操作がキャンセルされます。
  ペアリングしようとしているデバイスがBluetooth® 対応かどうか確認し，ペアリングをやり直してください。
- 入力した数字が間違っていると，「ペアリングに失敗しました。」と音声ガイドが流れ，ペアリング操作がキャンセルされます。
  数字が正しいか確認し，ペアリングをやり直してください。

8. 音声ガイドが「デバイス名をどうぞ。」と言いま す。Bluetooth® 対応デバイスに好みの名前をつけて，デバイス名として登録する事ができます。ビープ音がなったら，登録したい名前を言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，デバイス名を復唱し「よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
  デバイス名を変更したいときは「いいえ」と答えてから再度デバイス名を言ってください。

9.「ペアリングを完了しました。」と音声ガイドが流れてペアリング作業は終了です。

◆ デバイスの選択

J00970200011

車内に複数のペアリング済み Bluetooth® 対応デバイスがあるときは，一番最近接続された携帯電話または音楽プレーヤーが，自動的に Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続されます。
その他の携帯電話や音楽プレーヤーに接続するときはつぎの設定変更手順にしたがってください。

携帯電話を選択するときは

1. 発話ボタンを押します。
2.「設定」と言います。
3.「電話選択」と言います。
4. ペアリング済みの携帯電話のデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
   接続したい携帯電話のデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，接続したい携帯電話が正しいか再度確認されます。「はい」と答えると，携帯電話が接続されます。
  「いいえ」と答えると，手順4.に戻ります。
- システムが携帯電話のデバイス名とデバイス番号をすべて読みあげ終わる前でも，発話ボタンを押してデバイス番号を言うといつでも携帯電話を接続することができます。

5. 選択された携帯電話が Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続されます。「＜デバイス名＞を選択しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

音楽プレーヤーを選択するときは

1. 発話ボタンを押します。
2.「設定」と言います。

3.「プレーヤー選択」と言います。
4. ペアリング済みの音楽プレーヤーのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
接続したい音楽プレーヤーのデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，接続したい音楽プレーヤーが正しいか再度確認されます。「はい」と答えると，音楽プレーヤーが接続されます。
「いいえ」と答えると，手順4. に戻ります。
- システムが音楽プレーヤーのデバイス名とデバイス番号をすべて読みあげ終わる前でも，発話ボタンを押してデバイス番号を言うと，いつでも音楽プレーヤーを接続することができます。

5. 選択された音楽プレーヤーがBluetooth® 2.0 インターフェースに接続されます。
「<デバイス名>を選択しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

デバイスの削除

以下の手順で Bluetooth® 2.0 インターフェースからペアリング済みのBluetooth®対応デバイスを削除します。

1. 発話ボタンを押します。
2.「設定」と言います。
3.「ペアリング設定」と言います。
4.「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「削除」と答えてください。
5. ペアリング済みのBluetooth®対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
削除したいデバイスのデバイス番号を言ってください。
すべてのデバイスを削除したいときは「全部」と言ってください。
6. 確認のため「<デバイス名>を削除します。よろしいですか？」または「すべてのデバイスを削除します。よろしいですか？」と音声ガイドが流れます。
「はい」と答えればデバイスの削除を行います。
「いいえ」と答えると，手順 4. に戻ります。
7.「削除しました。」と音声ガイドが流れて，デバイスの削除が終了します。

アドバイス

- 何らかの理由でデバイスの削除が失敗すると，「削除に失敗しました。」と音声ガイドが流れて，デバイスの削除がキャンセルされます。

◆ペアリングされたBluetooth® 対応デバイスを確認するときは

J00970300012

以下の手順でペアリング済みのBluetooth® 対応デバイスを確認することができます。

1. 発話ボタンを押します。
2.「設定」と言います。
3.「ペアリング設定」と言います。
4.「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「リスト」と答えてください。

8

5. 音声ガイドがデバイス名を読みあげます。
6. ペアリングされたすべてのデバイス名を読みあげると，「リストが終わりました。最初から読みあげますか？」と音声ガイドが流れます。
リストをもう一度最初から聞きたいときは，「はい」と答えてください。
終了するときは「いいえ」と答えるとメインメニューに戻ります。

アドバイス

- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「つぎ」または「戻る」と言うと，リストの早送り，巻き戻しができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「編集」と言うと，現在読みあげているデバイスのデバイス名を変更することができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「電話選択」と言うと，現在読みあげている携帯電話に接続を変更することができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「プレーヤー選択」というと，現在読みあげている音楽プレーヤーに接続を変更することができます。

8

◆ デバイス名を変更する

J00970400068

ペアリング済みの携帯電話や音楽プレーヤーのデバイス名を変更することができます。
デバイス名を変更するにはつぎの手順にしたがってください。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「ペアリング設定」と言います。
4. 「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「編集」と答えてください。
5. ペアリング済みのBluetooth®対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
デバイス名を変更したいBluetooth®対応デバイスのデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- デバイス名を変更したい Bluetooth® 対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を読みあげているときに，発話ボタンを押して読みあげている最中のデバイス番号を言ってもつぎの手順に進みます。

6. 「新しい名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れるので，新しくデバイス名として登録したい名前を言ってください。
確認機能が有効なときは，「＜新しいデバイス名＞ よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると，もう一度新しく登録したいデバイス名を言うことができます。
7. デバイス名が変更されます。
「新しい登録名を保存しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

ハンズフリー通話のしかた

J00970600015

Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続した Bluetooth® 対応携帯電話を使って，ハンズフリー通話をすることができます。
また，Bluetooth® 2.0インターフェース内にある電話帳を使って，電話番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

電話をかけるときは→P. 8-23
送信機能→P. 8-24
電話を受けるときは→P. 8-25
ミュート機能→P. 8-25
ハンズフリーモードとプライベートモードの切り換え→P. 8-25

◆ 電話をかけるときは

J00970700016

Bluetooth® 2.0 インターフェースを使用して, 以下の3つの方法で電話をかけることができます。
電話番号を言って電話をかける方法と, Bluetooth® 2.0 インターフェースの電話帳を使って電話をかける方法と, リダイヤルで電話をかける方法です。

電話番号を使って電話する

電話番号を言って電話をかけることができます。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「ダイヤル」と言います。
3. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので, 電話番号を言ってください。
4. 「＜電話番号＞へダイヤルします。」と音声ガイドが流れます。
   Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話をかけます。確認機能が有効なときは, 電話番号を確認します。その番号で続ける場合は, 「はい」と答えてください。
   電話番号を変更するときは「いいえ」と答えてください。「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので, 再度電話番号を言ってください。

アドバイス

- Bluetooth® 2.0 インターフェースは数字（0から9）と記号（+, ＃と*）をサポートしています。

アドバイス

- サポートしている電話番号の最大桁数は以下の通りです。
  - 国際電話番号：+と電話番号（18桁まで）
  - 国際電話番号以外：電話番号（19桁まで）

電話帳を使って電話をかける

システム電話帳または Bluetooth® 2.0 インターフェースの携帯電話帳を使って電話をかけることができます。
電話帳の機能については, 「電話帳機能」をお読みください。→P. 8-25

1. 発話ボタンを押します。
2. 「呼び出し」と言います。

アドバイス

- システム電話帳および携帯電話帳に何も登録がないときに「呼び出し」と言うと, 「システム電話帳には登録がありません。登録を追加しますか？」と音声ガイドが流れます。
  「はい」と言うと, 「電話帳登録メニューに入ります。」と音声ガイドが流れますので, システム電話帳にデータを作成することができます。
  「いいえ」と言うと, メインメニューに戻ります。

3. 「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので, 電話帳に登録した中から電話をかけたい人の名前を言ってください。

4. 該当する人が1人のときは，手順5. に進みます。該当する人が2人以上いるときは，「ふたつ以上見つかりました。<1番目の人の名前>へ電話をかけますか？」と言うので，電話をかけたい人の場合は，「はい」と答えてください。「いいえ」と答えると，音声ガイドがつぎに該当する人の名前を言います。

アドバイス

- 音声ガイドが読みあげたすべての名前に対して「いいえ」と言うと，「登録名が見つかりませんでした。メインメニューに戻ります。」と言ってメインメニューに戻ります。

5. あなたの言った名前に登録された電話番号が1件のときは，音声ガイドは手順6. に進みます。
あなたの言った名前に登録された電話番号が2件以上あるときは，「<名前>の[自宅]，[仕事]，[携帯]，[その他]から選択してください。」と聞くので，電話をかけたいタイプを選択してください。

アドバイス

- システム電話帳に選択した名前に該当するデータがあっても，選択したタイプに電話番号が登録されていないときは，「<名前>に[自宅/仕事/携帯/その他]の登録がありませんでした。タイプの追加またはもう一度を選択してください。」と音声ガイドが流れます。「もう一度」と言うと手順3. に戻ります。
「タイプの追加」と言うと，選択したタイプに電話番号を追加登録することができます。

アドバイス

- 携帯電話帳に選択した名前に該当するデータがあっても，選択したタイプに電話番号が登録されていないときは「<名前>に[自宅/仕事/携帯/その他]の登録がありませんでした。もう一度試しますか？」と音声ガイドが流れます。「はい」と言うと手順3. に戻ります。
「いいえ」と言うと発信がキャンセルされます。もう一度手順1. から作業をやり直してください。

6.「<名前>の<自宅/仕事/携帯/その他>へ電話をかけます。」と音声ガイドが流れてその電話番号に発信します。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，電話をかけたい人の名前とタイプが正しいかどうか確認します。正しければ「はい」と答えてください。
名前やかけたいタイプを変更するときは，「いいえ」と言うと手順3. に戻ります。

リダイヤル

接続されている携帯電話の発信履歴をもとにして，最後にかけた電話番号をリダイヤルすることができます。
リダイヤルをしたいときは以下の手順で行ってください。

1. 発話ボタンを押します。
2.「リダイヤル」と言います。

◆ 送信機能

J00970800017

通話中に発話ボタンを押して，音声認識モードにし，「< 番号 > 送信」と言うと，トーン信号 (DTMF) を発信することができます。
例えば，通話中に自動音声ガイドなどに電話機のボタンを使って返答する必要があるとき，発話ボタンを押して「1 2 3 4

シャープ送信」と言うと，携帯電話から「1，2，3，4，＃」が発信されます。

◆ 電話を受けるときは

J00970900076

エンジンスイッチがONまたはACCのときに電話がかかってくると，オーディオの電源が OFF の状態でも自動的にオーディオをONにして,電話の着信に切り替わります。
電話の着信の音声ガイドは，助手席のスピーカーから出力されます。
着信時にCDやラジオを聞いていた場合,オーディオは CD やラジオの音をミュート（消音）にします。
ステアリングコントロールスイッチのオフフックボタンを押して通話を開始します。
通話が終了すると，オーディオシステムは前の状態に戻ります。

◆ ミュート機能

J00971000016

通話中いつでも，車内マイクを無効にすることができます。
通話中に発話ボタンを押して，「ミュート」と言うと，ミュート機能が有効になり，マイクが無効になります。
「ミュート解除」と言うと，ミュート機能が無効になり，マイクが有効になります。

◆ ハンズフリーモードとプライベートモードの切り換え

J00971100017

Bluetooth® 2.0インターフェースは，ハンズフリーモード（ハンズフリー通話）とプライベートモード（携帯電話を使用しての通話）を二者間で切り換えることができます。ハンズフリー通話をしているときに，発話ボタンを押して「転送」と言うと,ハンズフリーモードを中止し，プライベートモードで話すことができます。
再び発話ボタンを押して「転送」と言うと，ハンズフリーモードに戻ります。

電話帳機能

J00971200018

Bluetooth® 2.0インターフェースには，携帯電話の電話帳とは別に，独自の電話帳が2つあります。システム電話帳と携帯電話帳です。
これらの電話帳に電話番号を登録して,音声認識機能で電話をかけるときに使用することができます。

アドバイス

- バッテリーケーブルを外しても，電話帳に登録してある情報は消去されません。

8

◆ システム電話帳

J00971300064

この電話帳は音声認識機能で電話をかけるときに使用します。
システム電話帳には，一言語に付き最大32 人分の名前を登録することができます。各エントリーには「自宅」「仕事」「携帯」「その他」の4つのタイプがあります。各タイプに 1 つの電話番号が登録できます。
システム電話帳に登録したエントリーには，お好みの名前を登録することができます。
名前（登録名）や電話番号は後から変更することができます。
システム電話帳はペアリングされたすべての携帯電話で使用することができます。

システム電話帳に電話番号を登録するときは

システム電話帳に電話番号を登録する方法は2つあります。電話番号を読みあげ

て登録する方法と，携帯電話の電話帳から電話帳のエントリーを 1 件選んで転送する方法です。

電話番号を読みあげて登録するときは

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録」と言ってください。
4. 「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，好みの名前を言って登録してください。

アドバイス

- すでに最大登録件数が登録されているときは，「電話帳がいっぱいです。登録を削除しますか？」と音声ガイドが流れますので，登録済みの名前を削除したいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

5. 名前の登録が終わると「自宅，仕事，携帯，その他」と音声ガイドが流れますので，電話番号を登録したいタイプを言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，「＜タイプ＞よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順5.に戻ります。
更に選んだタイプに電話番号が登録してある場合，「登録されている電話番号は<電話番号>です。電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れます。
電話番号を変更したくなければ，「キャンセル」または，元の番号を言って登録してください。

6. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を言って登録してください。
7. 音声ガイドがあなたの読みあげた電話番号を復唱して登録します。
電話番号の登録が完了すると，「電話番号を保存しました。他の電話番号も追加しますか？」と音声ガイドが流れます。
現在の登録件名に新たなタイプで電話番号を登録したい場合は，「はい」と答えてください。手順5.のタイプ選択に戻ります。
「いいえ」と答えると登録を終了してメインメニューに戻ります。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，電話番号を復唱し「よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると手順6.の電話番号の登録に戻ります。

携帯電話の電話帳からエントリーを1件選んで取り込むときは

携帯電話の電話帳からエントリーを 1 件選び，システム電話帳へ登録することができます。

アドバイス

- 停車中以外は取り込むことはできません。取り込みをする前に車を安全な場所に停車させてください。
- Bluetooth® 対応携帯電話でも，機種によっては，すべてのまたは一部のデータが転送できないことがあります。
- 取り込むことのできる電話番号の最大桁数は19桁です。
- 「0から9，*，#，+」以外の文字が電話番号に含まれている場合，その文字は削除して転送されます。
- 携帯電話側の操作については，携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。

3.「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「連絡先取り込み」と言ってください。
4.「一つの連絡先，または，全ての連絡先を選択してください。」と音声ガイドが流れますので,「一つの連絡先」と言ってください。
Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話帳データの転送を受け付け可能な状態になります。

アドバイス

- すでに最大登録件数が登録されているときは,「電話帳がいっぱいです。登録を削除しますか？」と音声ガイドが流れますので，登録済みの名前を削除したいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

5.「連絡先を取り込む準備ができました。自宅，仕事，携帯の電話番号を取り込めます。」と音声ガイドが流れて，Bluetooth® 2.0 インターフェースが，Bluetooth® 対応携帯電話から電話帳データを受信します。
6. Bluetooth® 対応携帯電話を操作して，システム電話帳に登録したいエントリーを Bluetooth® 2.0 インターフェースに転送できる状態にしてください。

アドバイス

- Bluetooth® 2.0 インターフェースが Bluetooth® 対応携帯電話を認識できないときや，接続に時間がかかりすぎると,「連絡先取り込みは時間切れになりました。」と音声ガイドが流れて登録がキャンセルされます。その場合は，もう一度手順1.からやり直してください。
- オンフックボタンを押すか，発話ボタンを長押しすると，登録がキャンセルされます。

7. 受信が完了すると，「<電話番号>を取り込みました。電話番号の登録名をどうぞ。」と音声ガイドが流れます。
電話帳に登録したい名前を言ってください。

アドバイス

- 入力した名前がすでに他の電話帳入力で使われているときや，他の電話帳入力で使用している名前に似ている場合，その名前で登録することはできません。

8.「< 名前 > を追加しています。」と音声ガイドが流れます。
確認機能が有効なときは，その名前で問題ないか聞かれるので「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，違う名前で登録しなおしてください。
9.「電話番号を保存しました。」と音声ガイドが流れます。
10.「他の連絡先を取り込みますか？」と音声ガイドが流れます。
登録を続けたいときは「はい」と言ってください。新しい電話帳入力を手順5. から続けて登録することができます。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

システム電話帳に登録した内容を変更するときは

システム電話帳に登録した名前や電話番号を変更したり，削除したりすることができます。
また，システム電話帳に登録された名前のリストを聞くことができます。

アドバイス

- 最低 1 つのエントリーが登録されている必要があります。

[電話番号を編集するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「電話番号編集」と言ってください。
4. 「編集したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を編集したいリストの名前を言ってください。

アドバイス

- 「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
→「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-29

5. 「自宅，仕事，携帯，その他」と音声ガイドが流れますので，変更または追加したい電話番号のタイプを言ってください。
確認機能が有効なときは，編集したい名前とタイプが再確認されます。登録を続けたいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，手順3.に戻ります。
6. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を言って登録してください。

アドバイス

- 既に選択された場所に電話番号が登録されているときは，「登録されている電話番号は<電話番号>です。新しい番号をどうぞ。」と言うので，新しい電話番号を言って，番号を変更してください。

7. 音声ガイドが電話番号を復唱します。
確認機能が有効なときは，その番号で問題ないか聞かれるので「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順3.に戻ります。
8. 電話番号が登録されると，「電話番号を保存しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

アドバイス

- すでに電話番号が登録されているタイプに電話番号を上書きしたときは，音声ガイドが「電話番号を変更しました。」と言ってメインメニューに戻ります。

[名前を編集するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録名編集」と言ってください。
4. 「編集したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，編集したい登録名を言ってください。

アドバイス

- 「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
→「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-29

5. 「< 名前 > へ切り替え中です。」と音声ガイドが流れます。
確認機能が有効なときは，編集したい名前が合っているか確認されます。そのまま編集を続けたいときは「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順4.に戻ります。

6.「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，登録したい新しい名前を言って登録してください。
7. 登録名が変更されます。変更が完了すると，メインメニューに戻ります。

[登録済みの名前のリストを聞くときは]

1. 発話ボタンを押します。
2.「電話帳」と言います。
3.「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録名リスト」と言ってください。
4. Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話帳の登録名を順に読みあげます。
5. 最後までリストを読みあげると「リストが終わりました。最初から読みあげますか？」と音声ガイドが流れます。もう一度最初からリストを確認したいときは「はい」と答えてください。終了するときは，「いいえ」と答えると，前の画面，またはメインメニューに戻ります。

アドバイス

- 読みあげ中の登録名を使って電話をかけたり，読みあげ中の登録名を編集したり，削除することができます。発話ボタンを押して，電話をかけるときは「呼び出し」，編集するときは「編集」，削除するときは「削除」と言ってください。
  ビープ音が鳴った後，電話をかけたり，登録名の編集・削除が行われます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押してから「つぎ」または「戻る」と言うと，リストの早送り，巻き戻しができます。

[電話番号を削除するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2.「電話帳」と言います。
3.「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「削除」と言ってください。
4.「削除したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，削除したい電話番号の登録名を言ってください。

アドバイス

- 「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
  →「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-29

5. 選択した登録名に電話番号が１件のみ登録されているときは，音声ガイドが「<名前><タイプ>を削除します。」と言います。
   選択した登録名に電話番号が複数登録されているときは，「[自宅]，[仕事]，[携帯]，[その他」または，全部を選択してください。」と音声ガイドが流れます。削除するタイプを選択すると，「<名前><タイプ>を削除します。」と音声ガイドが流れます。

アドバイス

- すべてのタイプから電話番号を削除したいときは「全部」と言ってください。

6. 選択された電話番号を削除していいか確認されますので「はい」と言ってください。
   「いいえ」と答えると，電話番号の削除をキャンセルして手順 4. に戻ります。

7. 電話番号の削除が完了すると,「削除しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。
すべてのタイプから電話番号が削除されたときは「< 名前 > を全消去しました。」と音声ガイドが流れて電話帳から名前が消去されます。

電話帳の消去

システム電話帳から登録済みのすべての情報を消去します。

1. 発話ボタンを押します。
2.「電話帳」と言います。
3.「登録,電話番号編集,登録名編集,登録名リスト,削除,全消去,連絡先取り込み,から選択してください。」と音声ガイドが流れますので,「全消去」と言ってください。
4. 確認のため「システム電話帳から全消去しても本当に構いませんか？」と音声ガイドが流れますので,「はい」と答えます。
「いいえ」と答えると電話帳の全消去を中止します。
5.「システム電話帳から全消去しようとしています。続けても本当に構いませんか？」と音声ガイドが流れますので,「はい」と言ってつぎに進んでください。
「いいえ」と答えると電話帳の全消去を中止します。
6.「お待ちください。システム電話帳を消去中です。」と音声ガイドが流れて,電話帳のデータをすべて消去します。
消去が完了すると,「システム電話帳が消去されました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

◆ 携帯電話帳

J00971400049

接続された携帯電話内の電話帳を全件一括転送して,携帯電話帳に登録することができます。携帯電話帳には最大1,000人分の名前が登録された電話帳を,ペアリングされた携帯電話ごとに,最大 7 つまで登録することが可能です。

Bluetooth® 2.0インターフェースは,転送された電話帳に登録されている名前を自動的にテキストから音声に変換して名前を作成します。

アドバイス

- 通話に使用できる携帯電話帳の電話帳は,現在接続している携帯電話から転送された電話帳のみです。
- 携帯電話帳に登録された名前や電話番号を変更することはできません。
また,特定の登録内容だけを選んで消去することはできません。変更,削除をしたいときは,転送元の携帯電話の電話帳内の情報を変更して,電話帳を転送し直してください。

電話帳を一括して取り込むときは

携帯電話内の電話帳を携帯電話帳に取り込むときは以下の手順に従ってください。

アドバイス

- Bluetooth® 対応携帯電話でも,機種によっては,すべてのまたは一部のデータが転送できないことがあります。
- 取り込むことのできる電話番号の最大桁数は19桁です。
-「0から9,*,#,+」以外の文字が電話番号に含まれている場合,その文字は削除して転送されます。
- 携帯電話側の操作については,携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1. 発話ボタンを押します。
2.「電話帳」と言います。
3.「登録,電話番号編集,登録名編集,登録名リスト,削除,全消去,連絡先取り込み,から選択してください。」と音声ガイドが流れますので,「連絡先取り込み」と言ってください。

4.「一つの連絡先，または，すべての連絡先を選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「すべての連絡先」と言ってください。
5.「電話から電話帳を取り込みます。完了まで数分かかることがありますが，続けますか？」と音声ガイドが流れます。「はい」と言うと，携帯電話内の電話帳から携帯電話帳へ転送が開始されます。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- Bluetooth® 対応携帯電話でも，機種によっては，携帯電話側で転送開始のための操作が必要な場合があります。その場合は携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 内容によっては，転送完了までに時間がかかることがあります。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースが Bluetooth® 対応携帯電話と接続できなかったときは，「電話帳を取り込めませんでした。」と音声ガイドが流れて，メインメニューに戻ります。
- データ転送中に，オンフックボタンを押すか，発話ボタンを長押しすると，転送がキャンセルされてメインメニューに戻ります。
- データ転送中にエラーが発生すると，転送がすべてキャンセルされ，「電話帳を取り込めませんでした。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。
- 電話帳に何も登録がないときは，「電話帳がありませんでした。」と音声ガイドが流れます。

6.転送が完了すると，「取り込みが完了しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

代替コマンド一覧表

J00972000055

主要コマンド	代替コマンド
ペアリング設定	ペアリング
タイプの追加	タイプ
確認設定	確認
全部	すべて
0（ゼロ）	0（れい）
1（いち）	—
2（に）	—
3（さん）	—
4（よん）	4（し）
5（ご）	—
6（ろく）	—
7（なな）	—
8（はち）	—
9（きゅう）	9（く）
＊（こめじるし）	アスタリスク
#（シャープ）	ナンバー
連絡先取り込み	取り込み

8

音声認識学習フレーズ

J00972100014

フレーズ	日本語	英語	フランス語	スペイン語
1	123456789	123456789	123456789	123456789
2	888 555 1212	888 555 1212	888 555 1212	888 555 1212
3	呼び出し	Call	Appeler	Llamar
4	ダイヤル	Dial	Composer	Marcar
5	設定	Setup	Configurer	Configurar
6	キャンセル	Cancel	Annuler	Cancelar
7	つぎ	Continue	Continuer	Continuar
8	ヘルプ	Help	Aide	Ayuda

USB入力端子

タイプ別装備

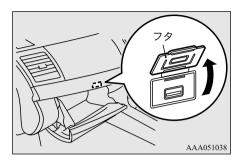
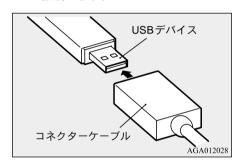
J00965100083

USBデバイスまたはiPod*を接続し, 保存されている音楽ファイルを再生することができます。
ここではUSBデバイスまたはiPodの接続方法および取り外し方法について説明します。

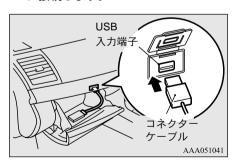
*: “iPod”は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

USBデバイス(機器)の接続のしかた

J00971500095

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. グローブボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。

3. コネクターケーブルを USB デバイスに接続します。

4. コネクターケーブルを USB 入力端子に接続します。

8

⚠注意

- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

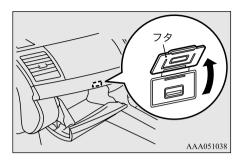
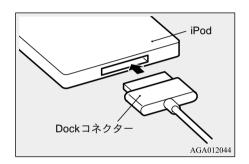
アドバイス

- USBデバイスをUSB入力端子に直接接続しないでください。
- グローブボックスを閉める際，コネクターケーブルをはさまないように注意してください。

5. コネクターケーブルを取り外すときは，エンジンスイッチをLOCKにしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

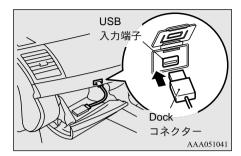
iPodの接続のしかた

J00971600096

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. グローブボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。

3. iPodにDockコネクターを接続します。

アドバイス

- Dock コネクターはApple Inc. 純正品を使用してください。

4. USB 入力端子にDockコネクターを接続します。

⚠注意

● 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

5. Dockコネクターを取り外すときは，エンジンスイッチを LOCK にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

接続できるデバイス（機器）の種類および対応可能なファイルの仕様

J00971700055

◆ デバイスの種類

J00971800098

接続できるデバイスの種類はつぎの通りです。

機種名	条件
USBデバイス	容量が256Mbyte以上
iPod touch*	F/W Ver.1.1.1以降
iPod classic*	F/W Ver.1.0以降
iPod（第5世代）*	F/W Ver.1.2.2以降
iPod nano（第5世代）*	F/W Ver.1.2以降
iPod nano（第2世代）*	F/W Ver.1.1.2以降
USBデバイス，iPod以外の機種	マスストレージクラスに対応したデジタルオーディオプレーヤー

*:“iPod touch”，“iPod classic”，“iPod”，“iPod nano”は，米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

アドバイス

● 接続されているUSBデバイスまたはその他のデバイスの種類によっては，正しく機能しなかったり，ご利用いただける機能に制限がある場合があります。
● 最新のファームウェアにしたiPodを使用してください。
● iPod はエンジンスイッチが ON または ACCのときにUSB入力端子に接続することで充電することができます。
● USBデバイスまたはiPodを車内に置いたままにしないでください。
● データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。

アドバイス

- 接続可能なデバイス以外の機器（ハードディスク，カードリーダー，メモリーリーダー etc）を USB 入力端子に接続しないでください。

デバイスおよびデータが破損するおそれがあります。誤って接続した場合はエンジンスイッチを LOCK にしてから取り外してください。

◆ ファイルの仕様

J00971900060

USB デバイスまたはマスストレージクラスに対応した機器に保存した，つぎの仕様の音楽ファイルを再生することができます。

項目	条件
ファイル形式	MP3.WMA,AAC,WAV
最大階数層 （ルートを含む）	8階層
フォルダ数	700
ファイル数	65,535

エアコン

ヒーターP. 9-5

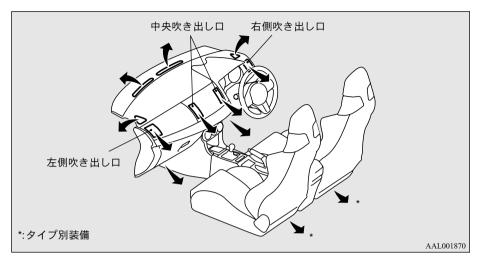
AAI000377

オートエアコンP. 9-15

AAI000380

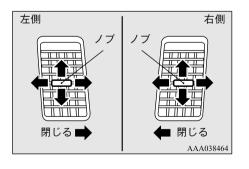
9

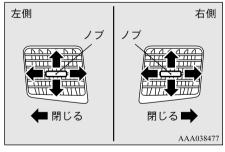
吹き出し口

J01000100684

風向き調整

J01000300572

◆ 中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを内側いっぱいまで動かします。

◆ 左右吹き出し口

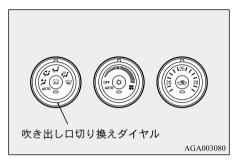
ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを外側いっぱいまで動かします。

アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

吹き出し口の切り換え

J01000400746

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

AGA003080

→「吹き出し口切り換えダイヤル」
P. 9-6，9-16

→:風量弱

➔:風量中

➜:風量強

*:タイプ別装備

上半身に送風したいとき

AAA040793

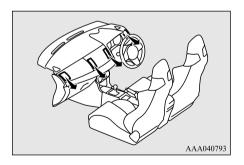
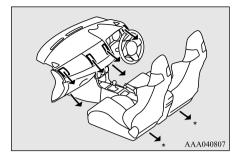
上半身と足元に送風したいとき

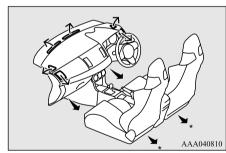
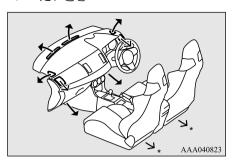
AAA040807

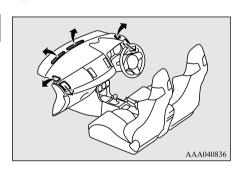
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にすると上半身へ多く，との間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき

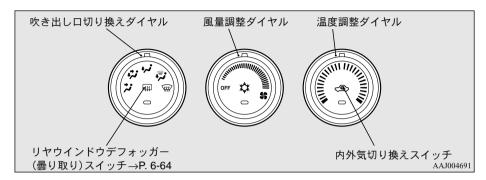
AAA040810

足元とウインドウガラスに送風したいとき

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にすると足元へ多く，との間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

ヒーター

タイプ別装備

J01000500356

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

● スイッチの使い方 P. 9-6
● 目的に合った使い方
•暖房したいときはP. 9-8
•頭寒足熱にしたいときはP. 9-9
•ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-10
•曇り止めと暖房を同時にしたいときは P. 9-12
•換気したいときはP. 9-13
•排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-14

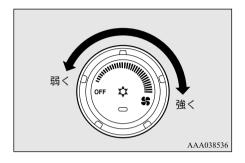
スイッチの使い方

J01000600126

◆ 風量調整ダイヤル

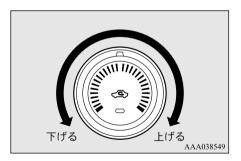
J01000700228

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA038536

◆ 温度調整ダイヤル

J01000900288

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

AAA038549

アドバイス

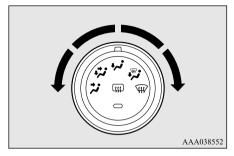
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100216

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

AAA038552

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

アドバイス

- 各シンボルの間にそれぞれのダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

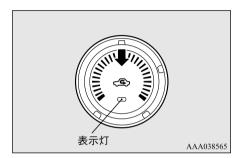
AAZ003726

◆ 内外気切り換えスイッチ

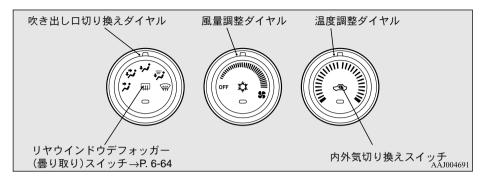
J01001300191

スイッチを押すと音が鳴り，外気導入と内気循環が切り換わります。

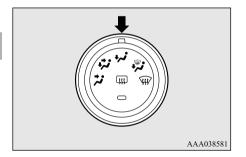
● 外気導入（表示灯：消灯）
　外気を車内に入れます。
● 内気循環（表示灯：点灯）
　車内の空気を循環させ，外気をしゃ断します。

⚠ 注意

● 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。

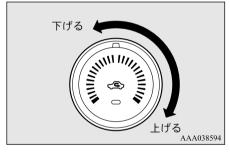
目的に合った使い方

J01001700195

◆ 暖房したいときは

J01001800343

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを にします。

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルが のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

アドバイス

● 急速暖房したいときは，温度を最高に設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA038608

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA038611

アドバイス

- 急速暖房したいときは，風量調整ダイヤルを矢印の位置にします。

AAZ004345

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000267

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA038679

アドバイス

- と の間にはそれぞれのダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

AAZ004358

9

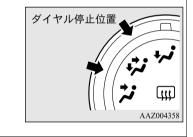
2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA038682

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

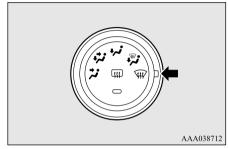
AAA038695

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA038709

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100301

⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。

AAA038712

外気導入（表示灯消灯）に切り換わります。

AAA041354

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA038725

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA038738

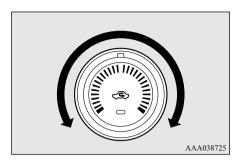
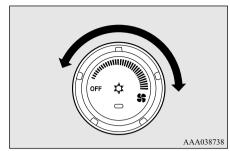
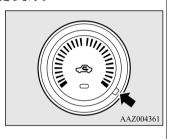
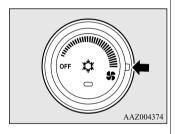
アドバイス

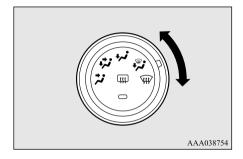
● 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

AAZ004361

アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

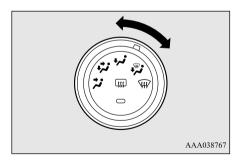
AAZ004374

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

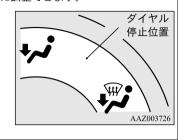
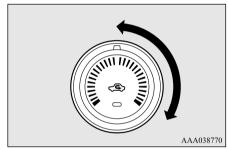
J01002200285

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

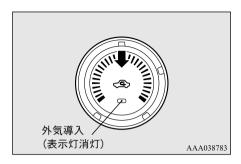
曇り止めを優先するとき

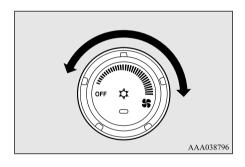
吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

アドバイス

● との間およびとの間にそれぞれのダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

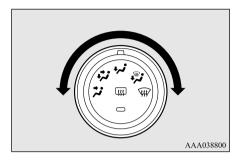
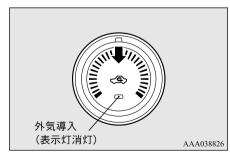
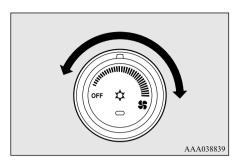
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

◆ 換気したいときは

J01002300303

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをお好みの位置に設定します。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

9

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

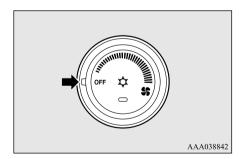
J01009600158

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

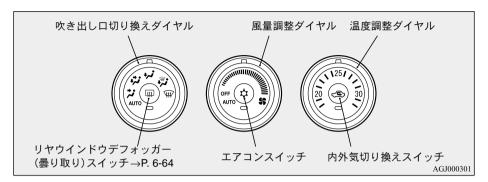
◆ すべての作動を停止したいときは

J01012300016

風量調整ダイヤルをOFFにします。

オートエアコン

タイプ別装備

J01002400476

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

● スイッチの使い方P. 9-16
● 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-20
● 手動で使うときP. 9-22
  • ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-22
  • 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-25

9

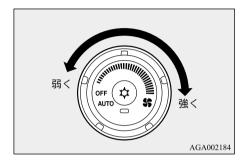
スイッチの使い方

J01002500099

◆ 風量調整ダイヤル

J01002800412

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

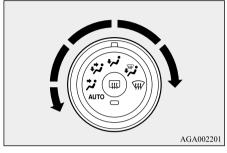
AGA002184

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200312

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

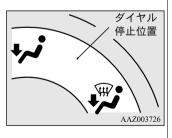
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

AGA002201

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
  →「内外気切り換えスイッチ」P. 9-17

アドバイス

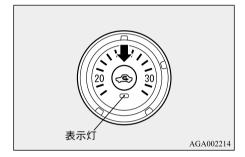
- 各シンボルの間にはそれぞれダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

AAZ003726

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400297

スイッチを押すと音が鳴り，外気導入と内気循環が切り換わります。

- 外気導入（表示灯：消灯）
  外気を車内に入れます。
- 内気循環（表示灯：点灯）
  車内の空気を循環させ，外気をしゃ断します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 手動操作後，再度吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- 内外気自動制御許可:
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 内外気自動制御拒否:
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにしても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。
- 設定変更方法
  内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。

アドバイス

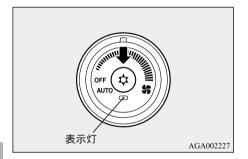
- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを（デフロスター）にしているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

9

◆ エアコンスイッチ

J01003500445

スイッチを押すと音が鳴り, エアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り換わります。

- エアコン作動（表示灯：点灯）
  エアコンが作動し，冷房・除湿機能が働きます。
- エアコン停止（表示灯：消灯）
  エアコンが停止しているため，冷房・除湿機能は働きません。

⚠注意

- ツインクラッチ SST 車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが, 異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

● エアコン自動制御許可:
吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにした場合や温度調整ダイヤルを最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。

● エアコン自動制御拒否:
エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。

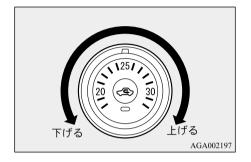
● 設定変更方法
エアコンスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
•許可から拒否へ変更した場合
音が“ピピピッ”と鳴り, 表示灯が3回点滅する。
•拒否から許可へ変更した場合
音が“ピピッ”と鳴り, 表示灯が3回点滅する。

アドバイス

● 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
● 吹き出し口切り換えダイヤルを にしているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

◆ 温度調整ダイヤル

J01003000538

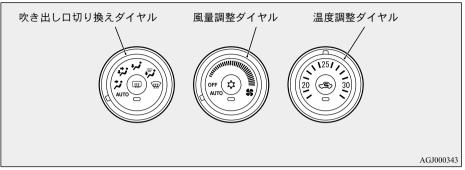
室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

アドバイス

● エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
● 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎのとおり自動的に切り換わります。
自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
•急速暖房（最高温度に設定）
外気導入，エアコン停止
•急速冷房（最低温度に設定）
内気循環，エアコン作動
工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）した時や，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「エアコンスイッチ」P. 9-18
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-17

9

通常の使い方（自動で使うとき）

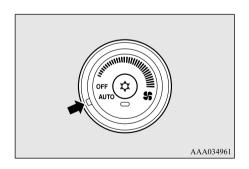
J01004000737

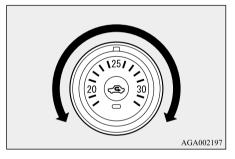
AGJ000343

風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えを自動的に調整します。

アドバイス

- AUTO 作動中にエアコンスイッチまたは内外気切り換えスイッチを操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。

1. 風量調整ダイヤルを AUTO にします。

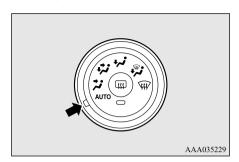
AAA034961

2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を 18 ～ 32 の間で調整できます。

AGA002197

アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- AUTO 作動中に温度調整ダイヤル以外の各ダイヤル／スイッチを操作すると，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。

9

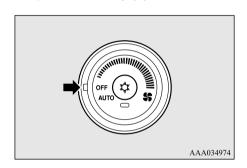
3. 吹き出し口切り換えダイヤルをAUTOにします。

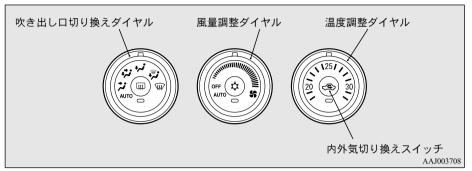
AAA035229

4. 作動を止めたいときは風量調整ダイヤルをOFFにします。

AAA034974

アドバイス

- 室温センサーをふさいだりしないでください。

AAZ004387

手動で使うとき

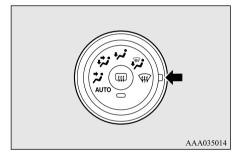
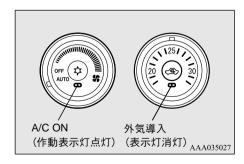
J01004100406

お好みに合わせてダイヤルを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは風量調整ダイヤルを OFF にします。

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200595

⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを （曇り取り）にします。

エアコンが自動的に作動し，外気導入（表示灯消灯）に切り換わります。

⚠注意

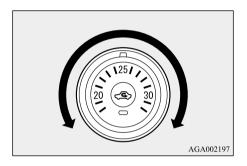
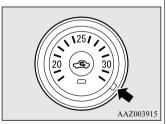
- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。
また，外気導入にも切り換わりません。
エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AGA002197

アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

AAZ003915

- 吹き出し口切り換えダイヤルを （曇り取り）にしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

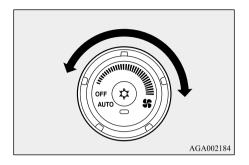
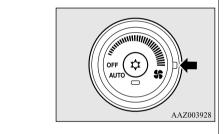
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

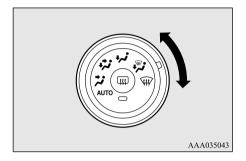
AGA002184

アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

AAZ003928

9

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01011100091

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA035043

暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

AAA035056

アドバイス

- 各シンボルの間にはそれぞれダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

AAZ003726

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA035069

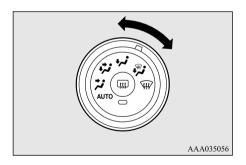
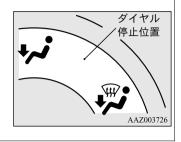
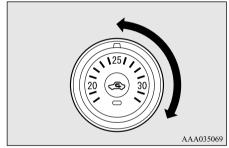
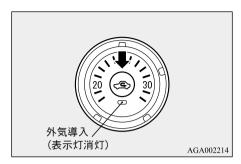
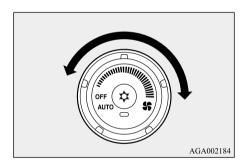
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AGA002214

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AGA002184

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300264

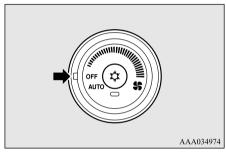
トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-17

◆ すべての作動を停止したいときは

J01004400177

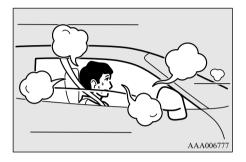
風量調整ダイヤルをOFFにします。

AAA034974

エアコンの上手な使い方

J01009400576

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて熱風を車外に追い出してください。

AAA006777

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

AAA005132

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

9

クリーンエアフィルター（脱臭機能付き）

J01009500548

花粉やほこり，たばこおよび排気ガスの臭いなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-6

アドバイス

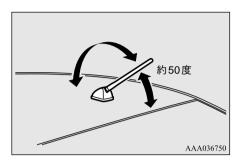
- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
  （交換時期の目安：1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

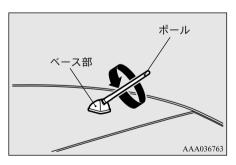
● 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車のオーディオの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンテナ

J01102200866

ルーフアンテナ

ラジオを聞くときは，アンテナをカチッと音がする位置（約50度）まで起こしてからお聞きください。

◆ 取り外し方，取り付け方

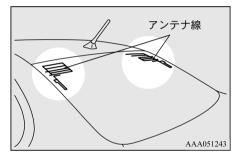
取り外すときはポールを反時計回りにまわします。

取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線がリヤウインドウガラスにプリントされています。

アドバイス

- リヤガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- ウインドウガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

車のお手入れ

エンジンオイルの補給

J01200100514

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-9
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

ILSAC認証マーク

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの補給については，ジョッキを使用してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800191

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

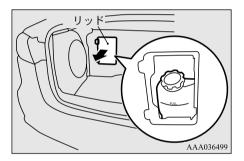
アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液，インタークーラーウォータースプレー液(ウォッシャー液)の点検・補給

J01200200616

フロントウォッシャー・インタークーラーウォータースプレー共用

ウォッシャータンクはトランクルームの左側の奥にあり，リッドを開けるとタンクがあります。タンク内の液面の位置で液量を点検します。

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- トランクルームにウォッシャー液をこぼさないようにしてください。
- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

バッテリーの点検

J01202300015

つぎのような場合，バッテリーの性能が低下していると考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

- スターターの回転が弱くてエンジンがかかりにくい
- ライトを点灯させたとき，いつもより暗い
- ホーンを鳴らしたとき，音がいつもより小さい

⚠警告

- **バッテリーを充電するときは，必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。お客様自身での充電はしないでください。**
  バッテリーから発生する可燃ガスが漏れ，爆発するおそれがあります。

⚠注意

- お客様のお車には専用のバッテリーが搭載されております。このためバッテリーの型式が同じでもお車に正しく取り付けられないことがあります。
  バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社に依頼してください。

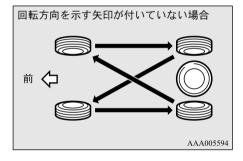
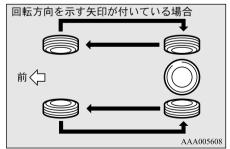
タイヤメンテナンス

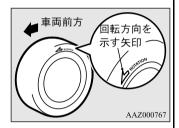
J01202100084

タイヤローテーション

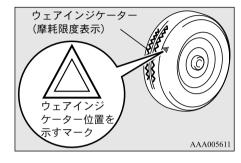
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

アドバイス

- お客様のお車は，舗装路での旋回性能に優れたタイヤを装着しています。旋回性能に優れたタイヤは，旋回時に路面との摩擦が大きいため，一般のタイヤに比べると早期に摩耗する傾向にあります。タイヤは特に車重の重い前輪側が早く摩耗しますので，より長く性能を維持するために，タイヤのローテーションは確実に行ってください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤの代わりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。

→「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

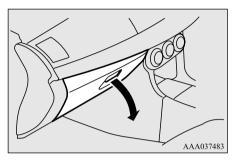
アドバイス

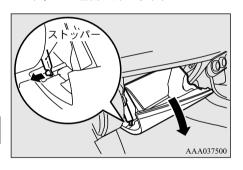
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202000256

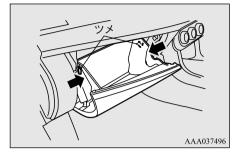
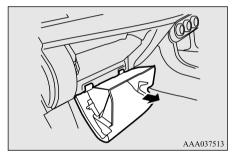
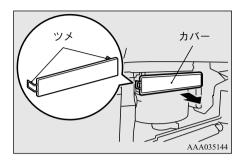
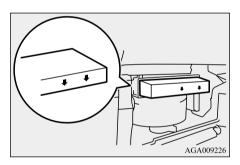
1. エンジンスイッチを LOCK にし，グローブボックスを開けます。

AAA037483

2. グローブボックス左側のロッドをボックス左側へ外します。

AAA037500

3. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。

AAA037496

4. グローブボックスを手前に引いて取り外します。

AAA037513

5. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。
   カバー左右にあるツメを外し，手前に引いて外します。

6. クリーンエアフィルターを取り外して新品と交換します。交換するときはフィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。

7. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600968

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

J01202700093

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701083

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800267

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- レインセンサー付き車は，洗車をする前にワイパースイッチをOFF位置にしてください。AUTO 位置のままでフロントガラスに水がかかると，ワイパーが自動作動して手や指などをはさんだり，ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。
- 高性能ブレーキが装着されており，ブレーキダストによるホイールの汚れが発生しやすいため，こまめに汚れを洗い落とすようにしてください。時間が経つと汚れが落ちにくくなります。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけ控えてください。
  特に濃彩色車やメタリック車は擦り傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約50cm以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約50cm以上）

アドバイス

- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納してください。また，ルーフアンテナを取り外してください。
  リヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900239

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスがけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ付き車は，サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは，ウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスを付着させないでください。
  ワックスが付着するとサンルーフとの密着が悪くなります。
  ワックスが付着したときは，柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000022

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線やアンテナ線を傷つけないよう線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

J01201200059

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

1. スポンジやガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

11

樹脂部品のお手入れ

J01201500111

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

J01201600138

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨材）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700012

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備

J01300101091

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液，インタークーラーウォータースプレー液(ウォッシャー液)の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P. 12-6
冬用タイヤに取り替えるときは，4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200792

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-10，9-22
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

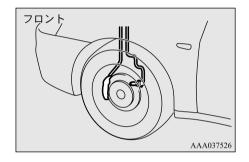
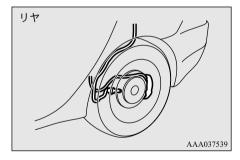
足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

12

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300605

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度は控えめにし，タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400505

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを🅟に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

12

タイヤチェーン

J01300700843

四輪駆動なので，タイヤチェーンは後輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- パンクタイヤ応急修理キット付き車の後輪がパンクしたときは，パンクタイヤ応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。→「パンクタイヤ応急修理キット」P. 13-19
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。

アドバイス

- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100792

アドバイス

● マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をご覧ください。→P. 6-40

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-48

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-47

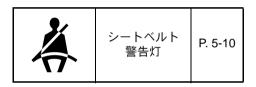
安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS	ABS警告灯	P. 7-41

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-27
	エンジン警告灯（点灯または点滅）	P. 6-48

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-10

こんなことでお困りのときは！

J01400301616

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一, 走行中にエンストしたときは」→ P. 2-15
エンジンスイッチが回らない。（キーを使ってエンジンをかけるとき）	［キーを使ってエンジンをかけるとき］ **LOCKからACCに回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** ［ツインクラッチSST車］ シフトレバーがⓅに入っているか確認してください。 ［マニュアル車］ ACCの位置でキーを押しながら, LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-9 「キーレスオペレーションシステム：ACC から LOCK に回すときは」→ P. 4-15
（キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき）	［キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき］ **LOCK（PUSH OFF）からACCに回らない** キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「エンジンを始動するときの作動範囲」→ P. 4-8 再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かした後, エンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** ［ツインクラッチSST車］ シフトレバーがⓅに入っているか確認してください。 ［マニュアル車］ ACC の位置でエンジンスイッチを押しながら LOCK まで回してください。 「キーレスオペレーションシステム：ACC から LOCK に回すときは」→ P. 4-11

現象	処置
キーレスオペレーション機能が作動しない。 (キーレスオペレーション付き車)	エマージェンシーキーを使ってドアの施錠･解錠操作, エンジンの始動操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム:キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→ P. 4-15
シフトレバーがⓅから動かない。 [ツインクラッチSST車]	ブレーキペダルを踏んでからシフトレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「シフトレバーの動かし方」→ P. 7-14
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 ヒーター付き車→ P. 9-10 オートエアコン付き車 → P. 9-22
パンクした。	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. 応急用スペアタイヤ付き車は, スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-16 パンクタイヤ応急修理キット付き車は, 応急修理キットで応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P. 13-19
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは！」→ P. 13-25

現象	処置
マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり, エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。 オーバーヒート警告 安全な場所に停車して下さい　または　H C AGZ001456	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは！」→ P. 13-27
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

<table>
<tr><th>現象</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>ツインクラッチSSTが変速しない。
［ツインクラッチSST車］</td><td rowspan="3">[警告表示しているとき]
ツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。
「ツインクラッチSST：警告表示」の項をお読みになり処置してください。→ P. 7-17

[エンジン警告灯が点灯または点滅しているとき]
エンジン制御装置に異常が発生しています。
「エンジン警告灯」の項をお読みになり処置してください。→ P. 6-48

[シフトレバー位置表示灯が消えているとき]
ツインクラッチSSTに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。
「ツインクラッチSST：シフトレバー位置表示が消えたときは」の項をお読みになり処置してください。
→ P. 7-15

[警告表示しているときまたはマルチインフォメーションディスプレイ内に警告が表示されていないとき]
ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し, ツインクラッチSSTの安全装置が働いていると考えられます。

1. 安全な場所に車を止め, エンジンを止めます。
2. 再度エンジンをかけます。

この後, 発進することができ, 通常通りに変速すれば異常ありません。
発進できなかったり, 通常通りに変速しないとき, またはたびたび同じ現象が起こるときは, お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。</td></tr>
<tr><td>発進できない。
［ツインクラッチSST車］</td></tr>
<tr><td>加速が鈍い。
クリープ現象が起こらない。
変速時のショックが大きくなった。
変速する車速が高くなった。
レスポンスが遅くなった。
［ツインクラッチSST車］</td></tr>
</table>

⚠注意

- ツインクラッチ SST オイルの温度が高くなると，停車中にアイドリング回転数が高くなったり，クリープ現象が弱くなることがあります。
  その後，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇すると警告が表示されます。

13

故障したときは！

J01400400649

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。

このとき，シフトレバーを🅝に入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- マニュアル車，ツインクラッチSST車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。

人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

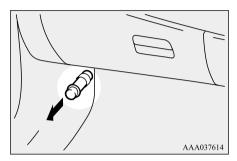
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

13

発炎筒を使うときは！

J01400500291

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒はグローブボックスの左下部に備えつけてあります。

⚠警告

- **お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。**
- **人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。**
- **ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。**
  火災をまねくおそれがあります。
- **トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。**

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-58
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600784

⚠注意

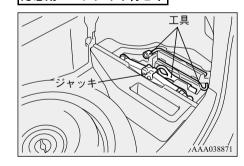
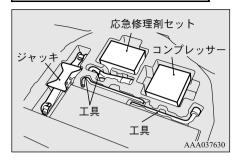
- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

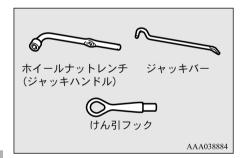
格納場所

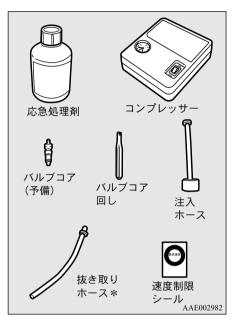
トランクルーム内のトランクフロアボード下に格納されています。

応急用スペアタイヤ付き車

パンクタイヤ応急修理キット付き車

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300561

◆ パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備

＊：三菱自動車販売会社でのタイヤの恒久修理，交換時に使用するホースです。
お客様がパンク応急修理時に使用するものではありません。

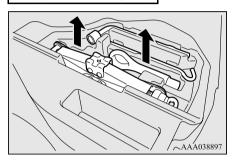
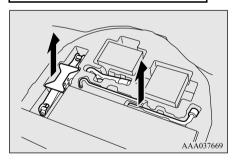
13

工具，ジャッキの脱着

J01404200472

◆ 取り出すときは

1. トランクフロアボードを取り外します。
2. 工具，ジャッキを指定の位置から取り出します。

応急用スペアタイヤ付き車

パンクタイヤ応急修理キット付き車

◆ 格納するときは

1. ジャッキを縮めます。
2. ジャッキ，工具を元の位置に戻します。
3. トランクフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400701362

⚠警告

- **ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

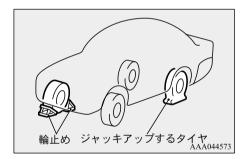
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

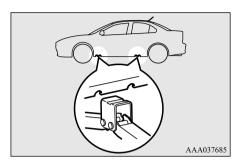
⚠注意

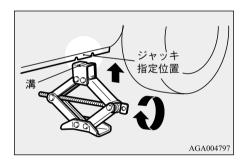
- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

13

6. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-9
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

AAA037685

8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

AGA004797

⚠警告

● ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

9. ジャッキバーのフック部をジャッキに取り付け，ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。

AGA004364

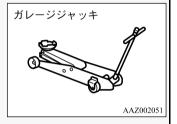
⚠注意

● 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

J01407100049

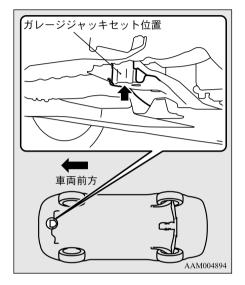
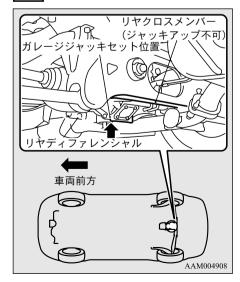
⚠警告

- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置

フロント

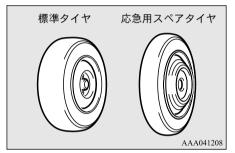
ボルト（4箇所）とクリップ（9箇所）を外し，センターアンダーカバーを取り外します。

リヤ

13

スペアタイヤ

タイプ別装備　　J01400801086

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん大きく，幅が細くなっています。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が大きく，幅が細くなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に後輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを前輪に装着し，外した前輪タイヤを後輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

⚠注意

- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

格納場所

応急用スペアタイヤは，トランクルームに格納されています。

取り出すときは

1. トランクフロアボードを取り外します。
2. 固定用クランプを反時計回りに回して外し，タイヤを取り出します。

格納するときは

格納するときは，取り出すときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- 固定用クランプは応急用スペアタイヤ専用のため，他のタイヤは固定できません。パンクタイヤはトランクルームに格納してください。

タイヤ交換のしかた

J01400901452

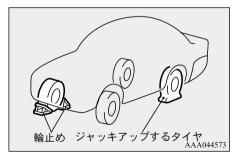
タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

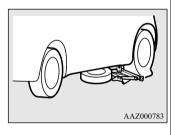
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

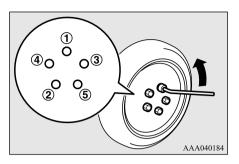
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-9
   →「スペアタイヤ」P. 13-15

アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 13-12

8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで反時計回りに回してゆるめます。

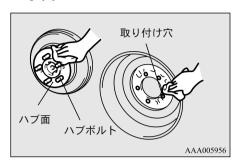
AAA040184

9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

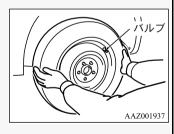
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

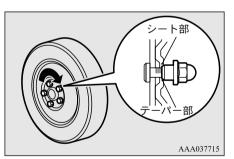
AAA005956

2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

- **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

AAZ001937

13

3. 手でホイールナットを時計回りに回して仮締めします。
   - **標準タイヤ**
     標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤがガタつかない程度までホイールナットを仮締めします。

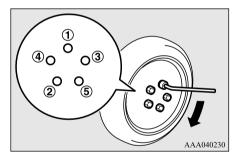
   - **応急用スペアタイヤ**
     応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

⚠警告

- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- ホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に 2~3回に分けて, 徐々に締め付けます。
   最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク： 88~108N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で 350~420N｛35~42kgf｝の力）

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 14-9
6. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「格納場所」P. 13-9

7. 交換したタイヤは，トランクルームに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備

J01403800367

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。

キットの構成内容については，「工具とジャッキ：工具の種類」をお読みください。→P. 13-10

パンクタイヤ応急修理キット付き車には，スペアタイヤが搭載されていません。

⚠注意

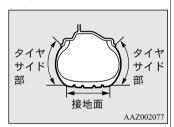
- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

アドバイス

- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
  三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
  - 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）

AAZ002064

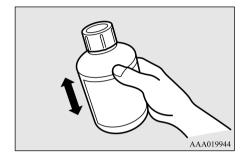
  - タイヤが2本以上パンクしているとき
  - およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
  - タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき

AAZ002077

  - 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。

応急修理のしかた

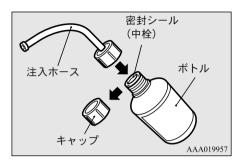
J01407300096

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる場所に車を止め，パンクタイヤ応急修理キットを取り出します。
2. 応急修理剤ボトルとコンプレッサーを取り出し，応急修理剤のボトルをよく振ります。

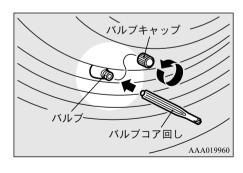
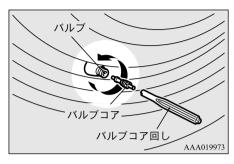
AAA019944

アドバイス

- 寒冷時（0°C以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

13

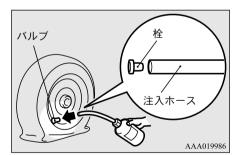
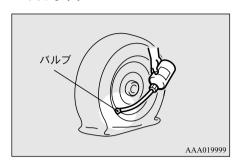
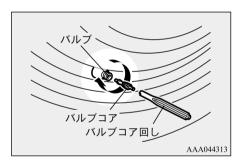
3. キャップを外して応急修理剤の密封シール（中栓）を外さずに注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，シール液が注入できる状態になります。

⚠注意

- 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

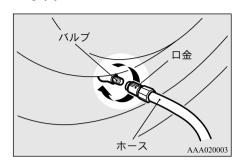
4. タイヤバルブからバルブキャップを外し，ビニール袋に入っているバルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。

5. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。

⚠注意

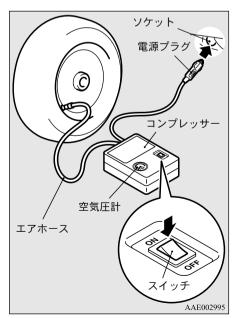
- バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，傷害を受けるおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

6. 注入ホースの先端の栓を取り外し，注入ホースをバルブに差し込みます。

13

7. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべてのシール液をタイヤ内に注入します。

8. 注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計方向にねじ込んでください。

アドバイス

- シール液は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，シール液が入りにくい場合があります。
- バルブコア回しでバルブコアを外すときおよびねじ込むときは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

9. コンプレッサー側面のホースを取り出し，タイヤバルブに確実に取り付けます。

10. 空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグをシガレットライターのソケットまたはアクセサリーソケットに差し込み，エンジンスイッチをACCにします。
コンプレッサーのスイッチをONにしてタイヤを指定の空気圧まで昇圧します。

13

⚠注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用12V専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

11. コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
 空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。
 →「タイヤの空気圧」P. 14-9
 タイヤがホイール内側に外れている場合は，空気が漏れないように手でタイヤ外周をホイールに向けて押すなどしてホイールとタイヤの隙間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。（隙間がなくなれば空気圧が上がります。）

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。
- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは10分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。

⚠注意

- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなったり，本体が熱くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチをOFFにし，30分以上放置してください。

アドバイス

- 10分以内に指定の空気圧に昇圧しないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社またはJAFなどに連絡してください。JAFの営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

12. コンプレッサーのスイッチをOFFにしてから電源コードプラグをシガレットライターのソケットまたはアクセサリーソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順15. まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

13. 指定の空気圧まで昇圧できたら，応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
 走行は法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 高速道路を走行する際は，必ず80km/h以下の速度で走行してください。
 80km/hを超えて走行すると，車体が振動することがあります。

⚠注意

- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
  応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

14.10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm^2}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
  運転を中止して三菱自動車販売会社またはJAFなどに連絡してください。

15.10 分間もしくは約 5km 走行した後にタイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。
- 寒冷時 (0°C以下) では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
  そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに10分または約5km走行した後でもう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。

16.速度制限シールをハンドルのスリーダイヤマークの上に貼り，すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- ハンドルのパッドの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 必ず空気圧のチェックを行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

- 応急修理剤の空ボトルは，三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- パンク修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。
- ホイールは，付着したシール液を拭き取り，バルブを新しいものに取り替えれば再使用できます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001173

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

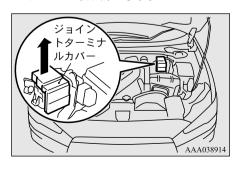
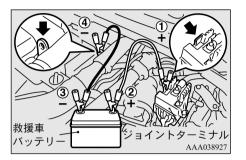
- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，CVT車，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。**
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- **冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

4. バッテリーのジョイントターミナルカバーを取り外します。

13

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のジョイントターミナルの図で指示の箇所（＋端子をとる）
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ①と④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ジョイントターミナルの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを充電するときは，必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。お客様自身での充電はしないでください。
  バッテリーから発生する可燃性ガスが漏れ，爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
- バッテリーのラベルや上ふた，排気チューブ，パイプは絶対に取り外さないでください。可燃性ガスが漏れ，爆発するおそれがあります。

⚠注意

- お客様のお車には専用のバッテリーが搭載されています。このためバッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社に依頼してください。

注意

- 押しがけやけん引により，エンジンをかけることはしないでください。
  特にツインクラッチ SST 車は，マニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

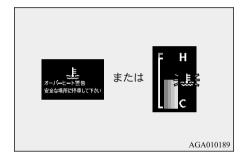
アドバイス

- ABS 装着車は充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告を表示したときは」P. 7-41

オーバーヒートしたときは！

J01401101334

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]
エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

[蒸気が出ているとき]
エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

- **エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。**

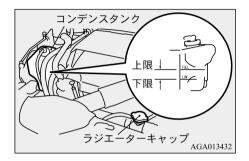
3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

⚠警告

- **冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。**

アドバイス

- 冷却ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. マルチインフォメーションディスプレイ内のエンジン冷却水温表示のバーグラフが下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。

⚠警告

- **通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。**

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

13

けん引

J01401201074

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

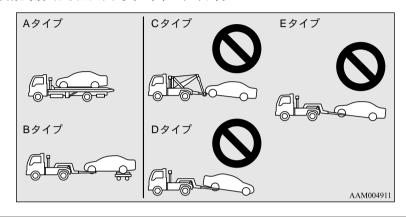
また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

アドバイス

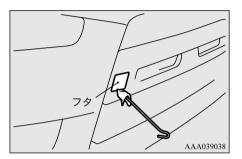
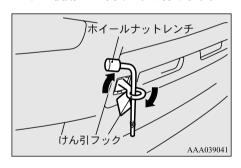
- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください（Cタイプ）。
  バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 必ず4輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（A，Bタイプ）。前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります（D，Eタイプ）。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

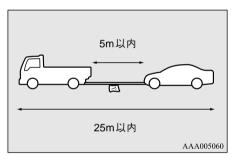
他車にけん引してもらうとき

J01403901118

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-9
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，フロントバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。

3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。

アドバイス

- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは，車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - けん引フックは確実に取り付けてください。
  - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

4. けん引ロープをけん引フックにかけます。
5. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

13

6. エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは，マニュアル車はエンジンスイッチを ACC またはONにします。

⚠警告

- **エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。**

⚠注意

- ツインクラッチ SST 車のエンジンがかからない場合は，4輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。エンジンをかけずにけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッション故障の原因になります。
→「レッカー車に搬送してもらうとき」P. 13-29
- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

7. マニュアル車はシフトレバーをⓃに，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓃに入れます。
8. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-58

⚠警告

- **けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**
- **急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。**

⚠警告

- **長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。**

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- ツインクラッチ SST 車をけん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は40km以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

9. けん引が終わったら，ホイールナットレンチを使用してけん引フックを外し，指定位置に格納します。
→「工具とジャッキ」P. 13-9
10. バンパーのフタを取り付けるときは，ツメを車体側の切り欠きに合わせて確実に取り付けます。

他車のけん引

J01404100572

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300368

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を継続的に発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 継続的に金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。
- ブレーキをかけたとき，若干の鳴き等が発生することがありますが，高性能なブレーキの特徴であり，異常ではありません。

ヒューズが切れたときは！

J01401500937

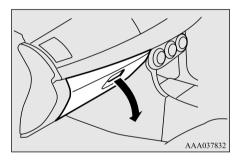
各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

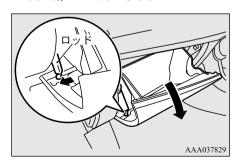
ヒューズボックスの位置

J01407500043

◆ 室内／グローブボックス裏側

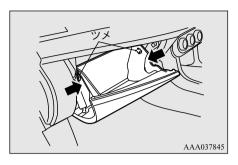
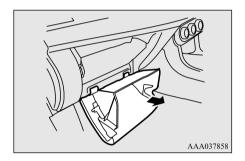
1. エンジンスイッチを LOCK にし，グローブボックスを開けます。

AAA037832

2. グローブボックス左側のロッドを左側に動かして外します。

AAA037829

3. 左右にあるツメを内側に押し込み，外します。

AAA037845

4. グローブボックスを手前に引いて取り外します。

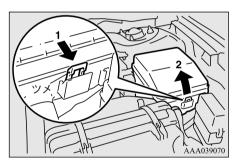
AAA037858

5. グローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。

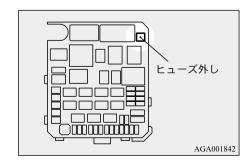
AAA037861

6. グローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

◆ エンジンルーム内

1. ツメを押してロックを外します。
2. カバーの手前を持ち上げてカバーを取り外します。

AAA039070

ヒューズ外しはヒューズボックス内にあります。

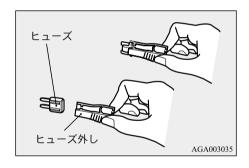
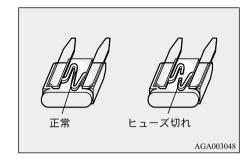
AGA001842

ヒューズの交換

J01407600044

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-36

アドバイス

● 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はグローブボックスの裏側にエンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のヒューズボックス内にあります。

4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。

⚠警告

● **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

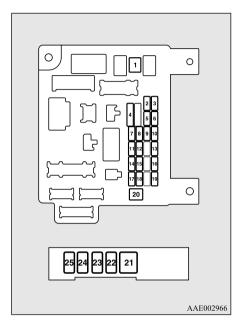
アドバイス

● ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
● ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

13

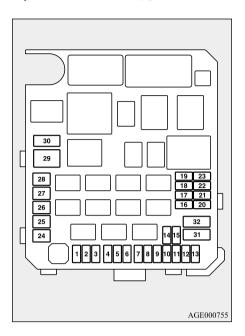
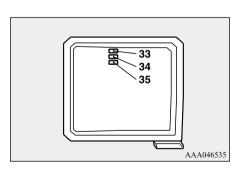
各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701389

◆ 室内／グローブボックス裏側

NO.	表示	装備	容量
1		ヒーター	30A
2	STOP	制動灯（ブレーキランプ）	15A
3		リヤフォグランプ	10A
4		フロントワイパー	30A
5		オプション	10A
6		ドアロック	20A
7		ラジオ	15A
8		コントロールユニットリレー	7.5A
9		室内灯（ルームランプ）	15A
10		非常点滅灯	15A
11		リヤワイパー	15A
12		メーター	7.5A
13		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
14		イグニッションスイッチ	10A
15		サンルーフ	20A
16		ドアミラー	10A
17		4WD	10A
18		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
19		アクセサリーソケット	15A
20		パワーウインドウ	30A
21		デフォッガー	30A
22		ヒーテッドドアミラー	7.5A
23		ACパワーサプライ	15A
24		パワーシート	25A（20A）
25		シートヒーター	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

13

◆ エンジンルーム内

◆ ヒューズボックスカバー裏側

NO.	表示	装備	容量
1		フロントフォグランプ	15A
2		エンジン	7.5A
3	A/T AMT	オートマチックトランスミッション	20A

NO.	表示	装備		容量
4		ホーン		10A
5		オルタネーター		7.5A
6		ヘッドランプウォッシャー		20A
7		エアコン		10A
8		ETV		15A
9		セキュリティーホーン		20A
10		ワイパーディアイサー		15A
11	—	—		—
12	P/GATE	エレクトリックテールゲート		30A
13	DRL	デイタイムランニングライト		10A
14		ヘッドライト(上向き)(左)		10A
15		ヘッドライト(上向き)(右)		10A
16		ヘッドライト(上向き,下向き)(左)	ディスチャージ	20A
17		ヘッドライト(上向き,下向き)(右)	ディスチャージ	20A

NO.	表示	装備		容量
18		ヘッドライト（下向き）（左）	ハロゲン	10A
		ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム(AFS)）（左）	ディスチャージ	
19		ヘッドライト（下向き）（右）	ハロゲン	10A
		ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム(AFS)）（右）	ディスチャージ	
20		I/C SPLAY		10A
21		イグニッションコイル		10A
22		ENG/POWER		20A
23		フューエルポンプ		20A
24		スターター		30A
25	—	—		—
26		ABS		40A
27		ABS		30A

NO.	表示	装備	容量
28		エアコンコンデンサーファンモーター	30A
29		ラジエーターファン	40A
30	IOD	IOD	30A
31		オーディオアンプ	30A
32		ディーゼル	30A
33	—	スペアヒューズ	10A
34	—	スペアヒューズ	15A
35	—	スペアヒューズ	20A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，25A，30Aのスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。

7.5A:10Aスペアヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

25A:20Aスペアヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

30A:30Aオーディオアンプヒューズ

代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズを補給してください。

13

バルブ（電球）が切れたときは！

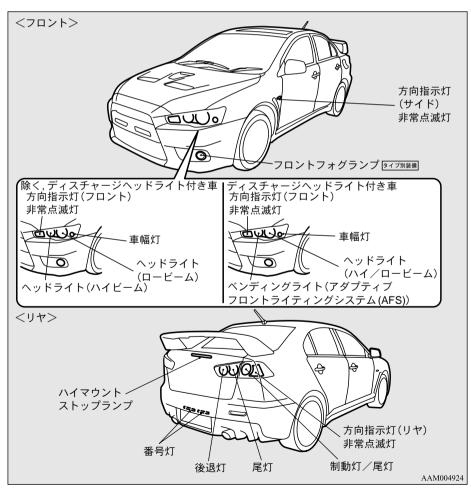
J01401600811

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200069

◆ 車外照明

J01406800371

<table>
<tr><td rowspan="2">ヘッドライト
(除く, ディスチャージ)</td><td>ハイビーム[ハロゲン球]</td><td>60W (HB3)</td></tr>
<tr><td>ロービーム[ハロゲン球]</td><td>51W (HB4)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ヘッドライト(ディスチャージ)</td><td>ベンディングライト(アダプティブフロントライティングシステム(AFS))[ハロゲン球]</td><td>55W (H11)</td></tr>
<tr><td>ハイ/ロービーム
[ディスチャージ球]</td><td>35W</td></tr>
<tr><td colspan="2">車幅灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">フロントフォグランプ タイプ別装備</td><td>55W (H11)</td></tr>
<tr><td colspan="2">制動灯/尾灯</td><td>21/5W (W21/5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">尾灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">後退灯</td><td>21W (W21W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">番号灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">方向指示灯
非常点滅灯</td><td>フロント</td><td>21W (WY21W)</td></tr>
<tr><td>サイド</td><td>5W</td></tr>
<tr><td>リヤ</td><td>21W (W21W)</td></tr>
</table>

● ( ) 内はバルブ（電球）の型式を示しています。

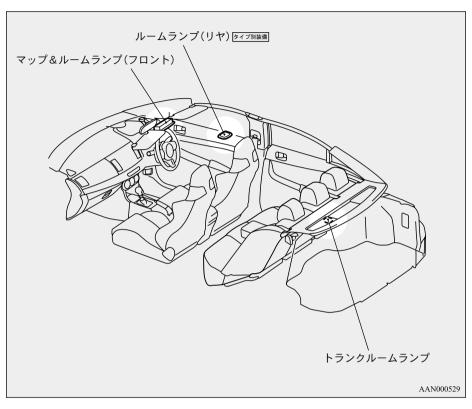
⚠注意

● ディスチャージヘッドライトの修理･バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

アドバイス

● ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。
● 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）のみの修理・交換はできません。
修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300161

マップ&ルームランプ(フロント)	8W
ルームランプ(リヤ) タイプ別装備	8W
トランクルームランプ	5W

バルブ（電球）の交換

J01401700724

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
   →「バルブ（電球）のワット数」P. 13-39

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

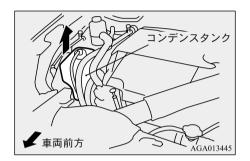
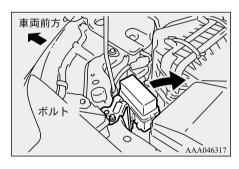
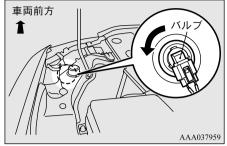
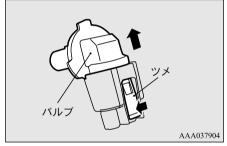
アドバイス

- バルブを交換するときは, 同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて, 油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

J01407000093

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

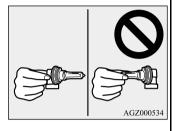
1. 運転席側のバルブを交換するときは，コンデンスタンクを上方に持ち上げて取り外します。

2. 助手席側のバルブを交換するときは，リレーボックスのボルトを外し，リレーボックスを車両後方に移動します。

3. バルブを反時計回りに回して外します。

4. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

● ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

AGZ000534

◆ ヘッドライト（ハイビーム）

J01401901651

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

1. キャップを反時計回りに回して外します。

AAA037890

2. バルブを反時計回りに回して外します。

AAA037917

3. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。

AAA037904

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3％水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

◆ ディスチャージヘッドライト（ハイ／ロービーム）

J01401800103

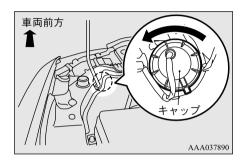
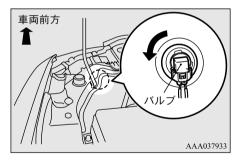
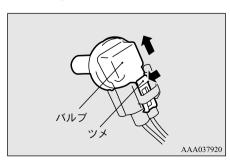
⚠注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

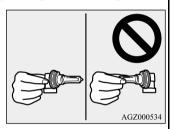
◆ ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム(AFS)）

J01403100155

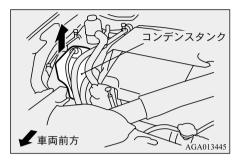
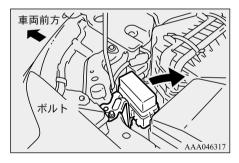
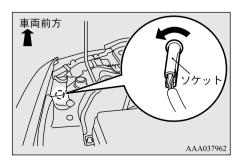
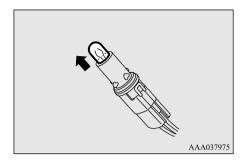
ディスチャージヘッドライト付き車

1. キャップを反時計回りに回して外します。

2. バルブを反時計回りに回して外します。

3. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

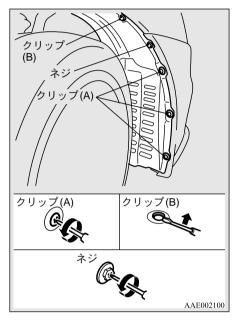
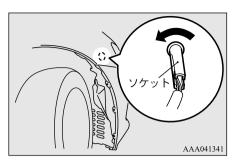
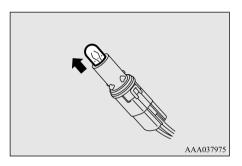
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3％水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

◆ 車幅灯（除く，ディスチャージヘッドライト付き車）

J01402000809

1. 運転席側のバルブを交換するときは，コンデンスタンクを上方に持ち上げて取り外します。

2. 助手席側のバルブを交換するときは，リレーボックスのボルトを外し，リレーボックスを車両後方に移動します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 車幅灯（ディスチャージヘッドライト付き車）

J01402000577

1. 交換したいバルブの反対方向側にハンドルを一杯に回して作業スペースを作ります。
2. クリップ（4 箇所）とネジを外し，カバーをめくります。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

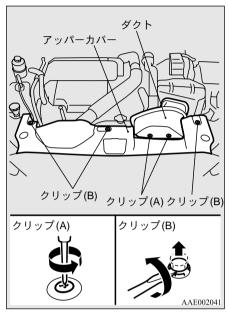
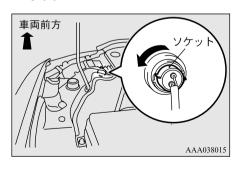
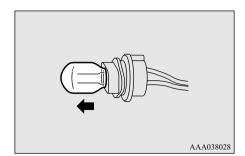
◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100709

1. クリップ（5 箇所）を外し，ダクトとアッパーカバーを取り外します。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA038028

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（サイド）

J01402200289

アドバイス

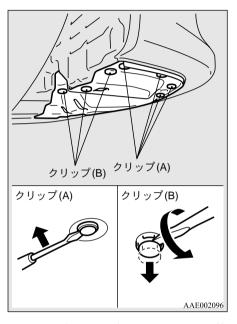
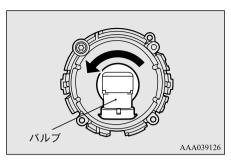
- 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）のみの修理・交換はできません。
修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ フロントフォグランプ

タイプ別装備

J01403200707

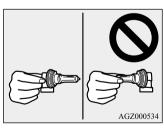
1. マイナスドライバーでカバー下側のクリップ（7 箇所）を外し，サイドアンダーカバーをめくります。

AAE002096

2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。

AAA039113

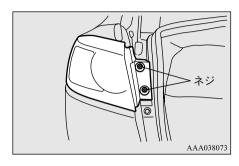
3. バルブを反時計回りに回して外します。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

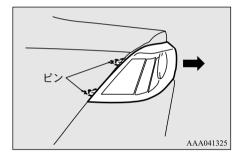
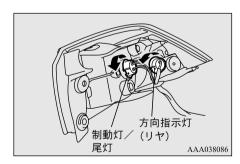
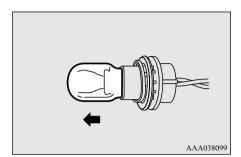
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000675

1. ネジ（2箇所）を取り外します。

2. ランプ本体を後方に引きながら取り外します。

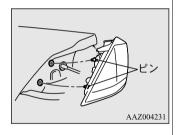
3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA038099

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● ランプ本体を取り付ける際はランプ本体のピン（2 箇所）を車体側の穴に合わせ，取り付けます。

AAZ004231

◆ 尾灯／後退灯

J01402500181

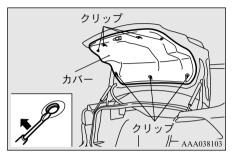
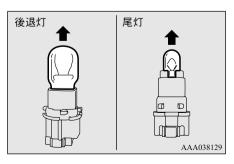
1. トランクリッドを開けます。
2. クリップの溝にマイナスドライバーなどを差し込み，車体側にこじてクリップ（7 箇所）を外し，カバーを取り外します。

AAA038103

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

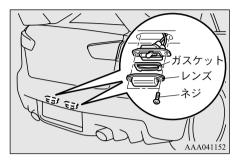
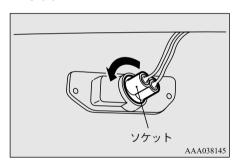
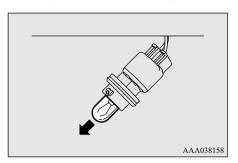
AAA038116

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA038129

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 番号灯

J01402600544

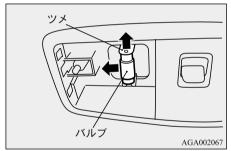
1. ランプ本体からネジ（2箇所）を外し，レンズ，ガスケット，ランプ本体を取り外します。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ マップ＆ルームランプ（フロント）

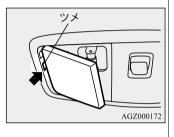
J01404400588

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

2. ツメを押しながらバルブを取り外します。

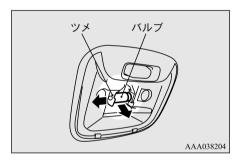
13

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- バルブを交換するときは, マップ&ルームランプ（フロント）のスイッチの位置をOFFにしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

◆ ルームランプ（リヤ） タイプ別装備

J01404700275

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。

2. ツメを押しながら，バルブを取り外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- バルブを交換するときは，ルームランプ（リヤ）のスイッチの位置をOFFにしてください。

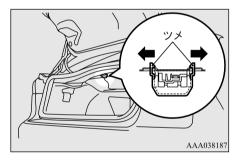
13

アドバイス

- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

◆ トランクルームランプ

J01406600050

1. 図のようにレンズのツメを左右にずらしながらツメを外し，ランプ本体からバルブを取り外します。

2. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

サービスデータ

メンテナンスデータ

J01600101300

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500105

<table>
<tr><th>項目</th><th>容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td>RS</td><td>約50L</td><td rowspan="2">無鉛プレミアムガソリン*(無鉛ハイオク)
*: 無鉛プレミアムガソリンが入手できないときは, 無鉛レギュラーガソリンも使用できますが, エンジン出力低下などの現象が発生します。</td></tr>
<tr><td>除く, RS</td><td>約55L</td></tr>
</table>

- 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3

オイル類の量と種類

J01601200271

項目	容量	使用銘柄
エンジンオイル	約5.6L（オイルフィルター内約0.3L，オイルクーラー内約0.5Lを含む）	（下表参照）

三菱自動車純正銘柄	API分類	ILSAC規格	SAE粘度番号
ダイヤクイーンSM	SM	GF-4	5W-30
	SM/CF		10W-30
ダイヤクイーンSLスーパー	SL相当	—	10W-30
ダイヤクイーンSJ	SJ相当/CF	—	10W-30

● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。

-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃
SAE 10W-30
SAE 5W-30
AGM011520

⚠注意

● 0W-20および5W-20を使用しないでください。0W-20および5W-20は低粘度のオイルであるため潤滑不良がおき，エンジンが焼きつくおそれがあります。
5W-30または10W-30をご使用ください。

アドバイス

● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J01600600513

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアルトランスミッションオイル</td><td>約2.5L</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
ニューマルチギヤオイル
SAE 75W-80(GL-3)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ツインクラッチSSTオイル</td><td>約7.6L
(オイルクーラー内約0.5Lを含む)</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
SSTF-I</td></tr>
<tr><td colspan="2">トランスファーオイル</td><td>約0.8L</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
LSDギヤオイル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">AWC制御フルード
(油圧配管内含む)</td><td>除く, S-AWC付き車</td><td>約0.9L</td><td rowspan="2">三菱純正ダイヤクイーン
ATF SP III</td></tr>
<tr><td>S-AWC付き車</td><td>約1.0L</td></tr>
<tr><td colspan="2">リヤディファレンシャルオイル</td><td>約0.55L</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
LSDギヤオイル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">AYCオイル</td><td>リヤディファレンシャル部</td><td>約0.55L</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
LSDギヤオイル</td></tr>
<tr><td>トルク移動機構部</td><td>約0.6L</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
ATF SP III</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブレーキ液
(ツインクラッチSST車)</td><td rowspan="2">所要</td><td rowspan="2">三菱純正ダイヤクイーン
ブレーキフルードスーパー4
(DOT4)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブレーキ液・クラッチ液
(マニュアル車)</td></tr>
<tr><td colspan="2">パワーステアリングオイル</td><td>所要</td><td>三菱純正ダイヤクイーン
パワステフルード</td></tr>
</table>

AYC：アクティブヨーコントロールシステム
LSD：リミテッドスリップディファレンシャル

14

アドバイス

- マニュアル車はブレーキ液タンクとクラッチ液タンクが兼用となっています。

冷却水の量と種類

J01600700442

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約7.5L（コンデンスタンク内約0.65Lを含む）	三菱純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラントプレミアム

ウォッシャー液の量と種類

J01600800225

項目		容量	使用銘柄
フロントウォッシャー液（インタークーラーウォータースプレー液共用）	除く，インタークーラーウォータースプレー付き車	約4.0L	三菱純正ダイヤクイーン ウインドウウォッシャー液
	インタークーラーウォータースプレー付き車	約8.0L	

点火プラグの種類

J01600900545

使用銘柄	電極部のすきま
NGK:日本特殊陶業製:DILKR8B6	0.5~0.6mm

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400361

項目	型式
RS	S46B24L(S)
除く, RS	S65D26L

⚠警告

● バッテリーを接続するときは，＋端子と－端子を間違えないように，＋端子から先に接続してください。－端子から接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

● お客様のお車には専用のバッテリーが搭載されています。このためバッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社に依頼してください。

14

整備基準値

J01601000149

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま （踏力約500N｛約50kgf｝）	85mm以上
クラッチペダル	遊び	4~9mm
	切れたときのストッパー間のすきま	11mm以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力約200N｛約20kgf｝）	3~5ノッチ
ベルトのたわみ量	AAM004966	インジケーター(A)が範囲内にあること

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201200

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ	ホイール	RS	除く, RS
205/60R16 92H	16×6 1/2JJ（38mm） 〔114.3mm〕5穴	○	
245/40R18 93Y	18×8 1/2JJ（38mm） 〔114.3mm〕5穴	▲	○
245/40R18 93W	18×8 1/2JJ（38mm） 〔114.3mm〕5穴	▲	▲

○は，標準装備

▲は，使用可能なサイズ

（　）内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

〔　〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300712

タイヤサイズ		空気圧（kPa {kgf/cm²}）	
		前輪	後輪
標準タイヤ	205/60R16 92H 245/40R18 93Y 245/40R18 93W	220{2.2}	200{2.0}
応急用タイヤ	T145/70R18	420{4.2}	

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401202

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーション機能で可能な操作 →P. 4-5	ドアの施錠･解錠，およびエンジンの始動	○
		ドアの施錠･解錠のみ	
		エンジンの始動のみ	
		キーレスオペレーション機能を働かなくする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアを解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間→P. 4-9	約30秒	○
		時間を長くする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアを施錠･解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-9	施錠時：1回点滅 解錠時：2回点滅	○
		施錠時：1回点滅 解錠時：点滅しない	
		施錠時：点滅しない 解錠時：2回点滅	
		施錠時：2回点滅 解錠時：1回点滅	
		施錠時：2回点滅 解錠時：点滅しない	
		施錠時：点滅しない 解錠時：1回点滅	
		点滅しない	
	キーレスオペレーション機能でドアを施錠･解錠したときのブザー音による作動確認 →P. 4-9	有り	○
		無し	

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーションキーのスイッチでドアを施錠･解錠したときのブザー音による作動確認→P. 4-19	有り	
		無し	○
	キーレスオペレーションキーのスイッチでできるドアミラーの格納･復帰操作→P. 4-19	作動する	○
		作動しない	
	ドア閉時のキーレスオペレーションキー持ち出し監視機能の有無→P. 4-14	有り	
		無し	○
セキュリティーアラーム	システムの設定*1→P. 4-28	警報作動する	○*2
		警報作動しない	○*3
	室内侵入検知機能の感度 (室内センサー付き車) →P. 4-28	標準	○
		感度を低くする	
	車内警報時間(除く,室内センサー付き車)→P. 4-35	約10秒	○
		時間を短くする	
センタードアロック	エンジンスイッチがONのときにシフトレバーをⓅに入れると解錠*4（ツインクラッチSST車）→P. 4-24	解錠する	
		解錠しない	○
	エンジンスイッチをLOCKにすると解錠*4→P. 4-24	解錠する	
		解錠しない	○
エンジンスイッチ	エンジンスイッチがACCのときに自動的に電源をカットする機能→P. 7-9	30分後にカットする	○
		60分後にカットする	
		電源をカットしない	

*1：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-30

*2：室内センサー付き車

*3：除く，室内センサー付き車

*4：エンジンスイッチを使って解錠する機能と，シフトレバー（ツインクラッチ SST車）を使って解錠する機能のいずれかを設定することができます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整）→P. 6-50	標準	〇
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）→P. 6-51	作動する	〇
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置→P. 6-51	≣Dのみ	〇
		≡D0≡と≣D	
	ウェルカムライトとして点灯させるライト（キーレスオペレーションシステム付き車）→P. 6-53	車幅灯点灯	〇
		車幅灯およびヘッドライト（ロービーム）点灯	
		点灯しない	
	カミングホームライトとしてヘッドライトが点灯する時間→P. 6-54	約15秒	
		約30秒	〇
		約60秒	
		約180秒	
		機能を働かなくする	
方向指示灯	車線変更時の3回点滅機能→P. 6-56	作動する	〇
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間→P. 6-56	短い	〇
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置→P. 6-56	ON	〇
		ONまたはACC	
フロントワイパー（除く，レインセンサー付き車）	車速感応→P. 6-60	有り	〇
		無し	
フロントワイパー（レインセンサー付き車）	雨滴感応[*5]→P. 6-60	有り	〇
		無し	
	車速感応[*5]→P. 6-60	有り	
		無し	〇

*5：雨滴感応ありと車速感応ありは同時に設定できません。

14

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
フロントウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 →P. 6-63	連動する	ワイパーが連動作動し, さらに約6秒後にワイパーがもう1回作動する	○
			ワイパー連動作動のみ	
		連動しない		
	インテリジェントウォッシャー機能 →P. 6-63	有り		○
		無し		
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 7-4	車速約30km/h以上で復帰		
		エンジンスイッチに連動（運転席ドアを閉めてONで復帰, OFFで運転席ドアを開くと格納）		
		キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCKで格納, UNLOCKで復帰）		○
		自動格納・復帰しない		
ルーム＆マップランプ（フロント）, ルームランプ（リヤ）	ドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 8-5，8-6	約15秒		○
		時間を短くする		
		時間を長くする		
		遅延消灯機能を働かなくする		
室内灯	点灯し続けたとき, 自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P. 8-7	約30分		○
		時間を短くする		
		時間を長くする		
		自動消灯機能を働かなくする		
エアコン	内外気切り換え・エアコンスイッチの自動制御 →P. 9-17，9-18	許可		○
		拒否		

14

A~Z, 記号

ア

イ

ウ

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エ

オ

カ

キ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ク

ケ

コ

サ

シ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ス

セ

タ

チ

ツ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

ヒ

フ

ヘ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ホ

マ

ミ

メ

ユ

ラ

リ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ル

レ

ワ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

J09300100133

純正部品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は，弊社の新車に使用されているものと同じ部品で，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正部品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所, 状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。